

資料編

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会答申（総合的評価）

平成 25 年 11 月

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会

目 次

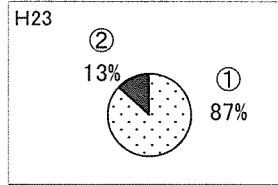
○市民参加実施状況（平成 24 年度実績）集計結果	… 1
・【審議会等】	… 10
・【パブリックコメント】	… 13
・【その他の市民参加】	… 14
 ○審議会等委員アンケート集計結果	…16
・公募市民委員アンケート集計結果	… 16
・公募市民委員アンケート用紙	… 28
・学識・有識等委員アンケート集計結果	… 30
・学識・有識等委員アンケート用紙	… 42
 ○平成 24 年度市民協働事業概要調査	…44
・平成 24 年度市民協働事業概要調査一覧	… 52
 ○市民協働事業評価アンケート（平成 24 年度実績）集計結果	…73
・市民協働事業評価アンケート結果	… 75
・市民協働事業評価アンケート用紙	… 111

市民参加実施状況(平成24年度実績)集計結果

審議会等の状況
公募市民委員の有無

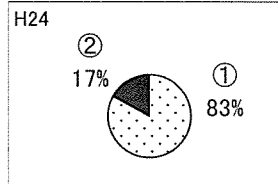
平成23年度

公募市民委員を設置している審議会等①	39	87%
公募市民委員を設置していない審議会等②	6	13%
計	45	

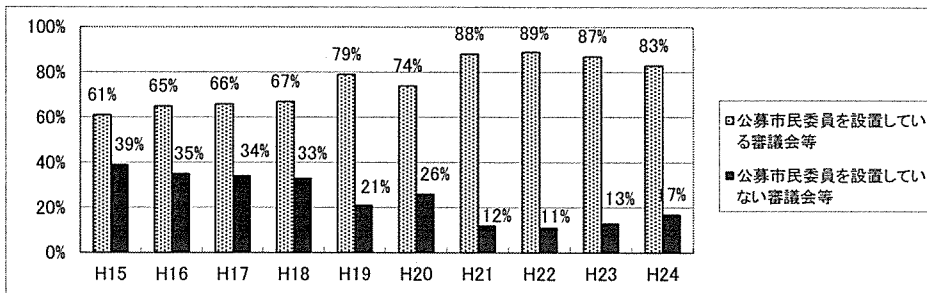


平成24年度

公募市民委員を設置している審議会等①	34	83%
公募市民委員を設置していない審議会等②	7	17%
計	41	



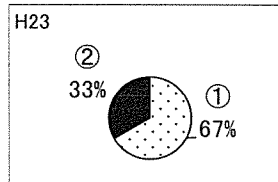
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
公募市民委員を設置している審議会等	61%	65%	66%	67%	79%	74%	88%	89%	87%	83%
公募市民委員を設置していない審議会等	39%	35%	34%	33%	21%	26%	12%	11%	13%	17%



公募市民委員枠がない場合の理由

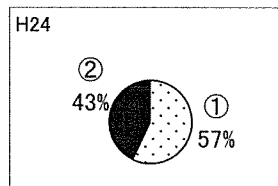
平成23年度

法律・条例等の規定に基づく①	4	67%
専門的・実務的な検討を行うため②	2	33%
その他③	0	0%
計	6	

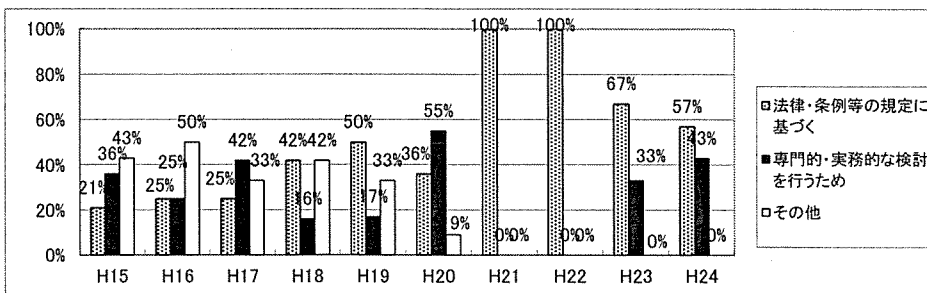


平成24年度

法律・条例等の規定に基づく①	4	57%
専門的・実務的な検討を行うため②	3	43%
その他③	0	0%
計	7	



	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
法律・条例等の規定に基づく	21%	25%	25%	42%	50%	36%	100%	100%	67%	57%
専門的・実務的な検討を行うため	36%	25%	42%	16%	17%	55%	0%	0%	33%	43%
その他	43%	50%	33%	42%	33%	9%	0%	0%	0%	0%

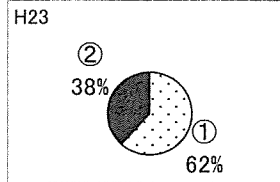


市民参加実施状況(平成24年度実績)集計結果

公募市民委員の男女の割合

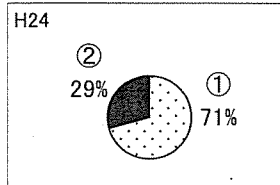
平成23年度

男性①	85	62%
女性②	53	38%
計	138	

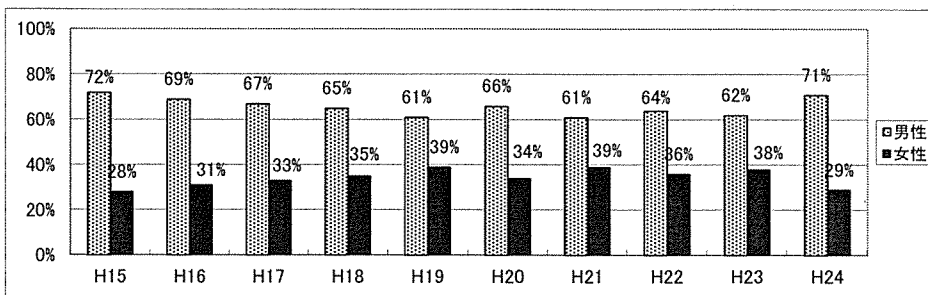


平成24年度

男性①	84	71%
女性②	35	29%
計	119	



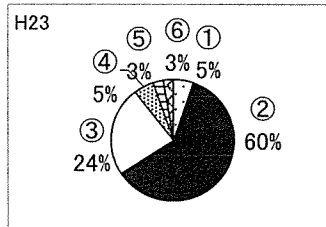
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
男性	72%	69%	67%	65%	61%	66%	61%	64%	62%	71%
女性	28%	31%	33%	35%	39%	34%	39%	36%	38%	29%



公募市民委員の応募条件<年齢>

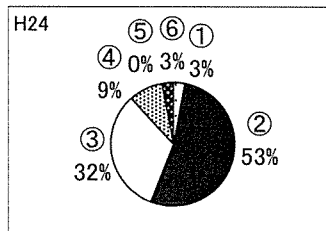
平成23年度

15歳以上①	2	5%
18歳以上②	23	60%
20歳以上③	9	24%
40歳以上④	2	5%
制限無し⑤	1	3%
18歳以上73歳未満⑥	1	3%
計	38	



平成24年度

15歳以上①	1	3%
18歳以上②	18	53%
20歳以上③	11	32%
40歳以上④	3	9%
18歳以上73歳未満⑤	0	0%
制限なし⑥	1	3%
計	34	



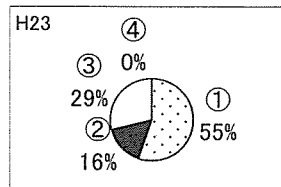
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
15歳以上	0%	0%	0%	4%	4%	3%	3%	6%	5%	3%
18歳以上	13%	13%	26%	46%	39%	48%	53%	55%	60%	53%
20歳以上	57%	61%	43%	33%	26%	26%	30%	27%	24%	32%
40歳以上	4%	4%	0%	0%	0%	0%	3%	6%	5%	9%
制限無し	13%	9%	9%	4%	18%	10%	8%	3%	3%	0%
その他	0%	0%	9%	0%	4%	0%	3%	3%	3%	3%

市民参加実施状況(平成24年度実績)集計結果

公募市民委員の応募条件 <在住> <在勤> <在学>

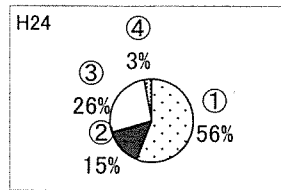
平成23年度

在住・在勤・在学 条件有①	21	55%
在住・在勤 条件有②	6	16%
在住のみ 条件有③	11	29%
条件無④	0	0%
計	38	

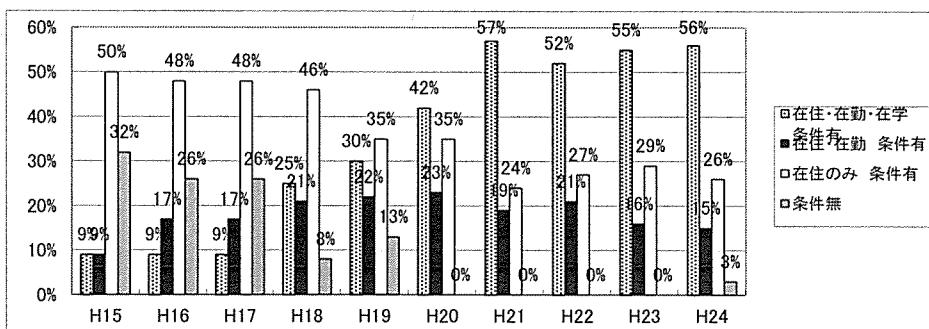


平成24年度

在住・在勤・在学 条件有①	19	56%
在住・在勤 条件有②	5	15%
在住のみ 条件有③	9	26%
条件無④	1	3%
計	34	



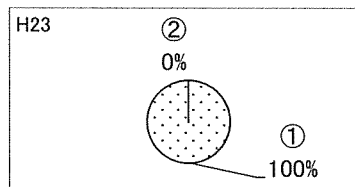
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
在住・在勤・在学 条件有	9%	9%	9%	25%	30%	42%	57%	52%	55%	56%
在住・在勤 条件有	9%	17%	17%	21%	22%	23%	19%	21%	16%	15%
在住のみ 条件有	50%	48%	48%	46%	35%	24%	27%	29%	26%	26%
条件無	32%	26%	26%	8%	13%	0%	0%	0%	0%	3%



諮問等事案の有無

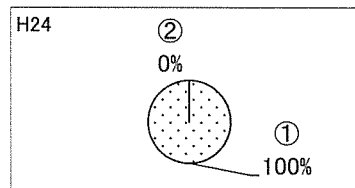
平成23年度

諮問等事案有①	40	100%
諮問等事案無②	0	0%
計	40	

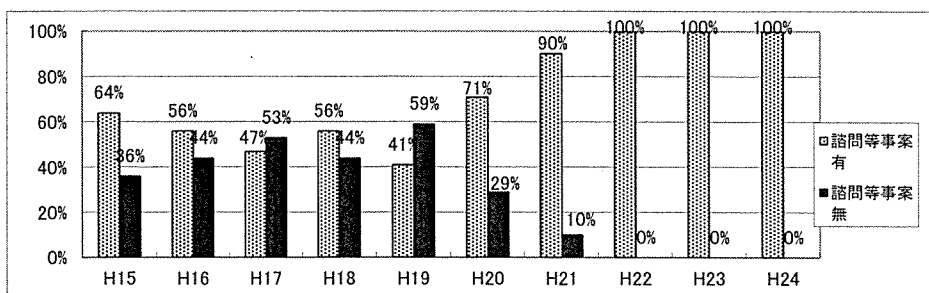


平成24年度

諮問等事案有①	34	100%
諮問等事案無②	0	0%
計	34	



	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
諮問等事案有	64%	56%	47%	56%	41%	71%	90%	100%	100%	100%
諮問等事案無	36%	44%	53%	44%	59%	29%	10%	0%	0%	0%

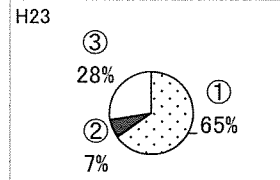


市民参加実施状況(平成24年度実績)集計結果

諮問等事案の公表の有無

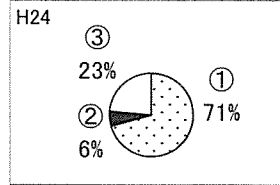
平成23年度

公表有①	26	65%
一部公表できなかった②	3	7%
公表無③	11	28%
計	40	

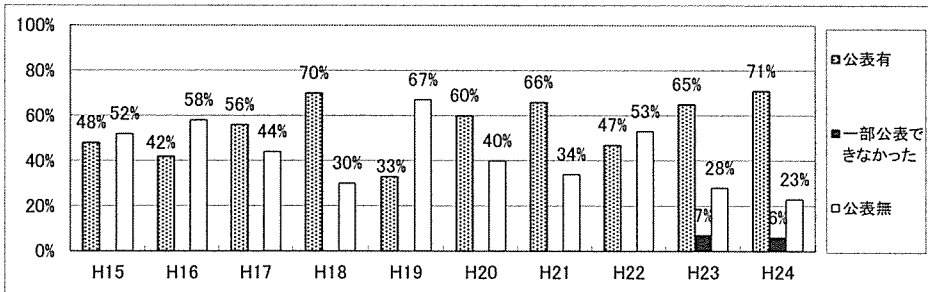


平成24年度

公表有①	24	71%
一部公表できなかった②	2	6%
公表無③	8	23.5%
計	34	



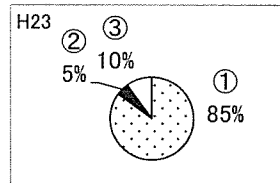
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
公表有	48%	42%	56%	70%	33%	60%	66%	47%	65%	71%
一部公表できなかった									7%	6%
公表無	52%	58%	44%	30%	67%	40%	34%	53%	28%	23%



審議会等の公開

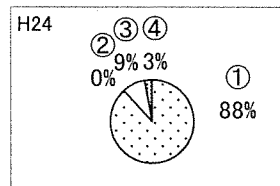
平成23年度

公開①	34	85%
非公開②	2	5%
一部非公開③	4	10%
計	40	

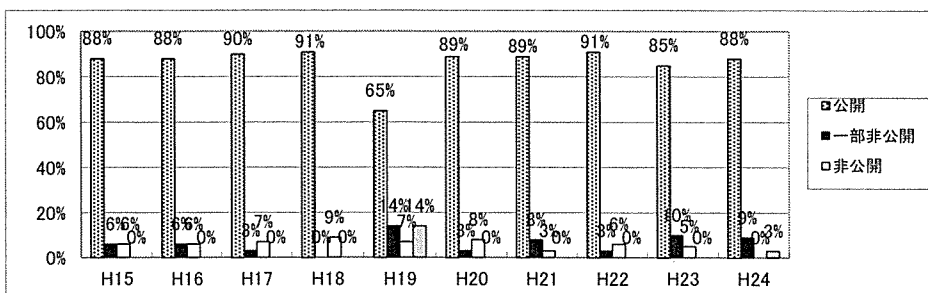


平成24年度

公開①	30	88%
非公開②	0	0%
一部非公開③	3	9%
その他(未開催)④	1	3%
計	34	



	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
公開	88%	88%	90%	91%	65%	89%	89%	91%	85%	88%
一部非公開			3%	0%	14%	3%	8%	3%	10%	9%
非公開	6%	6%	7%	9%	7%	8%	3%	6%	5%	0%
その他(未公表、未開催)	0%	0%	0%	0%	14%	0%	0%	0%	0%	3%

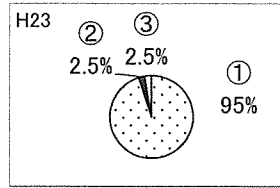


市民参加実施状況(平成24年度実績)集計結果

会議録の公表

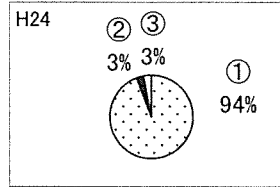
平成23年度

公表①	38	95%
一部公表しなかった②	1	2.5%
非公表③	1	2.5%
計	40	

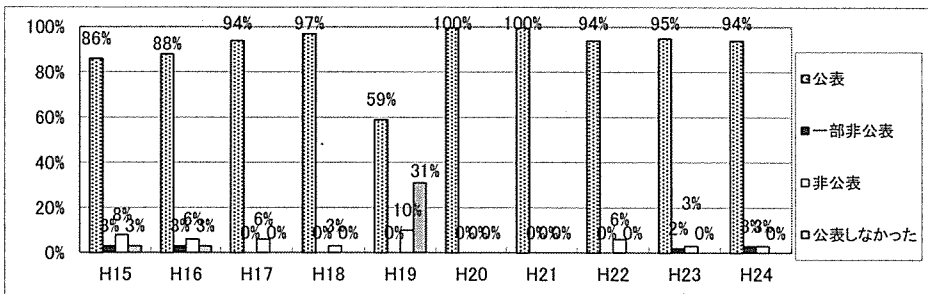


平成24年度

公表①	32	94%
一部公表②	1	3%
その他(未開催)③	1	3%
計	34	



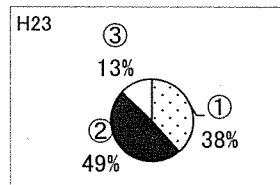
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
公表	86%	88%	94%	97%	59%	100%	100%	94%	95%	94%
一部非公表	3%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	3%
非公表	8%	6%	6%	3%	10%	0%	0%	6%	3%	3%
公表しなかった	3%	3%	0%	0%	31%	0%	0%	0%	0%	0%



会議録の公表時期(4週間以内に公表)

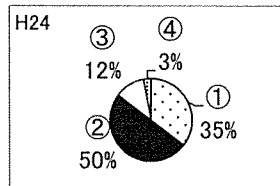
平成23年度

期間内に公表①	15	38%
一部が公表できなかった②	19	49%
期間内に公表できなかった③	5	13%
計	39	

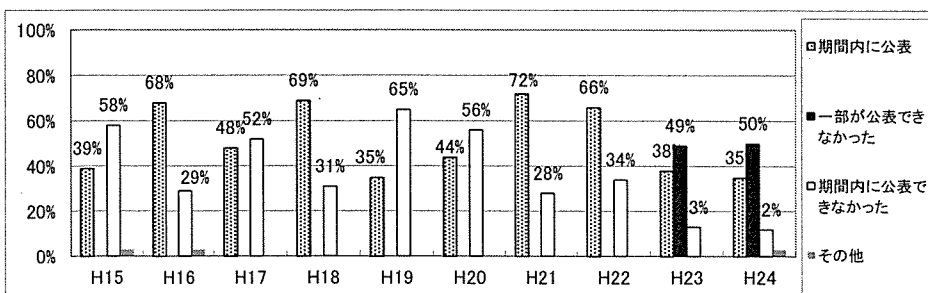


平成24年度

期間内に公表①	12	35%
期間内に一部公表②	17	50%
期間内に公表できなかった③	4	12%
その他(未開催)④	1	3%
計	34	



	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
期間内に公表	39%	68%	48%	69%	35%	44%	72%	66%	38%	35%
一部が公表できなかった									49%	50%
期間内に公表できなかった	58%	29%	52%	31%	65%	56%	28%	34%	13%	12%
その他	3%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%



市民参加実施状況(平成24年度実績)集計結果

委員名簿の公表

平成23年度

公表①	27	67%
非公表②	13	33%
計	40	

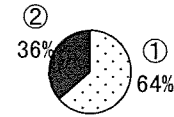
H23



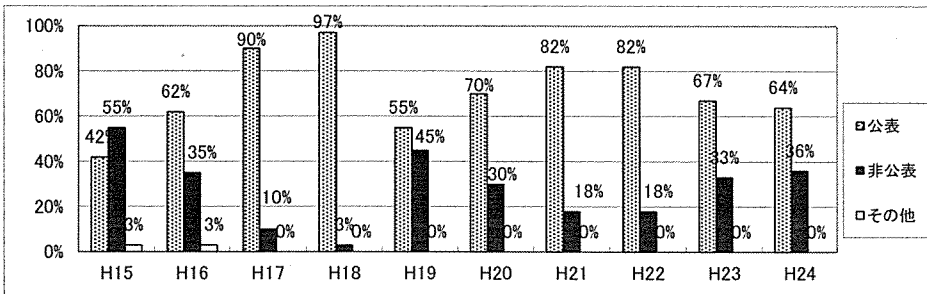
平成24年度

公表①	21	64%
非公表②	12	36%
計	33	

H24



	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
公表	42%	62%	90%	97%	55%	70%	82%	82%	67%	64%
非公表	55%	35%	10%	3%	45%	30%	18%	18%	33%	36%
その他	3%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

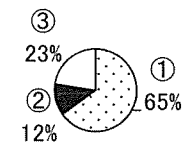


審議会等の開催予定の公表

平成23年度

公表した①	26	65%
一部公表できなかった②	5	12%
公表しなかった③	9	23%
計	40	

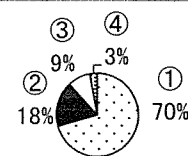
H23



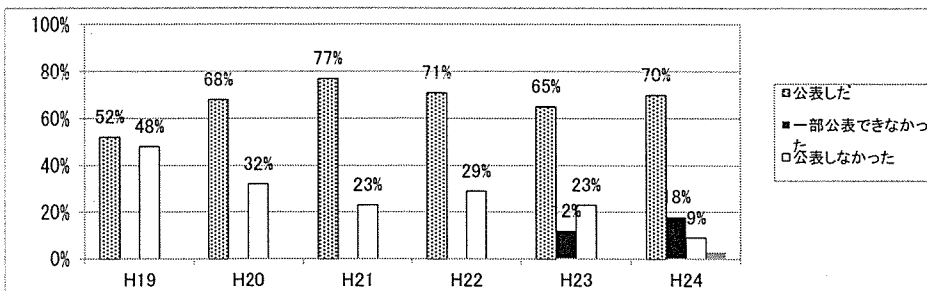
平成24年度

公表した①	24	70.6%
一部公表できなかった②	6	18%
公表しなかった③	3	9%
その他(未開催)④	1	3%
計	34	

H24



	H19	H20	H21	H22	H23	H24
公表した	52%	68%	77%	71%	65%	70%
一部公表できなかった					12%	18%
公表しなかった	48%	32%	23%	29%	23%	9%
その他(未開催)						3%

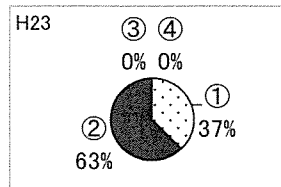


市民参加実施状況(平成24年度実績)集計結果

会議の開催時間

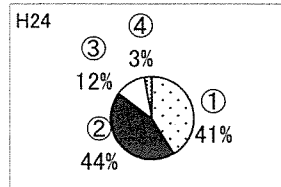
平成23年度

平日昼間①	15	37.5%
平日夜間②	25	62.5%
平日昼間・夜間③	0	0%
休日④	0	0%
計	40	

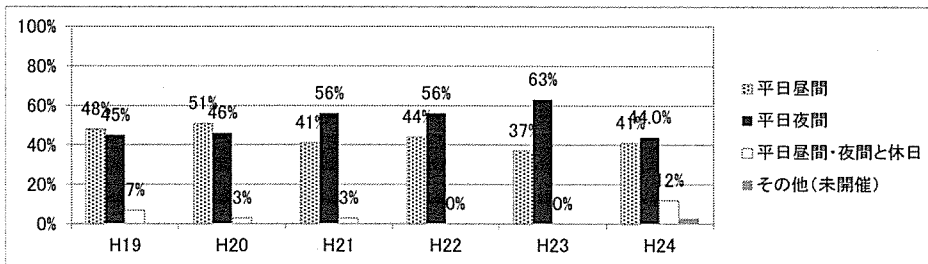


平成24年度

平日昼間①	14	41%
平日夜間②	15	44%
平日昼間・夜間と休日③	4	12%
その他(未開催)④	1	3%
計	34	



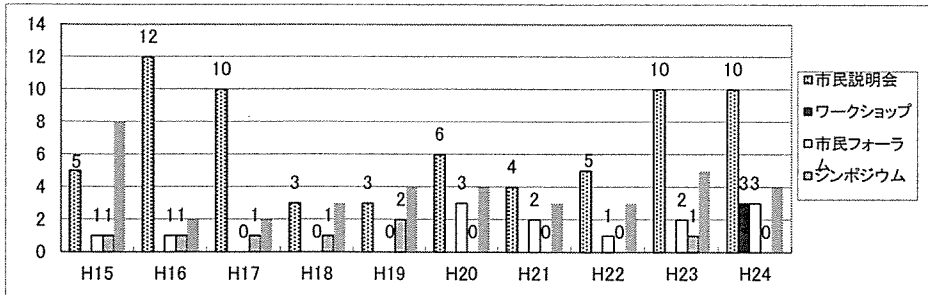
	H19	H20	H21	H22	H23	H24
平日昼間	48%	51%	41%	44%	37%	41%
平日夜間	45%	46%	56%	56%	63%	44.0%
平日昼間・夜間と休日	7%	3%	3%	0%	0%	12%
その他(未開催)	0%	0%	0%	0%	0%	3%
	100%	100%	100%	100%	100%	100%



市民参加実施状況(平成24年度実績)集計結果

その他の市民参加(市民説明会、ワークショップ、フォーラム、シンポジウム、他)

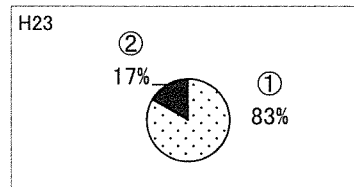
種別別件数	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
市民説明会	5	12	10	3	3	6	4	5	10	10
ワークショップ										3
市民フォーラム	1	1	0	0	0	3	2	1	2	3
シンポジウム	1	1	1	1	2	0	0	0	1	0
その他	8	2	2	3	4	4	3	3	5	4



報告書作成の有無(その他の市民参加)

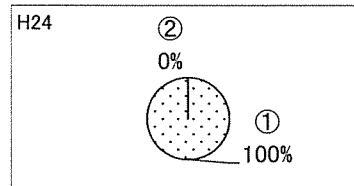
平成23年度実施

報告書有①	15	83%
報告書無②	3	17%
計	18	

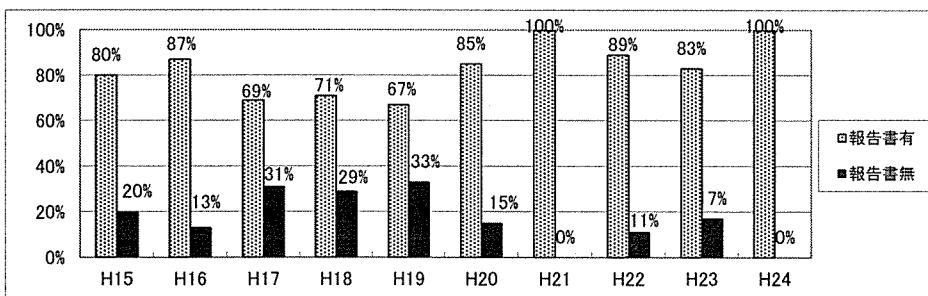


平成24年度実施

報告書有①	20	100%
報告書無②	0	0%
計	20	



	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
報告書有	80%	87%	69%	71%	67%	85%	100%	89%	83%	100%
報告書無	20%	13%	31%	29%	33%	15%	0%	11%	17%	0%

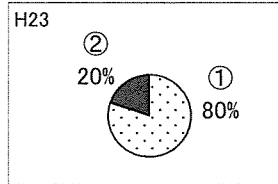


市民参加実施状況(平成24年度実績)集計結果

報告書の公表(その他の市民参加)

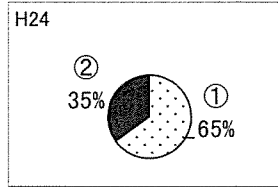
平成23年度実施

公表①	12	80%
非公表②	3	20%
計	15	

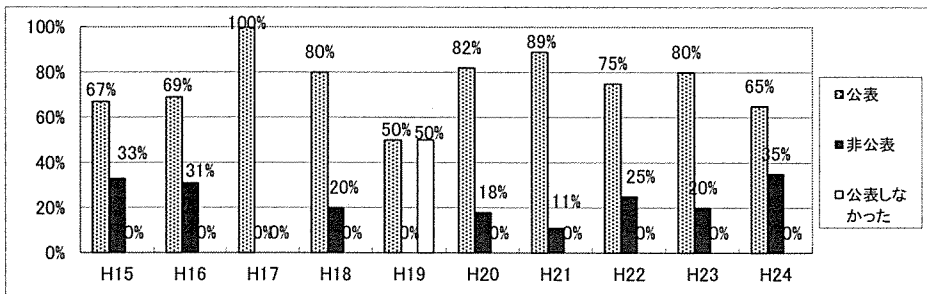


平成24年度実施

公表①	13	65%
非公表②	7	35%
計	20	



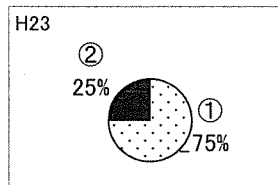
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
公表	67%	69%	100%	80%	50%	82%	89%	75%	80%	65%
非公表	33%	31%	0%	20%	0%	18%	11%	25%	20%	35%
公表しなかった	0%	0%	0%	0%	50%	0%	0%	0%	0%	0%



その他市民参加報告書等の公表時期(4週間以内に公表)

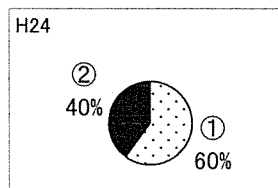
平成23年度

期間内に公表①	9	75%
期間内に公表できなかった②	3	25%
計	12	



平成24年度

期間内に公表①	12	60%
期間内に公表できなかった②	8	40%
計	20	



市民参加の実施状況(平成24年度実績)【審議会等】

市民参加の実施状況(平成24年度実績)【審議会等】

審議会等名称	公募市民 有無	公募市民枠が ない理由	会議 回数	委員の人数									20歳未満 青少年公 募市民委	年齢
				委員 定数	委員 実数	公募市民 委員の定数	公募市民 委員の人数	男性 (全体)	男性 (公募)	女性 (全体)	女性 (公募)			
拍江市長の資産等の公開に関する審査会	有	—	1	5	5	2	2	4	1	1	1	0	20歳以上	
拍江市個人情報保護審議会	有	—	4	7	7	4	4	7	4	0	0	0	20歳以上	
拍江市個人情報保護審査会	有	—	1	5	5	4	4	4	4	1	0	0	20歳以上	
拍江市情報公開審査会	有	—	15	5	5	4	4	4	4	1	0	0	20歳以上	
拍江市外部評価委員会	有	—	10	11	10	6	5	6	2	4	3	0	18歳以上	
拍江市市民参加と市民協働に関する審議会	有	—	9	15	15	8	8	9	5	6	3	0	18歳以上	
拍江市市民活動支援センター開設準備委員会	有	—	0	12	10	4	3	7	1	3	2	0	18歳以上	
拍江市男女共同参画推進委員会	有	—	6	8	6	4	3	2	2	4	1	0	18歳以上	
拍江市国民保護協議会	無	武力攻撃事態における国民の 保護のための措置法40条4項	0	30	28	0	0	26	0	2	0	0	—	
拍江市防災会議	無	防災会議条例3条(関係機関 職員)	2	30	28	0	0	22	0	6	0	0	—	
拍江市交通対策調整会議	有	—	1	8	8	1	1	7	0	1	1	0	18歳以上	
拍江市生活安全対策協議会	有	—	6	22	21	3	2	18	2	3	0	0	18歳以上	
拍江市安心で安全なまちづくり推進審議会	有	—	6	10	5	5	4	4	3	1	1	0	18歳以上	
拍江市安心で安全なまちづくり地域協議会設立準備会	有	—	4	13	13	3	3	11	2	2	1	0	18歳以上	
「音楽の街—拍江」構想推進委員会	有	—	3	10	10	4	4	7	3	3	1	0	15歳以上	
岩戸地域センター建替検討委員会	無	施設利用者代表(センター運 協、地元町会など)から選出と したため	5	14	14	0	0	13	0	1	0	0	—	
市民福祉推進委員会	有	—	4	21	20	5	5	13	3	7	2	0	20歳以上	
拍江市地域包括支援センター運営協議会	有	—	3	12	8	7	4	7	3	1	1	0	40歳以上	
拍江市地域密着型サービスの運営に関する委員会	有	—	3	12	8	7	4	7	3	1	1	0	40歳以上	
拍江市介護保険推進市民協議会	有	—	5	13	13	4	4	9	2	4	2	0	40歳以上	
拍江市健康づくり推進協議会	有	—	3	13	10	4	2	5	2	5	0	0	20歳以上	
拍江市国民健康保険運営協議会	有	—	3	14	11	4	2	7	0	4	2	0	18歳以上73歳 未満	
拍江市緑の基本計画改定検討委員会	有	—	8	10	10	3	3	9	2	1	1	0	18歳以上	
拍江市環境基本計画改定検討委員会	有	—	6	11	8	5	3	8	3	0	0	0	18歳以上	
拍江市環境保全審議会	有	—	3	13	12	8	7	10	5	2	2	0	18歳以上	
拍江市環境保全実施計画策定検討委員会	無	拍江市環境保全実施計画推 進委員会から委員選出を行っ ているため	3	5	5	0	0	4	0	1	0	0	—	
拍江市環境保全実施計画推進委員会	有	—	7	15	9	3	1	7	1	2	0	0	18歳以上	
拍江市都市計画審議会	有	—	2	14	14	3	3	13	3	1	0	0	18歳以上	
拍江市まちづくり委員会(調整会を含む)	有	—	3	15	13	10	8	11	7	2	1	0	18歳以上	
拍江市地域公共交通会議	有	—	1	13	12	3	2	12	2	0	0	0	18歳以上	
拍江市ごみ減推進審議会	有	—	6	18	12	12	8	11	7	1	1	0	20歳以上	
拍江市青少年委員の会議	有	—	12	10	9	4	3	3	1	6	2	0	18歳以上	
拍江市青少年問題協議会	無	地方青少年問題協議会法3 条、設置条例、施行規則	2	25	24	0	0	17	0	7	0	0	—	
拍江市教育委員会の自己点検 及び評価に関する審査委員会	有	—	5	5	5	2	2	4	1	1	1	0	18歳以上	
拍江市社会教育委員の会議	有	—	8	10	8	2	2	7	2	1	0	0	20歳以上	
拍江市スポーツ推進審議会	有	—	1	10	6	2	0	6	0	0	0	0	20歳以上	
拍江市スポーツ推進委員会議	無	社会体育に対し専門性があ り、継続して活動できる人材を 求めているため。	11	20	12	0	0	5	0	7	0	0	—	
拍江市市史編さん委員	有	—	4	10	9	3	2	7	0	2	2	0	20歳以上	
拍江市文化財専門委員の会議	無	拍江市文化財保護条例3、4 条(文化財の指定・解除等重 要事項審議のため専門的知 識が必要。)	2	10	6	0	0	4	0	2	0	0	—	
拍江市立公民館運営審議会	有	—	10	10	9	6	5	5	2	4	3	0	20歳以上	
拍江市立図書館協議会	有	—	6	10	8	2	2	6	2	2	0	0	18歳以上	

(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	
524	451	151	119	348	84	103	35	0
委員充足率(B)／(A)		公募委員充足率(D)／(C)			全委員男女割合(E)・(G)／(B)		公募委員男女割合(F)・(H)／(D)	
86.1%		78.8%			77.2%	22.8%	70.6%	29.4%
					男性	女性	男性	女性

市民参加の実施状況(平成24年度実績)【審議会等】

市民参加の実施状況(平成24年度)

審議会等名称	公募市民委員の応募案件				諮問等事業		審議の公開			会議時間	会議録公表
	在住	在勤	在学	その他の条件	諮問・検討等事業有無	諮問・検討等事業公表	開催予定の公表	開催予定公表の媒体	会議の公開	非公開理由	
泊江市長の資産等の公開に関する審査会	○	—	—	—	有	公表した	公表した	ホームページ	公開	—	平日昼間
泊江市個人情報保護審議会	○	—	—	—	有	公表した	公表した	広報	公開	—	平日昼間
泊江市個人情報保護審査会	○	—	—	—	有	公表した	公表しなかった	—	一部非公開	個人情報保護条例31条2第5項	平日昼間
泊江市情報公開審査会	○	—	—	—	有	公表しなかった	公表しなかった	—	一部非公開	情報公開条例18条5項	平日昼間
泊江市外部評価委員会	○	○	○	会議に出席できる者	有	公表した	公表した	広報・ホームページ・その他	公開	—	平日夜間・休日
泊江市市民参加と市民協働に関する審議会	○	○	○	市民参加及び市民協働に関心のある者	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間・休日
泊江市市民活動支援センター開設準備委員会	○	○	○	市民活動支援センターに関心のある者	有	—	—	—	—	—	—
泊江市男女共同参画推進委員会	○	○	○	男女共同参画の推進に関心のある者	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間・休日
泊江市国民保護協議会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
泊江市防災会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平日昼間
泊江市交通対策調整会議	○	○	○	平日会議出席可能	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日昼間
泊江市生活安全対策協議会	○	○	○	平日会議出席可能	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日昼間
泊江市安心で安全なまちづくり推進審議会	○	○	○	平日会議出席可能	有	一部公表できなかった	一部公表できなかった	広報・ホームページ	公開	—	平日昼間
泊江市安心で安全なまちづくり地域協議会設立準備会	○	○	○	平日会議出席可能	有	一部公表できなかった	一部公表できなかった	広報・ホームページ	公開	—	平日昼間
「音楽の街—泊江」構想推進委員会	○	○	○	「音楽の街—泊江」構想に関心のある者	有	公表しなかった	一部公表できなかった	ホームページ	公開	—	平日夜間
岩戸地域センター建替検討委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平日昼間
市民福祉推進委員会	○	○	—	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間
泊江市地域包括支援センター運営協議会	○	○	—	被保険者、サービス利用者、施設サービス従事者、居宅サービス事業関係者、NP O等地域サービス関係者	有	公表した	公表した	ホームページ	公開	—	平日夜間
泊江市地域密着型サービスの運営に関する委員会	○	○	—	被保険者、サービス利用者、施設サービス従事者、居宅サービス事業関係者、NP O等地域サービス関係者	有	公表しなかった	公表しなかった	ホームページ	公開	—	平日夜間
泊江市介護保険推進市民協議会	○	○	—	—	有	公表した	公表した	ホームページ	公開	—	平日夜間
泊江市健康づくり推進協議会	○	○	○	原則として平日昼間会議に出席できる方	有	公表した	公表した	ホームページ	公開	—	平日昼間
泊江市国民健康保険運営協議会	○	—	—	泊江市国民健康保険被保険者	有	公表した	公表した	ホームページ	公開	—	平日昼間
泊江市緑の基本計画改定検討委員会	○	○	○	会議に出席できる者	有	公表した	公表した	ホームページ	公開	—	平日昼間
泊江市環境基本計画改定検討委員会	○	○	○	会議に出席できる者	有	公表しなかった	一部公表できなかった	ホームページ	公開	—	平日夜間
泊江市環境保全審議会	○	○	○	会議に出席できる者	有	公表しなかった	一部公表できなかった	ホームページ	公開	—	平日夜間
泊江市環境保全実施計画策定検討委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平日夜間
泊江市環境保全実施計画推進委員会	○	○	○	会議に出席できる者	有	公表しなかった	一部公表できなかった	ホームページ	公開	—	平日夜間
泊江市都市計画審議会	○	—	—	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日昼間
泊江市まちづくり委員会(調整会を含む)	○	○	○	—	有	公表した	公表した	ホームページ	一部非公開	その他	平日夜間
泊江市地域公共交通会議	○	○	○	—	有	公表した	公表した	ホームページ	公開	—	平日夜間
泊江市ごみ半減推進審議会	○	—	—	—	有	公表しなかった	公表した	ホームページ	公開	—	平日昼間
泊江市青少年委員の会議	○	○	○	—	有	公表した	公表した	ホームページ	公開	—	平日昼間
泊江市青少年問題協議会	—	—	—	—	有	一部公表できなかった	一部公表できなかった	ホームページ	公開	—	平日昼間
泊江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会	○	○	○	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日昼間
泊江市社会教育委員の会議	○	—	—	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間
泊江市スポーツ推進審議会	—	—	—	市内スポーツ関係者	有	公表した	公表した	広報	公開	—	平日夜間
泊江市スポーツ推進委員会議	—	—	—	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間
泊江市市史編さん委員	○	—	—	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間
泊江市文化財専門委員の会議	—	—	—	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間
泊江市立公民館運営審議会	○	○	○	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間
泊江市立図書館協議会	○	○	—	—	有	公表した	公表した	その他	公開	—	平日夜間

市民参加の実施状況(平成24年度実績)【審議会等】

市民参加の実施状況(平成24年度)

審議会等名称	当該議会の公表		委員名簿		備考	審議会等名称
	非公表理由	4週間以内公表	委員名簿公表有無			
拍江市長の資産等の公開に関する審査会	—	△	有			資産
拍江市個人情報保護審議会	—	△	有	委員構成が男性のみである。		個人情報審議
拍江市個人情報保護審査会	—	○	有			個人情報審査
拍江市情報公開審査会	—	○	有			情報公開審査
拍江市外部評価委員会	—	○	有	公募市民委員の一部を無作為抽出(100名)により募集(応募/採用1名)		外部評価
拍江市市民参加と市民協働に関する審議会	—	○	有			参加と協働
拍江市市民活動支援センター開設準備委員会	—	—	—	H24年度未開催		支援センター
拍江市男女共同参画推進委員会	—	○	有			男女共同
拍江市国民保護協議会	—	—	—	H24年度未開催		国民保護
拍江市防災会議	—	○	有			防災会議
拍江市交通対策調整会議	—	○	有	H24年度末をもって廃止。H25年度以降「拍江市交通安全対策会議」へ移行。		交通対策
拍江市生活安全対策協議会	—	○	有	H24年度末をもって廃止。H25年度以降「地域協議会」へ移行。		生活安全対策
拍江市安心で安全なまちづくり推進審議会	—	△	無			安安心まちづくり
拍江市安心で安全なまちづくり地域協議会設立準備会	—	△	無	H24年度末をもって廃止。		設立準備会
「音楽の街—拍江」構想推進委員会	—	△	有			音街
岩戸地域センター建替検討委員会	—	△	無			建替検討
市民福祉推進委員会	—	○	無			市民福祉
拍江市地域包括支援センター運営協議会	—	×	無			地域包括
拍江市地域密着型サービスの運営に関する委員会	—	×	無	地域包括支援センター運営協議会と委員が重複している。H25より介護保険係に所管変更。		地域密着型
拍江市介護保険推進市民協議会	—	△	有			介護保険
拍江市健康づくり推進協議会	—	○	無	平成25年度より附属機関に移行。		健康づくり
拍江市国民健康保険運営協議会	—	○	有			国保
拍江市緑の基本計画改定検討委員会	—	△	無			緑計画改定
拍江市環境基本計画改定検討委員会	—	△	無			環境計画改定
拍江市環境保全審議会	—	△	無			環境保全
拍江市環境保全実施計画策定検討委員会	—	△	無			環境計画策定
拍江市環境保全実施計画推進委員会	—	△	無			環境保全計画推進
拍江市都市計画審議会	—	△	無			都計審
拍江市まちづくり委員会(調整会を含む)	—	○	有	「拍江のまち—魅力百選」審選時は委員の活発な発言を促すため、一部非公開。		まちづくり委
拍江市地域公共交通会議	—	○	無			地域公共交通
拍江市ごみ半減推進審議会	—	×	有			ごみ半減
拍江市青少年委員の会議	—	△	有			青少年委員
拍江市青少年問題協議会	—	○	有			青問協
拍江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会	—	△	有			教委自己点検
拍江市社会教育委員の会議	—	△	有			社会教育委員
拍江市スポーツ推進審議会	—	△	有			スポ推審
拍江市スポーツ推進委員会	—	△	有	次回委員改選時(平成27年度予定)に公募市民委員を選考する予定。		スポ推委
拍江市市史編さん委員	—	△	有			市史
拍江市文化財専門委員の会議	—	○	有			文化
拍江市立公民館運営審議会	—	△	有			公運審
拍江市立図書館協議会	—	×	有			図書館

市民参加の実施状況【パブリックコメント】

平成24年度 市民参加の実施状況【パブリックコメント】

主管課	担当係	施策名	施策の内容	実施結果	報告書		備考							
					実施期間	開催予定の公表		開催予定公表の媒体	意見提出者数	提出意見数	施策事業に反映・取り入れた意見件数	検討結果公表の有無	検討結果公表の理由	検討結果公表の期限(4週間以内)
政策室	協働調整担当	柏江市の市民参加と市民協働の推進に関する基本条例改正	柏江市の市民参加と市民協働の推進に関する基本条例改正(素案)について	市民参加の対象 *「柏江市の市民参加と市民協働の推進に関する基本条例」第5条より	9月1日～10月1日	公表した	広報・ホームページ	4	17	1	有	公表	—	同一案件で2度のパブリックコメントを実施することとなった。
政策室	企画法制担当	柏江市後期基本計画素案	柏江市後期基本計画(素案)について	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	2月8日～3月11日	公表した	広報・ホームページ	44	175	17	有	公表	—	市民参加提案手続を該当案件
安心安全課	危機管理担当	柏江市暴力団排除条例(素案)	柏江市暴力団排除条例(素案)について	(2)市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	11月15日～12月14日	公表した	広報・ホームページ	1	3	0	有	公表	—	×
安心安全課	危機管理担当	柏江市防犯カメラの設置及び運用に関する条例(素案)	柏江市防犯カメラの設置及び運用に関する条例(素案)	(2)市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	12月1日～1月4日	公表した	広報・ホームページ	2	6	0	有	公表	—	×
介護支援課	介護保険係	柏江市地域密着型サービス事業者に関する条例素案	柏江市地域密着型サービス事業者に関する条例素案	(2)市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	9月15日～9月29日	公表した	広報・ホームページ、その他	2	6	0	有	公表	—	×
環境政策課	環境政策係	柏江市環境基本計画改定素案及び柏江市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)について	柏江市環境基本計画改定素案及び柏江市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)について	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	11月15日～12月14日	公表した	広報・ホームページ	4	18	6	有	公表	—	○
環境政策課	環境政策係	柏江市緑の基本計画改定素案	柏江市緑の基本計画改定素案	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	11月15日～12月14日	公表した	広報・ホームページ、その他	4	25	17	有	公表	—	○
道路公園課	管理係	権限移譲に伴う条例素案 ・柏江市道路構造基準素案 ・柏江市道路構造の寸法及び文字等の大きさに関する基準素案 ・柏江市道路移動円滑化基準素案 ・柏江市特定公園施設設置基準素案	権限移譲に伴う条例素案 ・柏江市道路構造基準素案 ・柏江市道路構造の寸法及び文字等の大きさに関する基準素案 ・柏江市道路移動円滑化基準素案 ・柏江市特定公園施設設置基準素案	(2)市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	10月6日～10月19日	公表した	広報・ホームページ、その他	0	0	0	有	公表	—	○ 意見提出なし
都市整備課	企画計画係	柏江市都市公園条例の一部を改正する条例素案	柏江市都市公園条例の一部を改正する条例素案	(2)市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	7月20日～8月2日	公表した	広報・ホームページ、その他	0	0	0	有	公表	—	○ 意見提出なし
図書館	図書サービス係	第二次柏江市子ども読書活動推進計画素案	第二次柏江市子ども読書活動推進計画素案について	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	1月15日～2月14日	公表した	広報・ホームページ、その他	8	43	3	有	公表	—	×

その他の市民参加（市民フォーラム・シンポジウム・市民説明会等）

平成24年度 市民参加の実施状況【その他の市民参加（市民フォーラム・シンポジウム・市民説明会等）】

						実施結果				
主管課	担当係	市民参加の施策名	手続きの種類	施策の内容	市民参加の対象 ※ 柏江市の市民参加と市民協働の推進に関する基本条例第5条より	実施日・期間 場所	出席者・意見件数	開催予定の公表	開催予定公表の媒体	報告書の有無
秘書広報室	広報広聴担当	市長への手紙	その他	市長が市民の市政に関する意見や質問、要望等を広く聴くことにより市政運営の参考にする。市長へ寄せられた市民からの手紙(専用はがき、手紙、ファックス、市ホームページ専用ホームページからの電子メール等)は広報広聴担当が受付する。	その他、自主的に市民参加を行っている	通年	328件	公表した	ホームページ	有
		市長と語る会	その他	市民と市長が直接語りあう会。各回テーマを決め、市長から説明し、それに対して市民から質問、意見を伺う。「基本計画改定について」をテーマとし、3日間・計4回開催。	その他、自主的に市民参加を行っている	①11/4 AM10-12:野川CC ②11/4 PM4-4:南部CC ③11/5 PM2-4:エコルマ ④11/7 PM7-9:岩戸CC	①27名 ②14名 ③30名 ④34名	公表した	広報・ホームページ、その他	有
政策室	企画法制担当	旧柏江第七小学校跡地利用に伴う緑化スペース等の基本計画策定ワークショップ	ワークショップ	平成23年度に提出された市民参加手続の方法提案に起因し、旧柏江第七小学校跡地利用に伴う緑化スペース等についてワークショップ形式で4日間開催。	(4)大規模な施設の設置に係る基本計画等の策定・利用や運営方針、又は変更	①8/4、②9/1、③10/13、④12/8	①15名 ②18名 ③12名 ④12名	公表した	広報・ホームページ、その他	有
政策室	企画法制担当	第9回市民意識調査	その他	市民の意向の変化を把握し、基本計画の改定に向けた基礎資料とするために実施。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	8/10-8/24	標本数2,500名 回収数1,131通	公表した	ホームページ、その他	有
政策室	企画法制担当	柏江市後期基本計画素案に関する説明会	市民説明会	後期基本計画策定に伴うパブリックコメントと同時期に開催し、周知・理解に努める。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	①2/9、②2/13	①13名 ②12名	公表した	広報・ホームページ	有
政策室	企画法制担当	外部評価・市民フォーラム	市民フォーラム	外部評価委員会によるフォーラムとして、行政評価における市民参加の一環で実施。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	平成24年10月27日	12名	公表した	広報・ホームページ、その他	有
政策室	協働調整担当	参加と協働・市民フォーラム	市民フォーラム	参加と協働審議会によるフォーラムとして、柏江市として初の試みとなるワールドカフェ方式でフォーラムを開催。	その他、自主的に市民参加を行っている	平成24年10月27日	38名	公表した	広報・ホームページ	有
政策室	協働調整担当	男女共同・フォーラム	市民フォーラム	男女共同参画社会の推進に向け、講演と映画により親しみやすい内容となることを意識して実施。	その他、自主的に市民参加を行っている	平成25年2月10日	約210名	公表した	広報・ホームページ、その他	有
安心安全課	危機管理担当	暴力団排除条例説明会	市民説明会	柏江市安心で安全なまちづくり基本条例第12条で規定されている暴力団排除に関し、個別条例を制定するためパブリックコメントと併せて説明会を実施。	(2)市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	平成24年11月25日	1名	公表した	広報・ホームページ	有
安心安全課	危機管理担当	柏江市防犯カメラの設置及び運用に関する条例説明会	市民説明会	防犯カメラの設置条例を制定するためパブリックコメントと併せて説明会を実施。	(2)市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	平成24年12月2日	2名	公表した	広報・ホームページ	有
安心安全課	危機管理担当	安心安全基本条例・基調講演	その他	平成25年4月1日に柏江市安心で安全なまちづくり基本条例が施行されることに伴い、市民への周知、理解、興味を深めてもらうなどを目的として実施。	(2)市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	平成25年3月24日	78名	公表した	広報・ホームページ、その他	有
地域活性課	市民活動推進係	岩戸地域センター建替・市民説明会	市民説明会	岩戸地域センターの建替に伴い、近隣世帯を中心として説明会を実施。	(4)大規模な施設の設置に係る基本計画等の策定・利用や運営方針、又は変更	①2/17、②2/19	①29名 ②9名	公表した	広報・ホームページ、その他	有
環境政策課	環境政策係	環境基本計画改定／地球温暖化対策実行計画・市民説明会	市民説明会	環境基本計画改定／地球温暖化対策実行計画策定に伴い、パブリックコメントの実施と併せて市民説明会を開催。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	平成24年11月16日	3名	公表した	広報・ホームページ	有
環境政策課	環境政策係	緑の基本計画改定・市民説明会	市民説明会	緑の基本計画改定に伴い、パブリックコメントと併せて市民説明会を開催。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	平成24年11月16日	2名	公表した	ホームページ	有
環境政策課	環境政策係	緑の基本計画改定・ワークショップ	ワークショップ	市内の緑管理を考えるワークショップとして、2回開催。樹林地の活用方法検討についての講義のほか、樹林地の観察、意見交換等を行った。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	①7/7、②8/18	①23名 ②19名	公表した	広報・ホームページ、その他	有
環境政策課	環境政策係	環境基本計画改定／地球温暖化対策実行計画・ワークショップ	ワークショップ	①環境基本計画改定／柏江の環境像の実現ワークショップ ②地球温暖化対策実行計画／地球温暖化行動ワークショップ	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	①6/9、7/14、7/28 ②6/23、7/7、8/4	①計53名 ②計70名	公表した	広報・ホームページ、その他	有
道路公園課	管理係	権限移譲に伴う条例改正・市民説明会	市民説明会	権限移譲に伴う条例改正(道路構造基準条例、道路標識の寸法・文字等の大きさ条例、道路移動円滑化基準条例、特定公園施設設置条例)に伴い、パブリックコメントと併せて市民説明会を開催。	(2)市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	平成24年10月5日	1名	公表した	広報・ホームページ	有
都市整備課	企画計画係	まちづくり条例改正・市民説明会	市民説明会	まちづくり条例改正に伴い、パブリックコメントと併せて市民説明会を開催。(パブリックコメントは平成25年度(4/1～4/30)で実施。	(2)市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	平成25年3月21日	13名	公表した	広報・ホームページ	有
都市整備課	企画計画係	都市公園条例改正・市民説明会	市民説明会	都市公園条例改正に伴い、パブリックコメントと併せて市民説明会を開催。	(2)市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	平成24年7月17日	7名	公表した	広報・ホームページ	有
図書館	図書サービス係	子ども読書活動推進計画策定・市民説明会	市民説明会	第二次柏江市子ども読書活動推進計画策定に伴い、パブリックコメントと併せて市民説明会を開催。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	①1/27、②1/30	①3名 ②0名	公表した	広報・ホームページ	有

平成24年度 市民参加の実施状況

主管課	担当係	市民参加の施策名	報告書			備考
			報告書の公表	非公表の理由	報告書の公表時期 4週間以内	
秘書広報室	広報広聴担当	市長への手紙	公表	—	○	概ね4週間以内に、要旨をHPで公表（市長への手紙取扱要綱第5条）
		市長と語る会	公表	—	×	出された意見を集約し、庁議に付議。その後庁議記録として公開。
政策室	企画法制担当	旧泊江第七小学校跡地利用に伴う緑化スペース等の基本計画策定ワークショップ	公表	—	○	
政策室	企画法制担当	第9回市民意識調査	公表	—	○	回収率向上のため、設問数・内容、尋ね方を工夫した。
政策室	企画法制担当	泊江市後期基本計画案に関する説明会	公表	—	○	参加する市民が固定化されているような印象があった。また、説明会の趣旨に合致しない意見が多く見られた。
政策室	企画法制担当	外部評価・市民フォーラム	公表	—	○	参加する市民が固定化されているような印象があった。参加と協働フォーラムと連続して開催し、集客アップを図った。
政策室	協働調整担当	参加と協働・市民フォーラム	公表	—	○	ワールドカフェ方式は市民参加の一手法としては良い。外部評価フォーラムと連続して開催し、集客アップを図った。
政策室	協働調整担当	男女共同・フォーラム	公表	—	○	集客に向けたPRとして、新聞社取材のほか、チラシの新聞折込、男女共同参画推進委員によるイベントでのロコミ等に努めた。
安心安全課	危機管理担当	暴力団排除条例説明会	公表しなかった	—	×	関係団体への周知等に努めたが、参加者が少なかった。
安心安全課	危機管理担当	泊江市防犯カメラの設置及び運用に関する条例説明会	公表しなかった	—	×	関係団体への周知等に努めたが、参加者が少なかった。
安心安全課	危機管理担当	安心安全基本条例・基調講演	公表しなかった	—	×	防災講演会と抱き合わせて開催し相乗効果を図った。
地域活性課	市民活動推進係	岩戸地域センター建替・市民説明会	公表	—	○	近隣住民に対しチラシを各戸配布。
環境政策課	環境政策係	環境基本計画改定／地球温暖化対策実行計画・市民説明会	公表	—	○	
環境政策課	環境政策係	緑の基本計画改定・市民説明会	公表	—	○	
環境政策課	環境政策係	緑の基本計画改定・ワークショップ	公表	—	○	
環境政策課	環境政策係	環境基本計画改定／地球温暖化対策実行計画・ワークショップ	公表	—	○	
道路公園課	管理係	権限移譲に伴う条例改正・市民説明会	公表しなかった	—	×	
都市整備課	企画計画係	まちづくり条例改正・市民説明会	公表しなかった	—	×	
都市整備課	企画計画係	都市公園条例改正・市民説明会	公表しなかった	—	×	
図書館	図書サービス係	子ども読書活動推進計画策定・市民説明会	公表しなかった	—	×	

審議会等委員アンケート集計結果

公募市民委員アンケート集計結果

調査対象:平成24年度に市の審議会等(委員会・協議会等)に公募による市民委員として参加されていた方

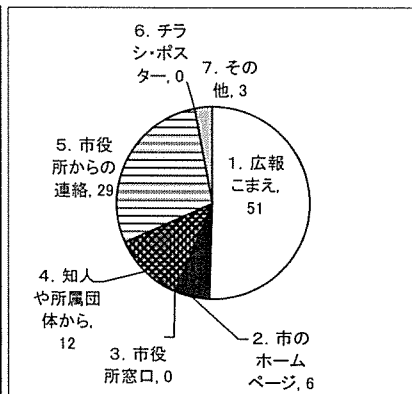
調査期間:平成25年5月17日～6月10日

アンケート実績	
送付数	111通 (H23:131 H22:108 H21:141)
回答数	81通 (H23:90 H22:86 H21:98)
回答率	73.0% (H23:68.7 H22:79.6 H21:69.5)

◆市民委員への応募等に関することについて(複数回答可)

○どの方法で委員募集を知りましたか？

	H24	H23	H22	H21	H20
	回答数	%	%	%	%
1. 広報こまえ	51	50%	50%	47%	44%
2. 市のホームページ	6	6%	8%	8%	2%
3. 市役所窓口	0	0%	0%	1%	2%
4. 知人や所属団体から	12	12%	18%	23%	27%
5. 市役所からの連絡	29	29%	19%	19%	19%
6. チラシ・ポスター	0	0%	4%	0%	
7. その他	3	3%	2%	3%	6%
計	101				

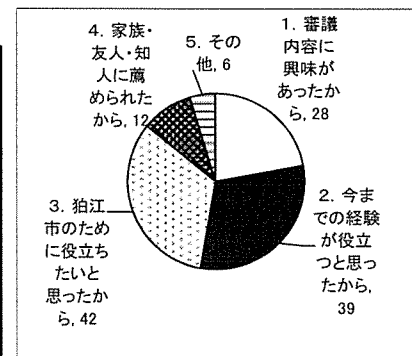


「1.広報こまえ」の割合が高く、次いで「5.市役所からの連絡」、「4.知人や所属団体から」の順となる。
「7.その他」

1	公民館運営審議会市民委員は利用団体推薦のため団体間でも気にかけており、改選の時期に声を掛け合うなどする。
2	審議会の席で誘われた。

○応募のきっかけは何ですか？

	H24	H23	H22	H21	H20
	回答数	%	%	%	%
1. 審議内容に興味があったから	28	22%	24%	24%	27%
2. 今までの経験が役立と思ったから	39	31%	31%	31%	26%
3. 狛江市のために役立ちたいと思ったから	42	33%	35%	31%	32%
4. 家族・友人・知人に薦められたから	12	9%	7%	9%	12%
5. その他	6	5%	2%	5%	3%
計	127				



「3.狛江市のために役立ちたいと思ったから」「2.今までの経験が役立と思ったから」の割合が高く、次いで「1.審議内容に興味があったから」の順となる。

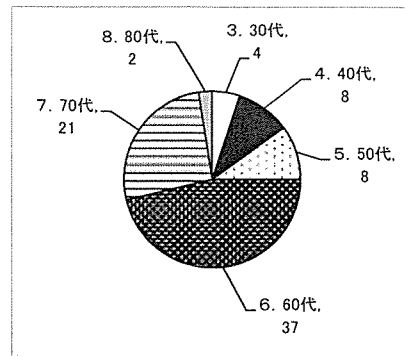
「5.その他」について

1	団体推薦なのでグループの中で相談しました。自分の動機としては1、3、4が該当。
2	所属団体の前任者からの依頼。
3	引き続き2期目をひきうけた。
4	基本構想の委員をしたので、実践面も見ておきたかった。
5	事前に3～4回傍聴させてもらった結果、興味を抱きました。
6	「市民参加と市民協働の審議会」に応募したが、採用されるか否か判らなかったため、経験のある「社会教育委員の会議」にも同時期に応募したのも。

審議会等委員アンケート集計結果

○年齢について伺います。

	H24	
	回答数	%
1. 10代	0	0%
2. 20代	0	0%
3. 30代	4	5%
4. 40代	8	10%
5. 50代	8	10%
6. 60代	37	46%
7. 70代	21	26%
8. 80代	2	3%
計	80	



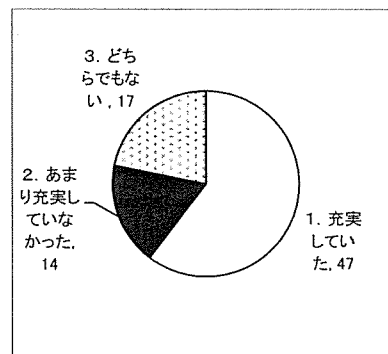
「60代」「70代」で70%強を占め、「40代」「50代」が各10%。

◆会議の中身、運営について伺います。(いずれか一つに回答)

○会議の審議内容についてどのように感じましたか？

	H24		H23	H22	H21	H20
	回答数	%	%	%	%	%
1. 充実していた	47	60%	52%	46%	57%	60%
2. あまり充実していなかった	14	18%	23%	24%	22%	21%
3. どちらでもない	17	22%	25%	31%	21%	19%
計	78					

「1.充実していた」の回答の割合が高い。



【3. どちらでもない理由】

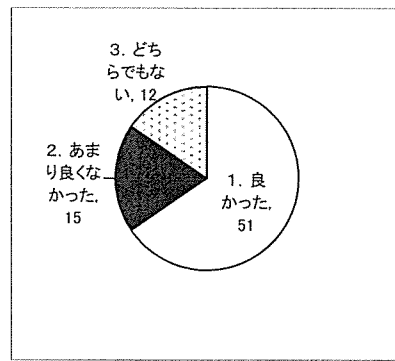
1	私の勉強不足だとは思いますが、狛江の福祉の全体が見えにくい気がしました。
2	話すべき内容が盛りだくさんで、消化不良の面が多かった。大きな諮問が2件あり、その答申を出した面では充実した内容もあり、時間的には不足して課題が残っている。相反する意見が度々出て、相方に消化不良が残った。
3	議論なく、今一盛り上りに欠けている。
4	何について考えたらいいのかが幅が広すぎてわかりにくい。
5	意見は出しあえたが、審議時間が足りない感じがした。
6	公開案件がなくそのための審査会が開かれなかった。
7	打ち合わせ時点で、一つの議題にどのくらい時間をかけるか読んでおいて欲しかった。
8	コースの提案内容とその結果はあらかじめ決まっていたもので、当初からひっこめる事案については試走もしていない。はっきり言っておそまつ。会議の中で状況がわかり、追求しなかったが、後のフォローもない、形だけの会議と感じる。
9	事務局が作成した資料はよかったと思うが今まで参加していて1期では…すくなくとも2期は、お願いしたほうがよいと思う。
10	学識・有識者の意見は貴重だが、狛江の実情・実態をもっと反映できる工夫が必要。
11	問題課題整理→討議手順→決定などの全体の流れ。スケジュールがややあいまいで全体が見えにくかった。
12	特に大きな問題案件がなかった。
13	いかにしたらごみ半減につながるか第8回委員にまだその方法が残っているのか会で勉強したかった。
14	出来るだけ多くの方が発言するようにすべきだと思う。折角委員に選ばれたのだからもっと積極的に審議に参加すべきだと思う。
15	審議で事務局の位置づけが不鮮明であり、同じ立場で意見が出なかった。
16	会議当日の資料配布だけのことであり、事前のレビューが出来ないことがあった。
17	審議会の目的にしぼってそれない案件でありたい。
18	誠実ではあるが、未来思考、若いエネルギーに欠ける。
19	市の内部評価をベースに市民視点の評価であったがなかなか議論は深まらなかった。また、23年度評価の提言は、24年度の遂行には実質的に反映できないとのジレンマもあった。

審議会等委員アンケート集計結果

○審議の進め方(進行)についてはいかがでしたか？

	H24	H23	H22	H21	H20
	回答数	%	%	%	%
1. 良かった	51	65%	55%	64%	73%
2. あまり良くなかった	15	19%	21%	15%	9%
3. どちらでもない	12	15%	24%	21%	18%
計	78				

「1. 良かった」の回答の割合が高くポイントが上がっている。



【3. どちらでもない・理由】

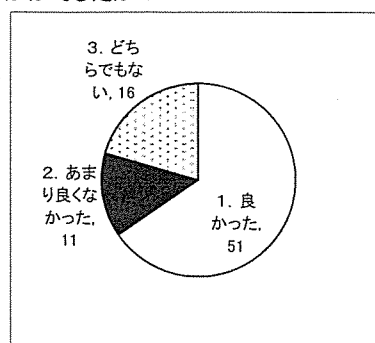
1	論点があいまいなことが多かった気がする。
2	進行役である委員長の進め方が不満(時間配分や重点をおく所など)。各委員からの意見をよく聞き対応されており評価できるが、課題もあったと思う。委員長としても発言は必要。
3	任期の半ばになって諮問内容が明らかになり、進行具合は改善された。
4	考える時間、皆で話し合う時間が少ない。
5	公開案件がなくそのための審査会が開かれなかった。
6	個人個人の意見の違いを大きな視点で捉えてまとめて欲しかった。
7	前期までの審議の流れを聞かなければ、前期の流れを切った形で話しをすすめようとしている。公共交通会議は、単なる「やりました」という証拠づくりにしかみえない。
8	会議の内容が新しい方には理解がされていないようだ。
9	市は最終案をチェックするのではなく、会議の中で議論に積極的に参加した方がよい。・農大事務局は会議内容を修正案(数回)に誠実に反映してくれた。
10	問題課題整理→討議手順→決定などの全体の流れ。スケジュールがややあいまいで全体が見えにくかった。
11	もう少し、公募委員個人に直接意見を聞いていただきたいと思いました。
12	加齢により耳の遠い方、難聴の方も居るかも。会長はもう少し大きな声で進行してもらいたい。
13	帝京平成大学の教授が進行役になっていただいた事でこれまでの会議とはちがう話し合いができた。
14	議長の進行は良かったが、行政側説明が今一つだった。
15	一回毎の審議内容について当日のあらましをまとめていった方がよい。
16	一般的に時間に制約されているので議長は質問の時間を長くとれないためか、「質問はありませんね？」とすぐ先に進めたがるのは仕方ないのかも。

審議会等委員アンケート集計結果

○会議のための市事務局が作成した資料や市事務局からの説明はいかがでしたか？

	H24	H23	H22	H21	H20
	回答数	%	%	%	%
1. 良かった	51	65%	64%	58%	66%
2. あまり良くなかった	11	14%	16%	12%	9%
3. どちらでもない	16	21%	20%	30%	25%
計	78				

「1. 良かった」の回答の割合が高い。



【3. どちらでもない・理由】

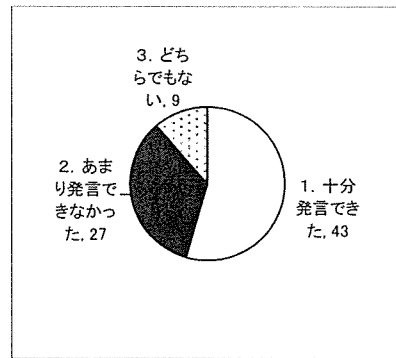
1	資料や提案内容の要約版のようなものがあると良いと思う。
2	欠席委員に前回資料や記録が届かず度々お願いした。答申作成に関して、以前事務所に専門職がいた際は専門的な資料や過去の公民館事業について詳しくよく助言いただけた。公民館での事業は短期的なものも必要だが、長期に市民活動と関わり積み上げていく事業が多い。過去の経緯や歴史の把握が必要。
3	なんとなく。
4	普通。
5	丁寧に説明してもらった。
6	質問事項に対しての資料が揃ってない時があった。
7	公開案件がなくそのための審査会が開かれなかった。
8	市の方の作成された資料はわかりやすかったです。説明も丁寧だったと思います。
9	前期のアンケートに比較して、精度はとも向上し、現状を示すものになってきている。だからといって全体的によかったとまではいかない。
10	新しい方には別に会議の内容、審議会が検討する問題を具体的に説明が必要だと私は思います。
11	市作成の資料の現状分析が不足。
12	一部わかりにくいものもある。
13	問題議題整理→討議手順→決定などの全体の流れ。スケジュールがややありなしで全体が見えにくかった。
14	大部分良かったが少し、講座等の募集の方法が、いくつか考慮されていた方が、市民の方々が応募しやすかったのではないだろうか。(電子メール、電話等)
15	資料が多く、もう少しまとめた形での資料がほしい。
16	次回の会議に必要な書類を事前に送っていただいたので会議がスムーズに行なわれた。
17	当該部門の業務説明 個人情報保護の理解にバラツキがある。
18	議事録の作成が不明。本来なら次回の会議で配布すべきです。
19	作成した資料等に文言を含め簡潔さがほしい。(特に議事録)
20	行政としてのビジョンがもう少しクリアに出るとよいと思います。
21	行政ビジョンを感じることができた。
22	粕江市と人口の規模の似ている近隣市の状況も資料にあり、比較しやすかった。
23	欠席した時の資料送付は、こちらから依頼した時にしがなく、改善してほしいと思いました。

審議会等委員アンケート集計結果

○会議でのご自身の発言についてどのように感じましたか？

	H24		H23	H22	H21	H20
	回答数	%	%	%	%	%
1. 十分発言できた	43	54%	49%	54%	47%	40%
2. あまり発言できなかった	27	34%	32%	30%	32%	38%
3. どちらでもない	9	11%	20%	16%	21%	23%
計	79					

「1. 十分発言できた」の割合が高いが、「2. あまり発言できなかった」も3割程度存在する。

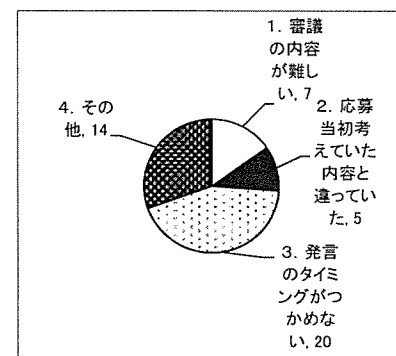


※「2. あまり発言できなかった」、「3. どちらでもない」とお答えいただいた方に伺います。

○十分に発言できなかった理由は何ですか？（複数回答可）

	H24		H23	H22	H21	H20
	回答数	%	%	%	%	%
1. 審議の内容が難しい	7	15%	8%	15%	15%	14%
2. 応募当初考えていた内容と違っていた	5	11%	20%	21%	24%	24%
3. 発言のタイミングがつかめない	20	43%	22%	21%	20%	10%
4. その他	14	30%	49%	42%	41%	52%
計	46					

「3. 発言のタイミングがつかめない」の割合が高い。



【4. その他】

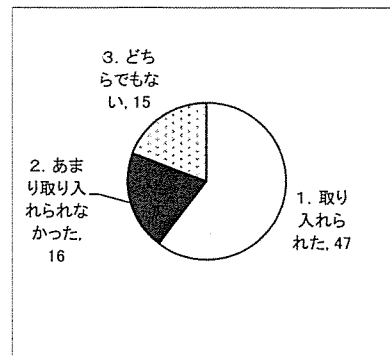
1 私自身の勉強不足。
2 一人が特定の方向に結論を持って行く。
3 審査がなかったのだ。
4 新しい委員に対して配慮した。
5 公正な発言がむずかしい気がするから。
6 一部の委員の方々への意見は求められたが、公募委員への意見はなかなか求められなかった。
7 諮問に対する意見のまとめ方が良くないと思われます。
8 アイデアが出なかった(具体的施策が思い浮かばなかった)。
9 開催時間が19:30～のせいか、全体として短時間で完了したいような空気になっている。
10 市の方針等を理解する段階であったため。
11 初めは内容をすぐに理解する事は難しい事もありましたが一年経つとだいぶ理解はできる様になりました。
12 本人の勉強不足。
13 質問しようとした内容が、この会議での発言として適当かどうか迷った為、つまり自分の勉強不足(TPPIについて)。

審議会等委員アンケート集計結果

○会議の中でご自身の意見が取り入れられたと思いますか？

	H24	H23	H22	H21	H20
	回答数	%	%	%	%
1. 取り入れられた	47	60%	54%	47%	55%
2. あまり取り入れられなかった	16	21%	24%	16%	11%
3. どちらでもない	15	19%	22%	37%	26%
計	78				

「1. 取り入れられた」の割合が、前年より上がっている。



【3. どちらでもない・理由】

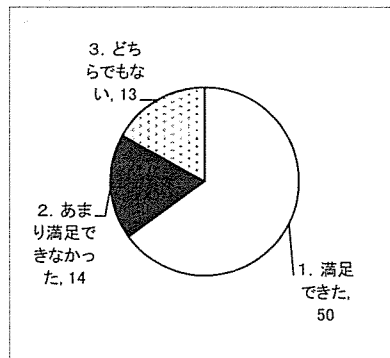
1	公運審は合議体なので、個人の意見が取り入れられたかどうかという見方はしません。各人の意見の元にある考えを互いによく理解して議論を深め考え合うことが大事だと思います。
2	取り入れられるほどの意見の交換があったとは思えない。
3	提言をし、それに対して検討もしていただけだったので満足です。
4	発言していない。
5	審査がなかったのだ。
6	発言した中で、後から市の方が反応して下さったのだなと感じた2、3点はありました。
7	初めからゴールは決まっています。変える気ないなら、市民委員を入れる必要ありません。市民協働に程遠い。
8	自分の意見としてはまとまっていなかったため。
9	議事進行はほぼ委員長の考える路線で動されている。但し、委員長の持つ情報量と、自分自身の準備不足もあり、ある程度やむを得なかったと理解している。
10	他人の意見に対して、可否を言われる。
11	意見が諮問内容と合致していたかどうか判明しなかった。
12	意見というより、疑問点を伺い、教えて頂いたような場面が多い。
13	ようやく、最初から参加されている方等の経過が理解できた状態の為。
14	内容による。
15	発言のタイミングがつかめず、発言が少なかったので意見があまり発言できていない。
16	積極的発言が不足していた。
17	意見を発表しなかった。

審議会等委員アンケート集計結果

○審議会等がまとめた答申(提言・報告)内容について、どのように思いますか？

	H24	H23	H22	H21	H20
	回答数	%	%	%	%
1. 満足できた	50	65%	46%	48%	56%
2. あまり満足できなかった	14	18%	18%	13%	24%
3. どちらでもない	13	17%	36%	39%	19%
計	77				

「1. 満足できた」の割合が高く、ポイントが上がっている。



【3. どちらでもない・理由】

1	一年強の期間で2つの諮問は荷が重かったです。「青少年の居場所」答申は対象範囲を限定したとは言え時間がまったく足りませんでした。委員の皆が関心をもって前向きに取り組んだ内容だっただけに残念でした。何より前回の答申を受けて館から何のリアクションもないことに驚き、気持ちが削がれる思い。答申どおりにはいかないのはわかるが、受けたことに対し今後の方向性を示す必要があるのではないかと。
2	わかりません。
3	二つの答申のうち一つは満足、もう一つは時間がなく不満足な結果となった。
4	報告書が生かされていないのでは？
5	議論の内容は反映されていると思うが、提言が現場でどう活かされていくのかが分からない。
6	審査がなかったのだ。
7	今期まとめられた答申は前よりも、わかりやすかったと思います。
8	私も大人ですので、初めから決まっていることについて、とやかく言いません。会議で決めても決定は市の担当部署・市長と言われているので、もう仕方ありません。
9	可もなし不可もなしの内容が多かった。
10	現在は未だ答申(結論)に到っていない。
11	本格的にもう少し包括的に必要な事を盛り込むべきと考えている。但、現実的な実現性を考えると、やむを得ないのかと思う所もある 自分としては残念なところもある。
12	答申作成に入っているのか、居ないのかよくわからない。
13	答申内容の理解不足。
14	提言の内容が総花的で「選択と集中」という視点が不足していた。
15	提言でなく、市の対応策について。ていねいな記述であったが、多くは基本計画の改訂に委ねるなど、具体性が十分だとは言いきれない。

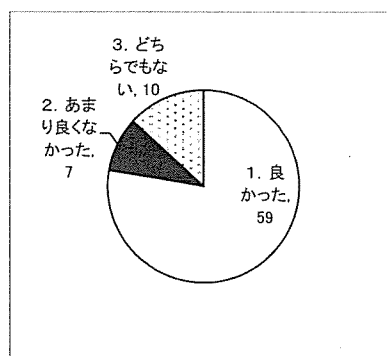
審議会等委員アンケート集計結果

○公募市民委員として会議に参加してどうでしたか？

	H24	H23	H22	H21	H20
	回答数	%	%	%	%
1. 良かった	59	78%	84%	82%	85%
2. あまり良くなかった	7	9%	4%	4%	5%
3. どちらでもない	10	13%	12%	15%	9%
計	76				

「1. 良かった」の割合が高いが前年度よりポイントが低下。

「2. あまり良くなかった」の割合が倍増している。



【3. どちらでもない・理由】

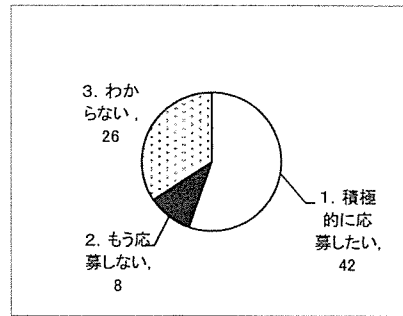
1	自分が関わった分野以外の分野について、よくわからないことが多かった。
2	これからの公民館運営について議論が深められたこと。職員の方々が日々努力されている点や考えられていることもわかりよかったです。
3	現段階では、すべての委員の発言が活発にかつ平等に、という感じがしない。
4	審査がなかったのだ。
5	システムが始めはわからなかったが参加しているうちに、色々な事を知れたから。
6	市の姿勢が数年前の検証委員会よりマイナスになっていることがよくわかった。
7	市民委員として活動の経験を生かして発言できたと思うが、もっと幅広い市民参加が必要。
8	最後の1年は病気のため出席できなかった。
9	行政の方向性が見えて来た。
10	市民委員を長く続けることの弊害と一定の経験を持っている委員がいることのメリットとのバランスをどう考えるか。
11	会議・テーマが幅広くて単純にどちらとの評価は難しい。
12	会議内容が毎回同じテーマで、かつ堂々巡りが多く「良かった」とは言い難い。
13	以前、事務担当者として、こういう会議に出ていたことがあるので、こんなものだという予想どおりであった。

審議会等委員アンケート集計結果

○今後、同じ審議会等または他の会議に市民委員として応募しますか？

	H24	H23	H22	H21	H20
	回答数	%	%	%	%
1. 積極的に応募したい	42	55%	54%	46%	51%
2. もう応募しない	8	11%	8%	4%	9%
3. わからない	26	34%	38%	50%	41%
計	76				

「1. 応募すると思う」の割合が高く、ポイントも上がっている。



【2. もう応募しない・理由】

1	審議した内容を誰かが見ているのですか。ほとんどの方が見えていないのでは無駄と思うから。
2	25年度公運審は4期目となり、今後はわかりません。他の審議会については公運審を終わってみたいと考えられません。
3	同一人があまり長いのは良くない。
4	個人的理由で、この他2つの事業に携わっているので、時間的に無理かと思えます。今期は出来る限り一生懸命やらせて頂きます。
5	あまり役に立ってないので。
6	相当の苦労が伴うので。
7	年齢的の限度。
8	同じ会議には応募はないと思う 他の会議等には自分の専門分野その他活躍できるものがあれば応募もあるかも。

【3. わからない・理由】

1	自分が関わった分野以外の分野について、よくわからないことが多かった。
2	審議内容が多すぎて消化するのが時間内では困難と思われる。
3	委員報酬について、公運審委員は3段階の金額になっています。平等の立場で意見をのべる合議体なので、大変不自然に感じます。(金額の高い低いを言っているのではない)
4	任期を精一杯勤めさせていただくことが目標。
5	会議の内容が難しく、誰でも出来るものではない。人選を検討してほしい。
6	現段階では、すべての委員の発言が活発にかつ平等に、という感じがしない。
7	どうせ変わらないなら時間のムダ。市の言うことに「ウン」とうなずく市民を委員にして形だけ審議したよにするのがお互いによいという思いとともに、それじゃダメでしょう。という思いがあります。
8	健康上の問題がなければ応募したい。迷惑をかけたくない。
9	体調などの事を考えて選びましたが、応募しないという事ではありません。色々な人の参加はあった方が良いと思います。
10	テーマによってはまた、参加させていただきたい。
11	メンバーに新鮮味がない 市長が代って変化が出るか？
12	単なる市民としての参加と違い、会議によって専門的な内容が含まれるため気軽な気持ちでは応募できない。
13	現在、平日4～7時まで外出する任務があるため、土、日の会議であれば協力できる。
14	市民委員を長く続けることの弊害と一定の経験を持っている委員がいることのメリットとのバランスをどう考えるか。
15	仕事の多忙。家族の介護で時間の確保が難しいときもあるため。
16	テーマの専門的な知識・経験は十分ではなく、狛江市でのお役立ての気持ちで応募をしたい。
17	審議の内容、会議の時間帯、自分の体調等による。
18	年齢的に上限にきている。
19	その時の状況により判断するが、基本的には一つに絞って応募するようにしたい。
20	8月の3回開催はきつかった。無理なペースでなければ、地域のために役立ちたいとの気持ちはある。
21	興味があるのは、都市計画と教育委員会だが、勉強しなくてはならないので。
22	参加したいが、仕事をする中で、時間的にも制約がある。

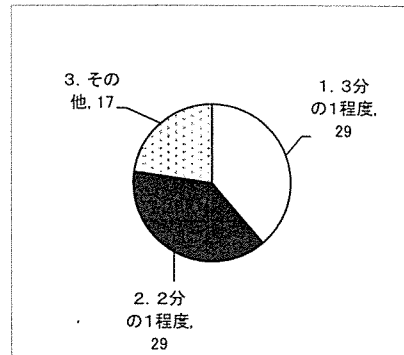
審議会等委員アンケート集計結果

◆審議会等の公募市民委員数(割合)について伺います。(いずれか一つに回答)

○全委員数に占める公募市民委員数の割合は、どの程度が適当と思いますか？

H24		
	回答数	%
1. 3分の1程度	29	38%
2. 2分の1程度	29	38%
3. その他	17	22%
計	75	

「1. 3分の1程度」と「2. 2分の1程度」が同数。



【3. その他・理由】

1	その時の会議による。
2	わからない。
3	公募委員も市の依頼委員も質的な差はないように思う。
4	2名程度
5	3分の2以上
6	市のやる気による。
7	会議の内容による。
8	現状のままでよい。
9	5分の1
10	3分の2
11	できるだけ多く。
12	3分の2
13	ほとんど市民公募にしてほしい。
14	3分の2程度
15	4分の1程度でも可
16	5分の1程度

審議会等委員アンケート集計結果

○ご意見・感想等、自由にご記入ください。

1	公募委員は自己の判断にて意見を述べ、回答を得て、それをもって組織としての回答をもって発言しているのではない点を考慮願いたい。
2	審議する事項等の資料の配布は早めに欲しい。会議録(要旨)が遅すぎると思う。
3	委員報酬が、役職や委員選出区分によって3段階の金額である。平等の立場で意見を述べる合議体なので大変不自然に感じる。
4	公運審では、公募市民委員の枠は利用団体推薦者枠と同じであり、今後は公募市民委員枠と利用者団体推薦者枠を別に設けて欲しい。
5	このアンケートを今後の審議会充実のために役立ててもらいたい。
6	実務スキルが必要な案件検討で実務現場にいない有識者ほどやっかいな存在はない。卓上論ではなく実行・実務論でなければならない課題を大学の研究テーマのように解決してはならない！！大学で教鞭を取った経験と実務経験を照らしあわせて。
7	審議の内容により関係者枠と利用者や当事者枠を設けるべき。
8	資産の公開について市民がほとんど知らない。現市長の資産等がほとんどないのが不思議だったが聞きそびれた。
9	司会進行の方が、時間配分や細部も酌みながら大きく運んでくれることを希望する。
10	市の職員のバスに関する調査はふみこんで、市民として嬉しい、しかし会議の進め方、今後のこと、など市民を入れた会議なのか、ということ、市としてしっかり考えてほしい。
11	初めからゴールが決まっても、しっかりと説明することも必要。そもそも引っ込める案を会議に出すのはおかしい。また、アンケートがどう反映されるのか。アンケートにかかるコストや時間もしっかりと受け止めて考えて欲しい。
12	公募市民は2分の1でもよいが、新たに参加する方には別に研修をするなどし、審議に直ぐに参加出来るようにして欲しい。そして引き続き参加したいといえる審議会として欲しい。特にごみ半減審議会は継続が重要。
13	市内で緑、自然の保全に関する活動に関わっている人たちが参加出来る計画づくりができたと思う。学識者等はアドバイザーとして参加し、市民と行政で計画づくりができればよいと思う。
14	役所の担当窓口で市民農園の生ゴミ推肥区画を増やしどんどん生ゴミを畑に投入する様に夢見て会に名を連ねてみたが現状では「その時期にあらず」とのこと。第8回委員でたとえ何百kgでも減量したかったが残念でした。
15	年間を通じてほとんど会議に出席しなかった委員がいたが、やはり少くとも半分以上出席できるよう日程の調整等を事前に行うべきと思う。
16	公募委員の発言をガス抜きとして扱わないこと。資料配布が遅い。
17	発言者が決まっており他の人も発言できるような工夫が欲しい。
18	自分が知らないことなどあり、勉強になった。意見を述べても同じ内容で色々な意見があり、表現によっても違ってくることを感じた。
19	案件の割りに審議時間が短い。各案件ごとに十分協議時間を確保すべきと思う。
20	まちづくりにおける審議会の役割は極めて大きいと感じた。重要であり責任は大きい。専門委員も建築、交通、都市計画などテーマにより充実させ、資料や提案を出すなど充実させるとよい。
21	事務局は、よく公募委員に対応していたので審議内容をよく把握でき、意見も聞いてくれた。
22	応募したが、自分が考えていた内容とは少し離れていて、なかなか意見を述べる機会もなく終わってしまい反省。内容は一部委員と行政である程度できているので、それを受け入れるのに多少時間が掛かった。また、会議の日程等もギリギリまで連絡がなく、予定がつけにくかった。
23	最終的な答申の方向性に疑問を感じた。
24	議長の進行がとてもよく議論のまとまりがあった。最終答申も満足できる内容となった。
25	委員として不完全だった。
26	時間が許す限り協力できればと思う。
27	専門的な知識や判断が求められる場面と、市民感情を尊重する場面の整理、理解が容易ではない。
28	公募委員以外の委員の発言がない。
29	自分自身の勉強となった。見えない部分で色々な会議が開催され、今があることを実感した。
30	今までは隣接する世田谷区と比較し、なぜ遅れているのだろうと思う事が多かったが、現在は前向きに取り組もうとすることがわかり安心している。
31	一般的には半数以上が市民委員で妥当だが、特殊な審査会は学識経験者のウェイトが高くてよい。
32	公募委員はあくまで関心ある事項や内容に納得した答を得るべきであり、事務的に処理するものではないので今後の検討を要す。
33	出席していてもほとんど発言をしない委員がいた。ゴミ減量審議会と環境審議会に参加した。ゴミ問題はリバウンドを防ぐ問題で、環境審議会では温暖化防止と省エネで意見を述べそれが入れられる答申ができたと思っている。専門性を生かした審議会には積極的に参加しお役に立ちたいと思う。
34	審議会等は市民の考えと行動を吸収する格好な場所であるため重要視してもらいたい。
35	目標への課題と検討テーマがたくさんあり会議での消化不良の感がある。審議会の方向性は先ず明確にして、具現性の検討を進め、審議会の効率性を高めたい。

審議会等委員アンケート集計結果

36	委員長のリードが適切で意見も述べやすかった。多様な経験者(含退職者)もいる中で今後も公募を活用してもらいたい。
37	1年目は理解することができず慣れなかったが、2年目はしっかりと向き合い理解し発言もしていきたいと思う。
38	現役世代、青年たちの関心が低い。国際的な視野を広げ、もっと英語が氾濫するような環境をつくっていきたい。
39	途中参加でしたので、もう少し時間を共有しながら今後も続けていきたい。
40	引き続き参加したい。
41	審議会等で決めた事柄は放置せず、フォローアップと評価等を行ってほしい。
42	市の職員との意見交換等交流する機会があると良いとおもった。市と市民が風通しのよい良好なパートナーシップをつくるのが暮らしやすい市政につながると思う。

市民参加実施状況アンケート(公募市民委員用)

平成 24 年度所属審議会等名称

このアンケートは、平成 24 年度に狛江市の審議会等（審議会・委員会等）に公募による市民委員として参加されていた方にご協力をお願いしています。アンケートの集計結果は、会議運営における市民参加の機会をより良くしていくために、「狛江市市民参加と市民協働に関する審議会」において、市民参加の評価（平成 24 年度実績）の資料といたします。

あてはまるものに○をつけ、必要な箇所に理由等をご記入ください。よろしくお願いします。

◆市民委員への応募等に関することについて伺います。(複数選択可)

○次のどの方法で市民委員の募集を知りましたか？

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 広報こまえ | 2. 市ホームページ | 3. 市役所窓口 |
| 4. 知人や所属団体から | 5. 市役所からの連絡 | 6. チラシ・ポスター |
| 7. その他〔 | | 〕 |

○応募のきっかけは何ですか？

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 会議内容に興味があったから | |
| 2. 今までの自身の経験が活かせると思ったから | |
| 3. 狛江（地域）のために役に立ちたいと思ったから | |
| 4. 家族・友人・知人に勧められたから | |
| 5. その他〔 | 〕 |

○年齢について（いずれか一つを選択。※平成 25 年 3 月 31 日時点）

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1. 10 代 | 2. 20 代 | 3. 30 代 | 4. 40 代 | 5. 50 代 |
| 6. 60 代 | 7. 70 代 | 8. 80 代 | 9. その他〔 | 〕 |

◆会議の中身・運営について伺います。(いずれか一つを選択)

○会議の審議内容についてどのように感じましたか？

- | | |
|------------------|------|
| 1. 充実していた | |
| 2. あまり充実していなかった | 理由：〔 |
| 3. どちらでもない ----- | |

○会議の進め方（進行）についてはいかがでしたか？

- | | |
|------------------|------|
| 1. 良かった | |
| 2. あまり良くなかった | 理由：〔 |
| 3. どちらでもない ----- | |

○会議のために市の事務局が作成した資料や事務局からの説明はいかがでしたか？

- | | |
|------------------|------|
| 1. 良かった | |
| 2. あまり良くなかった | 理由：〔 |
| 3. どちらでもない ----- | |

裏面へ続きます。引き続きご回答をお願いします。

○会議におけるご自身の発言についてどのように感じましたか？

1. 十分発言できた 2. あまり発言できなかった 3. どちらでもない

※「2. あまり発言できなかった」、「3. どちらでもない」とお答えいただいた方に伺います。

○十分に発言できなかった理由は何ですか？（複数回答可）

1. 会議の内容が難しい 2. 応募当初考えていた会議の内容と違っていた
3. 発言のタイミングがつかめない
4. その他〔 〕

○会議の中でご自身の意見が取り入れられたと思いますか？

1. 取り入れられた
2. あまり取り入れられなかった }> 理由： 〕
3. どちらでもない ----- }

○審議会等がまとめた答申（提言や報告書等）の内容についてどのように思いますか？

1. 満足できた
2. あまり満足できなかった }> 理由： 〕
3. どちらでもない ----- }

○公募市民委員として会議に参加してどうでしたか？

1. 良かった
2. あまり良くなかった }> 理由： 〕
3. どちらでもない ----- }

○今後、同じ審議会等または他の審議会等に市民委員として応募したいですか？

1. 積極的に応募したい
2. もう応募はしない ----- }> 理由： 〕
3. わからない ----- }

◆審議会等の公募市民委員数（割合）について伺います。（いずれか一つを選択）

○全委員数に占める公募市民委員数の割合は、どの程度が適当と思いますか？

1. 3分の1程度 2. 2分の1程度 3 その他〔 〕

○ご意見や感想等、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒でご返送ください。

【問い合わせ】

アンケート担当：企画財政部政策室協働調整担当 矢野
TEL：03-3430-1111（内線 2454）

審議会等委員アンケート集計結果

学識・有識等委員アンケート集計結果

※学識・有識等委員へのアンケートは、基本条例施行10年目となる平成24年度実績に限り特別に実施

調査対象:平成24年度に市の審議会等(委員会・協議会等)に有識者・学識者等として参加されていた方

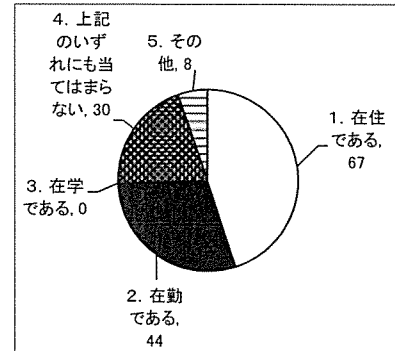
調査期間:平成25年5月17日～6月10日

アンケート実績	
送付数	209通
回答数	128通
回答率	61.2%

◆学識・有識等委員の状況について(複数回答可)

○粕江市との関係でご自身に該当するものをせんたくしてください

	H24	
	回答数	%
1. 在住である	67	45%
2. 在勤である	44	30%
3. 在学である	0	0%
4. 上記のいずれにも当てはまらない	30	20%
5. その他	8	5%
計	149	

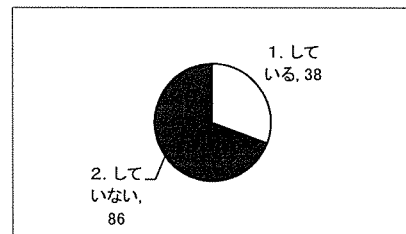


【5. その他】

1	在勤であった。
2	勤務先の管内
3	保険者代表
4	以前、都建設事務所長として都計審委員をしていた。現在、東京都市長会事務局長に就任している。
5	近隣に居住、在住の知人の紹介で委員になった。

○粕江市の審議会等の委員を兼任していますか？

	H24	
	回答数	%
1. している	38	31%
2. していない	86	69%
計	124	



【1. している・兼任数】

1	1件(計2件)	32
2	2件(計3件)	4
3	3件(計4件)	2

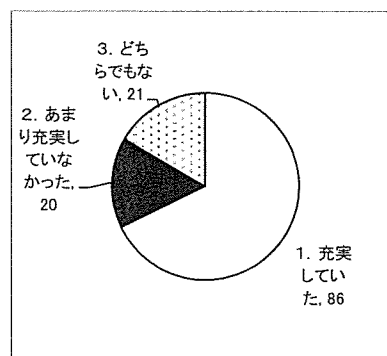
審議会等委員アンケート集計結果

◆会議の中身、運営について伺います。(いずれか一つに回答)

○会議の審議内容についてどのように感じましたか？

H24		
	回答数	%
1. 充実していた	86	68%
2. あまり充実していなかった	20	16%
3. どちらでもない	21	17%
計	127	

「1.充実していた」の回答の割合が高い。



【2. あまり充実していなかった・理由】

1	資料配布が当日になる場合には考える材料が少なかった。
2	自分の知見、資料だけでは審議内容に対して十分な考えをまとめるのが難しかった。
3	市長選もあり24年度は下半期の委員会であった。
4	情報交換はあるが役所出席者層を考えると話題に乏しい。
5	発言の時間にかたよっている。
6	論点整理と目的が不明確。
7	議題から逸れた議論をしている時間が長いように感じた。
8	会議進行が議長に委ねられるが、固定化され、会議全体がこの個人の資質に委ねられた。
9	発言者が限られている。(議員の発言が多すぎる)。
10	最低限の審議項目のみで開催されているが、もう少し報告情報提供などを増やすべきと考える。
11	新しい図書館の計画が白紙になり、今までの審議はなんだったのか。
12	狛江市都市計画変更の指針についての議論それぞれの議員の意見を述べ合うだけで問題点を議題としてさらに話し合うということはないので、いいっぱなし。ある議題で1回しか開催しない。

【3. どちらでもない・理由】

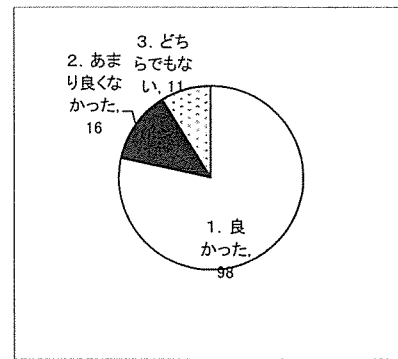
1	何年も審議してきた「新図書館」構想がなくなってしまったことによる失望感が大きかった。何を審議しても、意味があるのか、という懸念がつきまとう。
2	多くの人から活発に意見が出されているようでもない。
3	あまりに活動報告に偏りがある。
4	審議する会とは違うため。
5	健康まつりの実施に関する内容が中心であった。後半は健康づくりに関する検討もあった。
6	委員それぞれ立場もあり、初めから結論の見えていた会であった。
7	精一杯努力を重ねたが、犯罪を減らすテンポが遅すぎる。即ち成果が少なかった。
8	“健康づくり推進”に関する審議と健康まつりに関する話し合い”の場の混乱もあった。
9	議事内容に異なります。
10	このたびはじめて委員に就任しましたので、まだよくわかりません。
11	委員会の目的があいまい。実施計画全体の推進体制として不十分。
12	会議が開催されていない。
13	健康まつりについての話し合いが中心で、健康づくりを推進する委員会としては時間がたりないと思います。
14	その時々でちがうのでこたえにくい。
15	専門性が高く理解に苦慮した。
16	メインの運営及び書類内容が事務局が行なっている為に、ただ出席していた感じがします。
17	審議内容を実施にいたっていない。(検討委員会等)
18	介護保険制度自体が複雑・難解なので市民の方には非常に大変な内容となることが多く、議論することが難しいと感じることがある。
19	主に新図書館についての話し合いであったが、年度途中で中止が決定されたため、協議会の目的がなくなってしまったため。
20	審議するというより当審査会の説明と自己紹介程度の内容であったため。
21	発足したばかりで、まだ進んでいない。

審議会等委員アンケート集計結果

○審議の進め方(進行)についてはいかがでしたか？

H24		
	回答数	%
1. 良かった	98	78%
2. あまり良くなかった	16	13%
3. どちらでもない	11	9%
計	125	

「1. 良かった」の回答の割合が高い。



【3. どちらでもない・理由】

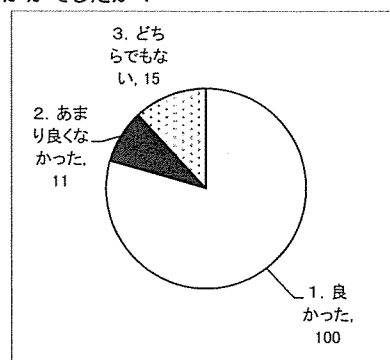
1	事務局や委員長の想定する方向に「宜しいですか」みたいなことで進んでいくことが多い。
2	もう少し次の市民参加につながる議論の時間があつた方が良い。これは進行というより、会議の議事構成だが。
3	自分が進行側だったので、反省点をふまえ、今後、注意しながら進めていくように努力したいと思っています。
4	出席者は、協調して防犯・生活安全を目指していたが、それにしても欠席委員が多すぎる。人選を誤ったのか、会議が不毛なのか？
5	ワーキングの報告が中心。審議委員会としてのテーマがあいまい。
6	会議が開催されていない。
7	私も含め、つい専門用語や略称を用いてしまうが、市民の方には理解できないまま進んでしまう。(反省も含めての意見です)
8	議題の多さに比較し、定例会議が2ヶ月に1度では少なすぎる。多くの市は毎月開催している。
9	主に新図書館についての話し合いであつたが、年度途中で中止が決定されたため、協議会の目的がなくなってしまったため。
10	会長の会議運営に対する思いが、事務局に充分伝わらず、委員の質問に答えきれずにいる。事務局の勉強不足か経験不足か？説明不十分。

審議会等委員アンケート集計結果

○会議のための市事務局が作成した資料や市事務局からの説明はいかがでしたか？

H24		
	回答数	%
1. 良かった	100	79%
2. あまり良くなかった	11	9%
3. どちらでもない	15	12%
計	126	

「1. 良かった」の回答の割合が高い。



【3. どちらでもない理由】

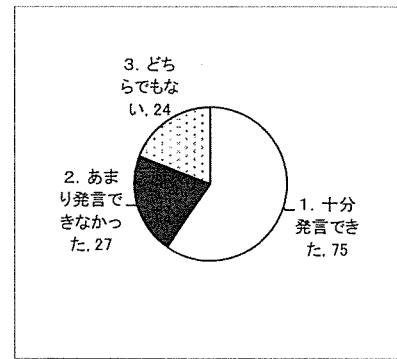
1	まとまりがない。もう少し見やすくしてほしい。(例)確認事項…(資1)の注意書があると探しやすい。(例)クリアファイルの冊子に資料を入れて当日渡し、終了後ファイルを返す。
2	御苦労と思いますが、報告だけのレベルで、だからどう読み解けばいいのか、役立てることが少なかった。
3	最近は簡単な説明になっていて良いが、報告は単純で良いと思う。
4	頼んでおいた資料等は用意してくれました。事務局に説明や質問を求めたとき、その場での確な答えがかえってくることは少なかったです。
5	新しい委員の方への説明などは、資料や活動の広さから難しい。
6	委員の年齢まで入った資料が配布されましたが、個人情報の関係から事務局用までで十分では。委員名簿は簡単でよいと思う。
7	会議が開催されていない。
8	こちらからの提案でその時、その時の資料作成を依頼。
9	事前に資料を送っていただくのにありがたいが、膨大な量(法律の原文など)で読めない。せめて、この検討のためにこの部分の意見をききたいと具体的に提示しておいてほしい。そうするともっと活発で意味ある会議になると思う。
10	議事全般をコーディネートをして円滑に審議が進むようにしていただきたい。
11	ときどき、資料の用意が遅いときがある。
12	実力を出せない会議であったと思う。
13	私も含め、つい専門用語や略称を用いてしまうが、市民の方には理解できないまま進んでしまう。(反省も含めての意見です)
14	現状維持か改善方針か市側の意図があいまいなため、市民委員が理解に手間どったようだ。
15	議案内容の説明に終始しているが、背景や関連事項の説明も加えるべき。

審議会等委員アンケート集計結果

○会議でのご自身の発言についてどのように感じましたか？

H24		
	回答数	%
1. 十分発言できた	75	60%
2. あまり発言できなかった	27	21%
3. どちらでもない	24	19%
計	126	

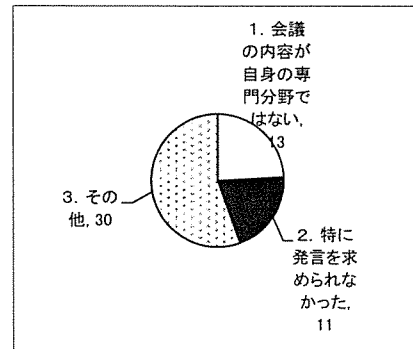
「1. 十分発言できた」の割合が高い。



※「2. あまり発言できなかった」、「3. どちらでもない」とお答えいただいた方に伺います。

○十分に発言できなかった理由は何ですか？（複数回答可）

H24		
	回答数	%
1. 会議の内容が自身の専門分野ではない	13	24%
2. 特に発言を求められなかった	11	20%
3. その他	30	56%
計	54	



【3. その他】

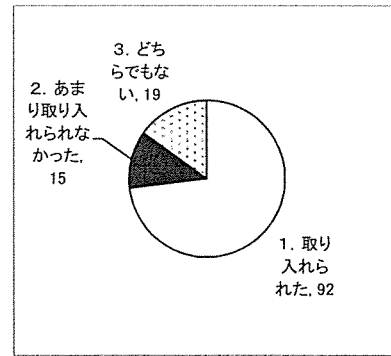
1	継続して話し合われているテーマが多く発言しづらかった。
2	毎回十分ではなかった。
3	一般市民を対象とする場合、あまり専門的でなく分り易く行った方が良いと思う。
4	発言はしましたが、今回はじめてだったため内容がわかりづらかった。
5	時間的に。
6	会議全体を中立で公正に保とうとしたが、一人の存在では無理である。良い意見を発言している方の会議への出席が少ないことも問題である。責任というものがあるはずだが。
7	自分が勉強不足でした。
8	報告量が多く、会議の回数や時間が少なくなった事と、他の委員の意見と格別な疑義がなかった為と思われます。
9	他の委員の御意見に、異議や他の発案がなかった為。
10	委員長の発言内容と私の考えが一致していることが多くあった。
11	委員のみなが同じ様に考えているので誰かが同じ発言を先にするので。
12	必要なことや会議運営上、役に立つと思われることについては、状況に応じて発言している。
13	公務の関係で、すべてに出席できなかったことと、自分の専門分野外であったこと。
14	会長であり、積極的に発言できない立場だった。
15	審議時間を多くする必要がある。委員全員の意見がほしい。
16	政策決定のための議論をしようという方針でない。合議制ではない。無意味な内容。

審議会等委員アンケート集計結果

○会議の中でご自身の意見が取り入れられたと思いますか？

H24		
	回答数	%
1. 取り入れられた	92	73%
2. あまり取り入れられなかった	15	12%
3. どちらでもない	19	15%
計	126	

「1. 取り入れられた」の割合が高い。



【3. どちらでもない・理由】

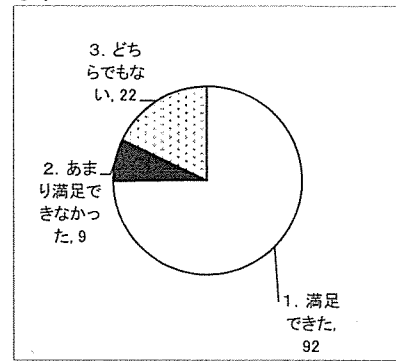
1	報告が多く、意見が交わせる時間が少ない。自分の分野ではないことが多い。
2	殆ど発言をしていない為。
3	とくに意見が無かった。
4	学識委員の意識レベルと市民直設関っている者との差をうまく埋められないと思うことがある。
5	自分の意見を取り入れるというより委員で話し合っ、結論を出すようにしていました。
6	内容によります。
7	会議が開催されていない。
8	その時々でちがうので答えにくい。
9	分科会では十分ではないが発言内容が反映されたと感じた。
10	発言の機会がなかったため。
11	人まかせ…。申し訳ない。
12	特別な変更事由がなかった為。
13	審査会は1回しか開催されておらずそこで審査会の説明と、委員の自己紹介程度で会議が終了したため。
14	現在、全員意見を話しあっている段階。
15	自身の専門分野と違った会議内容のため。
16	特に意見は出していない。

審議会等委員アンケート集計結果

○審議会等がまとめた答申（提言・報告）内容について、どのように思いますか？

H24		
	回答数	%
1. 満足できた	92	75%
2. あまり満足できなかった	9	7%
3. どちらでもない	22	18%
計	123	

「1. 満足できた」の割合が高い。



【3. どちらでもない・理由】

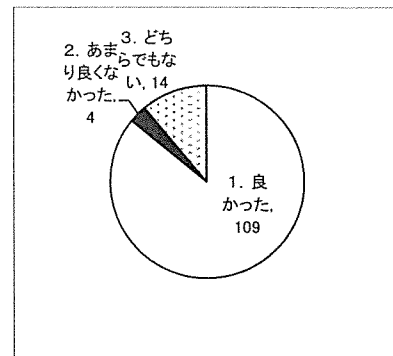
1	事務局がしっかりしていたときには満足できるものもあった。まとめただけで実施されないのではないかと不安感あり。
2	H24年度にまとめられた答申がなかったため。
3	なかなか思い切った提言はつくられにくいように思う。
4	答申に至っていない。
5	答申はありませんでした。
6	答申をまとめたという意識はないので。
7	提言や報告書は？健康まつりは年々改善された印象。
8	この協議会は結果（成果）が必要で、減少（犯罪）の度合いが少ない。
9	推進委員会としての提言は行っていないと思う。
10	会議が開催されていない。
11	どのように報告されたかわからない。
12	答申と言えるものか？
13	答申は、良かったのですが、実際に施行されるのが何時かわからないのが気になりました。
14	答申については出来る限りやったと思うが、それが十分反響されたかどうか疑問が残る。
15	他の委員会（市民福祉推進委員会など）やそこで作成される計画案との整合性や立ち位置が曖昧に感じる。
16	内容を知らない為。
17	答申する団体ではない。
18	前提としての法律制定が不十分な点があるので、自治体だけでは対応できない点が多いので。

審議会等委員アンケート集計結果

○学識・有識等委員として会議に参加してどうでしたか？

H24		
	回答数	%
1. 良かった	109	86%
2. あまり良くなかった	4	3%
3. どちらでもない	14	11%
計	127	

「1. 良かった」の割合が高い。



【3. どちらでもない・理由】

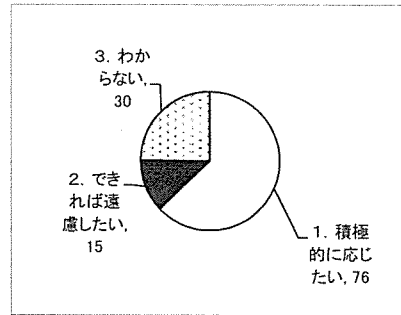
1	部分的にしろ、意見を出すことが出来た。
2	自分自身が良かったと判断するものではないように思います。他からの評価によって、良かったか良くなかったか判断される会(委員)だと思っています。
3	もう少し市の健康づくりに関する全体的な検討ができると良かった。
4	3回の委員会活動のため。
5	会議が開催されていない。
6	識者としての役割を発揮できなかった。
7	求められている立場を理解して、常に参加している。
8	前に書いている通りなのでどうかときかれても返答にこまる。
9	参加しないよりはまだから。

審議会等委員アンケート集計結果

○今後も狛江市からの委員依頼に応じますか？

	H24	
	回答数	%
1. 積極的に応じたい	76	63%
2. できれば遠慮したい	15	12%
3. わからない	30	25%
計	121	

「1. 積極的に応じたい」の割合が高い。



【2. できれば遠慮したい・理由】

1	多忙で時間の調整に苦労している。
2	10年程、何らかの委員を引受けており、交代するのが市の為になる。…一人の方が長期に携さわるのは時として弊害を生む。
3	精兵と交代する可し、(老兵は死なず、消え去るのみ)
4	なかなか校務も忙しいので…ですが仕方ないですね。
5	年齢的に体調が不安定のためです。
6	時間的にきびしい面がある。
7	本務が大変忙しくなったため。
8	答申について、実施機関が真摯に対応したかどうか不明。時間をかけて審議した結果が尊重されていないと感じる。
9	今期すでに2期目であり、これで終了とさせていただきたい。公募委員化が進められる中で、多選は制限されるべきである。
10	介護や仕事で狛江にいる時間が少なくなった。もう十分に何年も委員としてお世話になったので若い人にバトンタッチしたい。
11	地理的に遠いので。

【3. わからない・理由】

1	委員会の内容による。
2	自分の関われる分野についてなら、参加してもよい。
3	事務局の姿勢によって大きく変わります。ここ数年は、とても積極的にやっていただけましたが、その前はもう辞めようと思っていました。
4	業務等との関係による。
5	あまり長くやらない方がよいと思います。
6	家庭の状況や、自分のわかる分野の会議内容なのかしっかり判断してから。
7	転勤の可能性がある。
8	他の市へ異動した。
9	能力不足。家庭の事情。
10	仕事・業務との兼ねあいにより応じられることが異なってくる為。
11	狛江市外の職場に異動した。
12	審議会等の内容やそのときの繁忙度等によります。
13	分野による。
14	委員会の目的等による。
15	経験、知識、関心のある分野問題なら参加したいという気持ちはあります。
16	状況によります。
17	出来るところは応じて行きたい。
18	校務多用のため。
19	毎年同じような話し合いをするのも意味がないので。
20	校長会で分担しているため何とも言えない。
21	求められれば応じて良い。
22	機会があれば、狛江市の生徒のために活動したい。

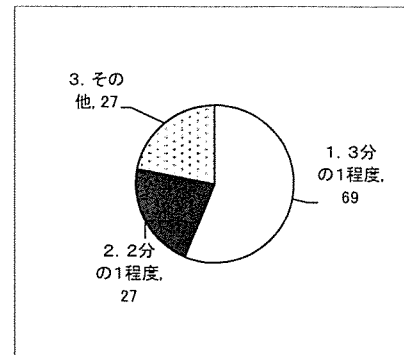
審議会等委員アンケート集計結果

◆審議会等の公募市民委員数(割合)について伺います。(いずれか一つに回答)

○全委員数に占める公募市民委員数の割合は、どの程度が適当と思いますか？

H24		
	回答数	%
1. 3分の1程度	69	57%
2. 2分の1程度	27	22%
3. その他	27	22%
計	123	

「1. 3分の1程度」が半数強を占める。



【3. その他・理由】

1	1/4程度。
2	内容による。
3	本当の公募市民は少ないのでは。傍聴人がたくさんくると本当の公募にならないのでは。
4	その審議会の内容によって割合はかわると思います。
5	10分の1程度。ただしその審議会の内容によっては3分の1程度でもよいと思います。
6	委員会によって構成を変えることが肝要。
7	審議会、協議会、本会のような実行を兼ねた会など、会の性格で決める。
8	解らない。
9	2名程度。
10	多い方がよい。
11	2～3人でよい。
12	審議会、委員会によって割合は変わってよい。
13	審議会のテーマによると思います。
14	内容によるのでしょうか。
15	目的、専門性などにより割合が決まると思う。
16	3分の2程度
17	現在の人数でよいと思います。
18	委員会による。
19	わからない。
20	審議会等の性格や審議内容に困ると思う。
21	利害関係のある審議会に知識、経験の乏しい市民の参加はいいが。
22	意見を言わない委員は必要がない。
23	半分以上。

審議会等委員アンケート集計結果

○ご意見・感想等、自由にご記入ください。

1	上記に記入。各分野の専門の意見や考え方を聞くのが大変勉強になる。
2	大切な市の方針を決める会なので、委員としてもっと勉強したり、市の他の部署の動きを知ったりするチャンスを提供して頂けるとありがたい。(関連情報メールでもOK)
3	日常の診療、医学の研修などで多忙を極めている。高齢なこともあり福祉の勉強不足で役に立たず申し訳ありません。
4	市民協働のしくみをもっと多様にできるよう、市民協働の推進を集中的に議論できる市民参加の委員会、計画が必要。
5	役所の職員の仕事は、とても増えて、大変なことは判りますが、市民は何とも出来ません。市長会なり、もっと地方自治の値が高められるよう、国に意見を出して下さい。
6	コンサル側からの、時代変化に対応した提案(少し飛躍したものでも)があった、それを実態に即す形にする議論があった方が良かった。
7	既述の通り、市民目線で環境行政、まちづくりに対して、どのように市民を巻き込むのかを議論できると良い。このことは今回の環境基本計画の柱でもある。
8	狛江市の防犯、防災について、現状の事が知れたのでとても勉強になりましたし、自分自身、会議に参加して、意識するようになった。
9	他の審議会と違い、答申をするというより、青少年のために何ができるか、何をしていくか、今後どのようなことが実行できるかを、つねに自分に問ながら、活動しています。意見を申し述べる会ではなく、意見や思いを実現するために、努力していく会だと思っています。
10	協議会に参加している間は、意見を求められたときには、なるべく答えるように努力しました。今まで、安心安全ということ、あまり意識していなかったもので、この協議会に参加できたことは、とてもためになりました。ありがとうございます。
11	狛江市の交通安全のため、会議を通じて、市民の意見を取り入れていければと考えております。引き続きよろしくお願いいたします。
12	市民の方々の積極的な参加意欲が感じられました。学識・有識者は市民の方々の意見に対して専門的側面から情報提供を行い、サポートすべきと考えます。
13	半年間、4回の会合だったが、会長の力に敬服。狛江のことを余り知らなかったのが良かったのかも知れない。
14	前述のとおりこの協議会の目的(防犯)遂行の為に精一杯努めた。実りは思ったよりは少なかったが、事務局の協力には感謝している。
15	年度当初の協議会においては、事務局が準備する資料もわかりにくい物が多かったと思いますが、回数を重ねる中で、当日資料を選別し参加した委員もわかりやすくなったのではないかと思います。 特に年度末の地域密着型サービスの検討においては、議論を行う前に先行地域の取り組みを委員と事務局で見学に行くなど、市民参加委員だけでなく有識者にとっても非常に良い勉強となった。 市民参加委員も会議では積極的に意見を述べていただけており、有識者を含めてよい検討ができたのではないかと思います。
16	御苦労様です。微力ながら文化芸術の分野に協力しようと思っています。
17	川崎は政令都市ですが、狛江市は人口7万人強で、様々な面で頑張っておられると思います。図書館行政について、今後は積極的に発言して行きたいです。委員の任務として。
18	新任の公募市民委員に対しての活動内容(課題も含めて)等の説明が不十分のように感じる。委員が固定化すると前提省略で話がすすめられている。
19	経費削減を考えて会議の開催を少なくすることは民主的な行政の運営のためには許されないことと思う。
20	学識・有識等・選任方法の可視化。
21	このアンケートを単に「市民参加の評価」の資料にとどめるのではなく、審議会等の所管の部課に伝え、審議会等の運営改善に役立てて欲しい。
22	市民の方、市役所の職員が狛江市を良くしたいという思いが感じます。
23	委員の方々の見識にふれ、大いに啓発された。質問した内容にも適切な説明をいただけた。
24	狛江とは上下流連携で関わりをもっています。多摩川の自然を守る会や水辺の楽校の発祥地として大きな役割を果たしてきた狛江の歴史的伝統を広く情報発信してほしいと考えます。ますます「狛江らしさ」に磨きをかけて下さい。
25	会議の時間を17:00からにしてほしいです。
26	答申の内容に対する対応をして欲しい。でないと次のステップを踏めないと思う。
27	会議費(謝金)の支給は、学識経験者(大学教授、準教授等)及び又はこれと同等以上の知識を有するものとして、予算の有効活用に資するよう見直すことを望みます。
28	狛江のスポーツの発展のためにも答申の実行が必要であり、狛わくらぶと審議会との関係はないものとする。
29	会議の開催時間に配慮して頂くと助かります。(会議の場で聞かれても他の委員も含めこの点については意見を言にくい点にも配慮頂きたいです。)
30	狛江市がもつ問題意識と改善策を知る機会として、自身が得る点も多く、微力ながら務めさせて頂いております。

審議会等委員アンケート集計結果

31	長い間大変お世話になりました。最後に一言、審議会では、個人情報保護上、外部提共が最も問題で、過去平成18年に、トラブル(ソフトミス)が発生したし、将来もそのおそれは否定できません。従って個人情報の提共先については、十分審議をつくすことが必要です。同時に外部委託事務の終了時には厳しく見直しや検証などを行い、再発防止に努めてもらいたい。勿論既に防止策を講じられていることと思いますが、色々勉強させていただき感謝申し上げます。
32	公募市民が参加できる機会が多いことは市民自治には欠かせません。ただ、参加者の方々が狛江に何を期待し、自分は何ができるのかという意味と技量が必要です。技量は自己研鑽あるのみと思います。それと感情のコントロールが不可欠です。自己の不満の発散であってはいけないと思います。
33	返信用封筒にアンケート用紙(A4、3ツ折)が普通に封入できない。そういう事柄にサービスとは何か！?
34	公募される審議会の性質、ねらい、自的を全てマスターして発言出来るようになるにはそれなりの研修参加、他県市の実状を知り、勉強するの事が必要だと思います。
35	やはり専門的な分野は公募市民の割合は1/3か1/4でないと進みにくいと思います。
36	地域包括支援事業に参画しているので、センターの抱えている問題点を認識する事は、意義があると思います。
37	介護の事務的部分、現在の現状を認識する事が出来、全体像が把握する事が認定審査会の委員としても有意義でした。
38	議事録について、名称は「議事要録」となっているが、中身は「発言録」といえる表記です。あそこまで細かく表現されると、発言しにくくなると思うので、他の委員会のように要旨のみ記載すれば良いのでは。
39	若い市民の参加が増えて、町づくりが多様化すれば良いのですが…
40	JIS規格の制定会議で委員を務めたことがあるが、立場の異なる人が1/3ずつ参集している。生産者1/3、使用者1/3、学識経験者1/3で構成されるが、これが基本的な考え方。但し、狛江市の審議会に公募委員を、どう位置付けるかが問題。(利用者の立場か、第三者的立場か、公募委員に何を求めているのかが現在では不明で明確な説明もない。) 公募市民委員という言葉だけが独り歩きしており、市民参加の行政に向けどう実現してゆくかという施策も提案されていないように感じる。
41	審議会の日程調整にご配慮頂きたい。
42	こうしたアンケートはよろしいかと思いますが、アンケートの結果を回答者に報告して欲しいと思います。審議会単位での結果と、狛江市全体の審議会、委員会等の結果をそれぞれ事務局だけが把握するのではなく、アンケート回答者に対する責任としてお願いします。
43	狛江市の風土・環境にとっても共感している者の一人です。機会があれば、狛江市の中でお手伝いしたいと考える。
44	事務方の職員の力量と人柄が、その委員会の活性化及び成功につながります。ご苦労さまですが…。
45	・これからの狛江の為に在住の若い方の参加が望ましいと思います。小さい市の特長を生かして、活動することが出来れば、きめ細かい市民協働ができる。
46	会議内容が、自身の専門分野でなかったが、町の情報を得たり、自身の業務について連絡ができ満足であった。
47	都市計画については誰でも発言できるジャンルと考えるが、法律や技術基準、手続あるいは利害得失については極めて専門性や経験が求められる。そこに一般市民や議会(法的にやむを得ないが)が参加することはあまり好ましくなく、この弊害をクリアするためには事前に十分なレクチャーが必要だが出来ていない。
48	都市計画審議会には市民公募委員が3人いるが、2人は意見がないので必要性を感じない。
49	議論の仕方から議論が必要だ。

市民参加実施状況アンケート(学識・有識等委員用)

平成 24 年度所属審議会等名称※

このアンケートは、平成 24 年度に狛江市の審議会等（審議会・委員会等）に学識・有識等委員（公募市民委員以外）として参加されていた方にご協力をお願いしています。アンケートの集計結果は、会議運営における市民参加の機会をより良くしていくために、「狛江市市民参加と市民協働に関する審議会」において、市民参加の評価（平成 24 年度実績）の資料といたします。

あてはまるものに○をつけ、必要な箇所に理由等をご記入ください。よろしくお願いします。

◆学識・有識等委員の状況について伺います。

○狛江市との関係でご自身に該当するものを選択してください？（複数選択可）

1. 在住である 2. 在勤である 3. 在学である
4. 上記のいずれにも当てはまらない 5. その他〔 〕

○上記※の審議会等以外に、狛江市の審議会等の委員を兼任していますか？

1. している → 上記※審議会等も含めた兼任件数〔 件〕
2. していない

◆会議の中身・運営について伺います。（いずれか一つを選択）

○会議の審議内容についてどのように感じましたか？

1. 充実していた
2. あまり充実していなかった
3. どちらでもない -----> 理由：〔 〕

○会議の進め方（進行）についてはいかがでしたか？

1. 良かった
2. あまり良くなかった
3. どちらでもない -----> 理由：〔 〕

○会議のために市の事務局が作成した資料や事務局からの説明はいかがでしたか？

1. 良かった
2. あまり良くなかった
3. どちらでもない -----> 理由：〔 〕

○会議におけるご自身（学識・有識等委員として）の発言についてどのように感じましたか？

1. 十分発言できた 2. あまり発言できなかった 3. どちらでもない

※「2. あまり発言できなかった」、「3. どちらでもない」とお答えいただいた方に伺います。

○十分に発言できなかった理由は何ですか？【この設問は複数回答可】

1. 会議の内容が自身の専門分野ではない 2. 特に発言を求められなかった
3. その他〔 〕

裏面へ続きます。引き続きご回答をお願いします。

○会議の中でご自身の意見が取り入れられたと思いますか？

1. 取り入れられた

2. あまり取り入れられなかった

3. どちらでもない ----->

理由：

○審議会等がまとめた答申（提言や報告書等）の内容についてどのように思いますか？

1. 満足できた

2. あまり満足できなかった

3. どちらでもない ----->

理由：

○学識・有識等委員として会議に参加してどうでしたか？

1. 良かった

2. あまり良くなかった

3. どちらでもない ----->

理由：

○今後も粕江市からの委員依頼に応じますか？

1. 積極的に応じたい

2. できれば遠慮したい ----->

3. わからない ----->

理由：

◆審議会等の公募市民委員数（割合）について伺います。（いずれか一つを選択）

○全委員数に占める公募市民委員数の割合は、どの程度が適当と思いますか？

1. 3分の1程度

2. 2分の1程度

3 その他〔

〕

○ご意見や感想等、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒でご返送ください。

【問い合わせ】

アンケート担当：企画財政部政策室協働調整担当 矢野

TEL：03-3430-1111（内線 2454）

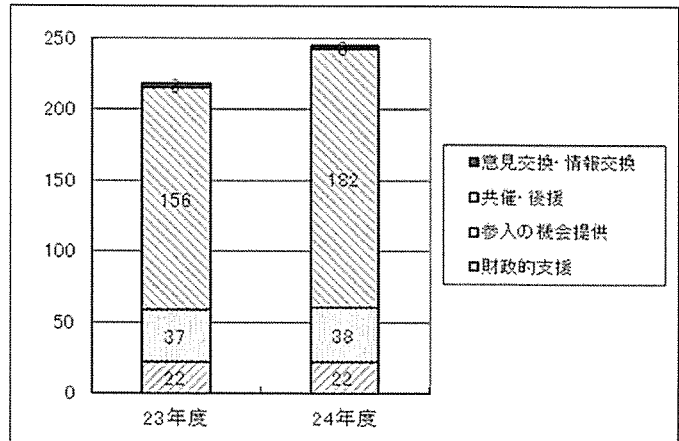
平成 24 年度市民協働事業概要調査

1. 市民協働事業の分野について

財政的支援	「補助金」等、市が市民公益活動団体に対して資金援助を行う事業。
参入の機会提供	市と団体が「委託」「協定」等を交わし、協力して実施する事業（協定等による報償としての交付金事業を含む）。
共催・後援	市や教育委員会が共催・後援を行う事業。
意見交換・情報交換	「懇談会」「ワークショップ」等、協働事業について団体から提案・意見を聞く等の場の開催。

<市民協働事業件数>

	23 年度	24 年度
財政的支援	22 件	22 件
参入の機会提供	37 件	38 件
共催・後援	156 件	182 件
意見交換・情報交換	3 件	3 件
計	218 件	245 件



○全体として、平成 23 年度と比較し 27 件増加。うち、共催・後援で 26 件増加。

（過去の実績）

	22 年度	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度
財政的支援	21 件	20 件	22 件	20 件	21 件
参入の機会提供	36 件	39 件	38 件	36 件	36 件
共催・後援	171 件	158 件	174 件	137 件	138 件
意見交換・情報交換	2 件	2 件	2 件	3 件	4 件
計	230 件	219 件	236 件	196 件	199 件

2. 財政的支援

<事業件数>

	23 年度	24 年度
補助金	22 件	22 件

○事業件数総数では、平成 23 年度から増減無し。

- ・新規 福祉サービス支援室「障がい児通所支援事業補助金」
地域デイグループ事業を実施していた団体が児童福祉法上の通所施設に移行した場合の激変緩和対策としての家賃の一部補助。

-
- ・廃止 社会教育課「青少年育成事業補助金」

(過去の実績)

	22 年度	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度
補助金	21 件	20 件	22 件	20 件	15 件
交付金		—	—	—	5 件
その他		—	—	—	1 件
計	21 件	20 件	22 件	20 件	21 件

<交付団体数>

	23 年度	24 年度
補助金	94 団体	94 団体

○交付団体総数では、平成 23 年度から増減無し。

- ・新規 福祉サービス支援室「障がい児通所支援事業補助金」で 1 団体増加。
- ・安心安全課「避難所運営協議会補助金」で 1 団体増加。
- ・地域活性課「コミュニティ活動活性化助成金」で 3 団体増加。
- ・福祉サービス支援室「障がい者日中活動系サービス推進事業補助金」で 1 団体増加。

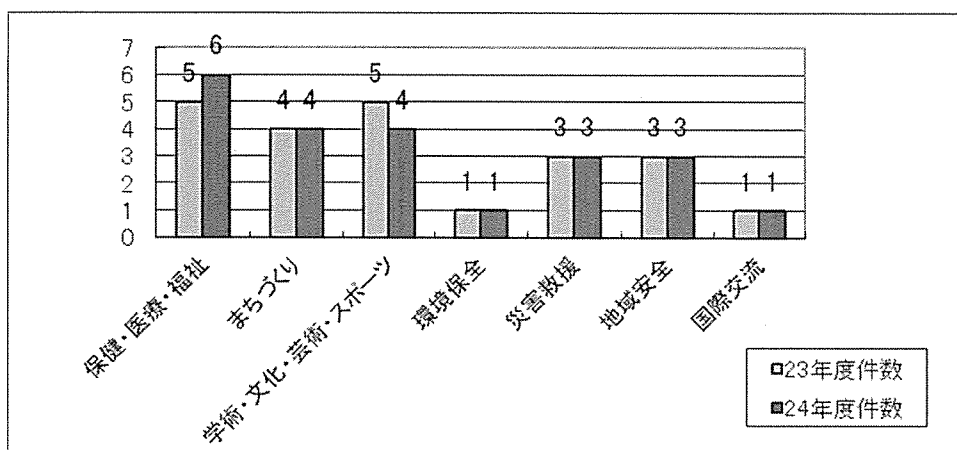
-
- ・廃止 社会教育課「青少年育成事業補助金」で 2 団体減少。
 - ・介護支援課「地域福祉推進事業補助金」で 4 団体減少。

(過去の実績)

	22 年度	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度
補助金	107 団体	104 団体	124 団体	126 団体	91 団体
交付金		—	—	—	34 団体
その他		—	—	—	0 団体
計	107 団体	104 団体	124 団体	126 団体	125 団体

<事業分野別件数・交付額>

	23 年度		24 年度	
	件数	交付額	件数	交付額
保健・医療・福祉	5 件	75,472,921 円	6 件	74,450,544 円
まちづくり	4 件	3,175,694 円	4 件	3,793,333 円
学術・文化・ 芸術・スポーツ	5 件	1,235,667 円	4 件	1,471,150 円
環境保全	1 件	270,000 円	1 件	270,000 円
災害救援	3 件	663,000 円	3 件	693,000 円
地域安全	3 件	2,666,280 円	3 件	2,327,776 円
国際交流	1 件	198,601 円	1 件	380,000 円
合 計	22 件	83,682,163 円	22 件	83,385,803 円



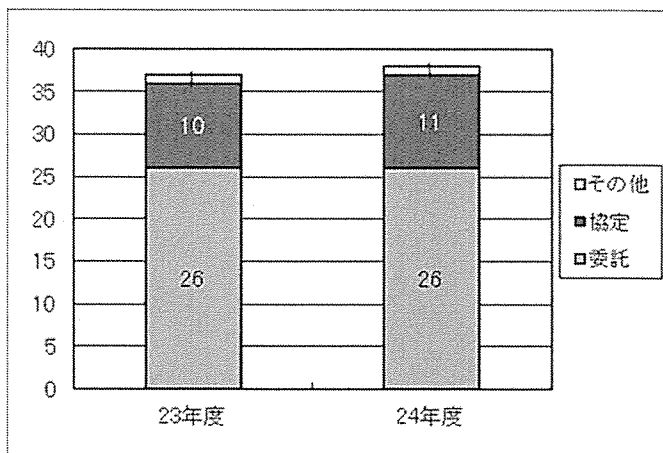
○事業件数では、平成 23 年度と比較して、「保健・医療・福祉」分野で 1 件増加、「学術・文化・芸術・スポーツ」分野で 1 件減少。

○交付総額は、平成 23 年度と比較して、296,360 円減額。

3. 参入の機会提供

<事業件数>

	23 年度	24 年度
委託	26 件	26 件
協定	10 件	11 件
その他	1 件	1 件
計	37 件	38 件



○事業総件数では、平成 23 年度と比較して 1 件増加。

- ・「協定」事業で 1 件増加。

新規 子育て支援課「プレーパーク設置協働研究事業」

市民協働事業提案制度を利用して、市と団体が協働事業を行った。

- ・「その他」事業は、昨年度と同様で社会教育課「粕江市立古民家園指定管理業務」。

(過去の実績)

	22 年度	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度
委託	25 件	29 件	29 件	28 件	25 件
協定	10 件	9 件	8 件	7 件	7 件
その他	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件
計	36 件	39 件	38 件	36 件	33 件

<参入団体数>

	23 年度	24 年度
委託	30 団体	30 団体
協定	23 団体	27 団体
その他	1 団体	1 団体
計	54 団体	58 団体

○参入団体総数では、平成 23 年度と比較して 4 件増加。

- ・「協定」事業で 4 団体増加。

新規 子育て支援課「プレーパーク設置協働研究事業」で 1 団体増加。

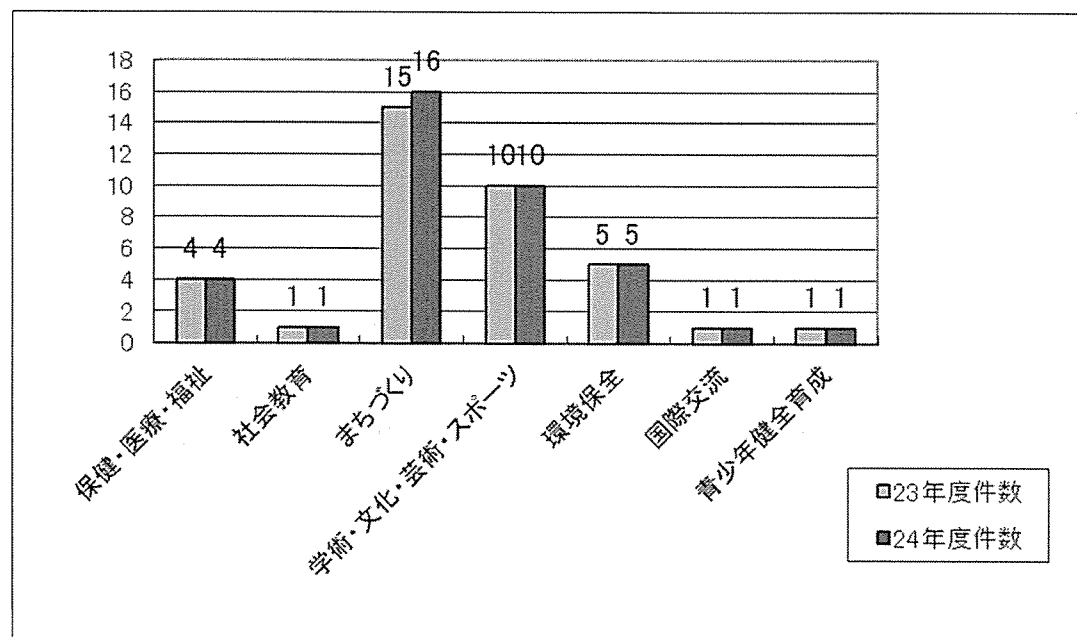
道路公園課「市内の公園等の清掃・美化活動（アドプト制度）」で 3 団体増加。

(過去の実績)

	22 年度	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度
委託	34 団体	36 団体	31 団体	30 団体	32 団体
協定	25 団体	23 団体	25 団体	23 団体	23 団体
その他	1 団体	1 団体	1 団体	1 団体	1 団体
計	60 団体	60 団体	57 団体	54 団体	56 団体

<事業分野別件数・支出額>

	23 年度		24 年度	
	件数	支出額	件数	支出額
保健・医療・福祉	4 件	25,405,655 円	4 件	25,277,097 円
社会教育	1 件	491,589 円	1 件	500,000 円
まちづくり	15 件	73,950,133 円	16 件	71,426,024 円
学術・文化・ 芸術・スポーツ	10 件	18,511,544 円	10 件	20,091,340 円
環境保全	5 件	4,302,804 円	5 件	4,389,487 円
国際交流	1 件	300,000 円	1 件	400,000 円
青少年健全育成	1 件	160,000 円	1 件	160,000 円
合 計	37 件	123,121,725 円	38 件	122,243,948 円



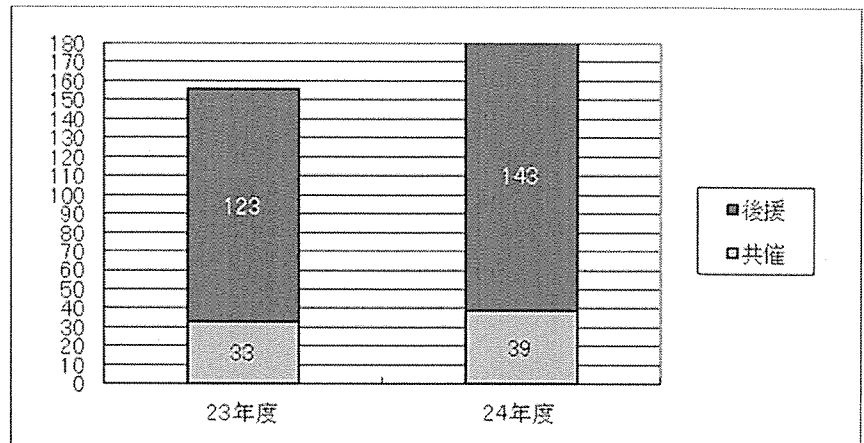
○事業件数では、「まちづくり」分野が平成 23 年度に引き続き件数が多い。

○支出総額は、平成 23 年度と比較して、877,777 円減額。

4. 共催・後援

<共催・後援件数>

	23 年度	24 年度
共催	33 件	39 件
後援	123 件	143 件
計	156 件	182 件



○共催・後援総件数では、平成 23 年度と比較して 26 件増加。

・共催が 6 件増加。後援が 20 件増加。

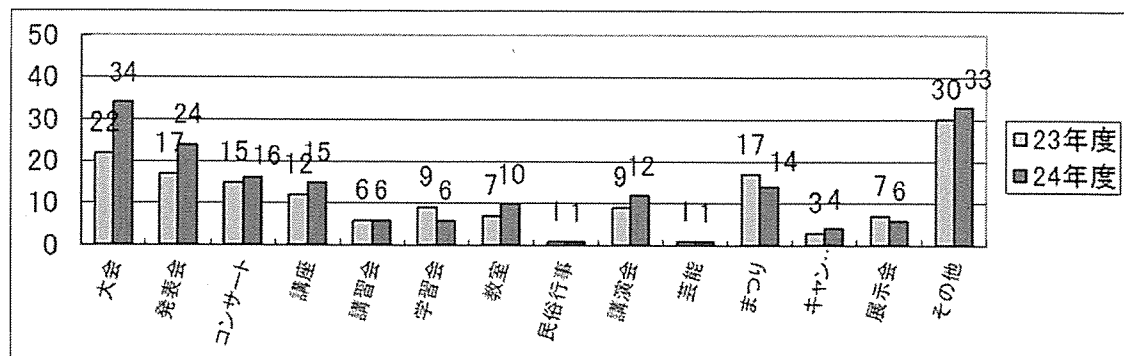
事業形態別件数前年度比較

	23 年度	24 年度
大会	22 件	34 件
発表会	17 件	24 件
コンサート	15 件	16 件
講座	12 件	15 件
講習会	6 件	6 件
学習会	9 件	6 件
教室	7 件	10 件
民俗行事	1 件	1 件
講演会	9 件	12 件
芸能	1 件	1 件
まつり	17 件	14 件
キャンペーン	3 件	4 件
展示会	7 件	6 件
その他	30 件	33 件
合計	156 件	182 件

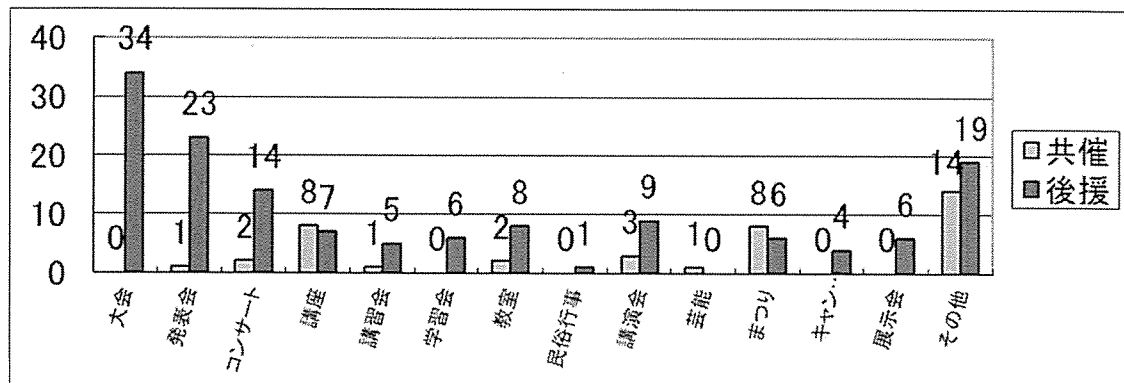
24 年度共催・後援別件数

	共催	後援
大会	0 件	34 件
発表会	1 件	23 件
コンサート	2 件	14 件
講座	8 件	7 件
講習会	1 件	5 件
学習会	0 件	6 件
教室	2 件	8 件
民俗行事	0 件	1 件
講演会	3 件	9 件
芸能	1 件	0 件
まつり	8 件	6 件
キャンペーン	0 件	4 件
展示会	0 件	6 件
その他	14 件	19 件
合計	40 件	142 件

事業形態別件数グラフ前年度比較



24年度 共催・後援別件数グラフ



○事業形態別件数では、平成23年度と比較して8部門で増加、3部門で減少、3部門が前年度と同件数。

○事業形態別の共催・後援それぞれの件数では、ほとんどの形態において後援が多くなっている。

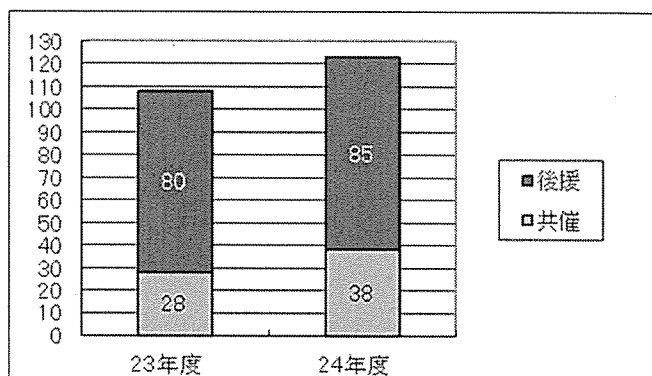
「大会」、「発表会」、「その他」の順で後援の件数が多い。

(過去の実績)

	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度
共催	32件	21件	23件	15件	18件
後援	139件	137件	151件	122件	120件
計	171件	158件	174件	137件	138件

<共催・後援団体数>

	23年度	24年度
共催	28団体	38団体
後援	80団体	85団体
計	108団体	123団体



○同一団体が複数の共催や後援を受けている場合があるため、団体数は件数よりも少なくなっている。

・共催・後援団体数では、平成 23 年度と比較して 15 団体増加。

(過去の実績)

	22 年度	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度
共催	29 団体	20 団体	19 団体	15 団体	18 団体
後援	95 団体	92 団体	94 団体	91 団体	73 団体
計	124 団体	112 団体	113 団体	106 団体	91 団体

5. 意見交換・情報交換

<意見交換・情報交換件数>

	23 年度	24 年度
意見交換会	0 件	0 件
ワークショップ	1 件	1 件
シンポジウム	0 件	0 件
懇談会	2 件	2 件
その他	0 件	0 件
計	3 件	3 件

○ワークショップ 「災害時要援護者支援検討委員会ワークショップ」福祉サービス支援室
懇談会 「西河原公民館利用者懇談会」「中央公民館利用者懇談会」公民館

(過去の実績)

	22 年度	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度
意見交換会	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
ワークショップ	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
シンポジウム	0 件	0 件	0 件	0 件	1 件
懇談会	2 件	2 件	2 件	2 件	2 件
その他	0 件	0 件	0 件	1 件	1 件
計	2 件	2 件	2 件	3 件	4 件

財政的支援（補助金等）

担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額	交付総額	交付総額の負担割合	実績及び成果
政策室	補助金	国際交流	国際交流事業に関する補助金	市民主体の国際交流事業の充実に資することを目的とする。 ○泊江市国際交流事業に関する補助金交付要綱	泊江市国際交流協会	557,102	380,000		「初釜のつどい」、「日本語スピーチ大会」など、各事業で多くの外国人の参加があった。H24年度新たにホームページを立ち上げ、更なる活性化に向け活用していく。
安心安全課	補助金	地域安全	調布地区防犯協会等に対する補助金	調布地区防犯協会等が行う各種防犯運動及び看板設置等の事業、青少年野球大会・剣道大会等の事業、防犯に関する映画会・座談会等の事業、防犯運動用雑誌の発行、その他青少年の非行防止等事業に対して補助を行う。 ○泊江市調布地区防犯協会等に対する補助の基準	調布地区防犯協会 調布地区防犯協会泊江支部連合会	6,993,627	700,000		・調布地区防犯協会 ・街頭、侵入犯罪抑止対策の推進、ひったくり、車上狙い防止対策、薬物乱用防止対策の推進、安全安心まちづくり防犯のつどい、青少年非行防止街頭パトロール、年末警戒詰所激励訪問、振り込み詐欺防止キャンペーン ・調布地区防犯協会泊江支部連合会 「安心安全なまち泊江」を目指し、本都・警察署との連携による街頭活動、市と生活安全対策協議会主催の防犯キャンペーン活動、安心安全パトロールの実施、歳末特別警戒、各種イベントの警戒、防犯診断等の事業展開を行っている。
安心安全課	補助金	地域安全	調布交通安全協会等に対する補助金	交通安全協会等が行う交通安全に関する各種教室、講習会事業及び交通安全思想の普及啓発活動に対して補助を行う。 ○泊江市調布交通安全協会等に対する補助の基準	調布交通安全協会 調布警察署内園児交通安全防犯連絡会	9,466,131	900,000		平成24年の泊江市において交通事故発生件数は169件で、昨年度と比較し減少した。今後も更に減少させるため各種キャンペーン広報活動を活発に行い事故防止に努めていく。 園児交通安全防犯事業では交通安全、防犯活動の推進を図る。また、交通安全講習会や防犯講習会への参加を図る。
安心安全課	補助金	災害援護	防火防災協会補助金	火災、水害その他の災害未然防止及びこれらに必要な防火防災思想の普及並びに防火行動力の向上を図り、災害の無い明るい街づくりと発展に寄与する活動を行う泊江防火防災協会に対して補助を行う。 ○泊江防火防災協会及び泊江市防火協会に対する補助の基準	泊江防火防災協会	1,212,000	120,000		火災予防運動のポスター・チラシ・パンフレット等を購入し、町会・自治会・防災会等に配付し防火防災思想の普及を図った。春・秋の火災予防運動期間中実施する危険物輸送車両・駅舎・車両にかかわる査察及び防火のつどいを支援した。防火防災広報事業の推進を図った。
安心安全課	補助金	災害援護	防災会支部運営費補助金	住民の隣保共同の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、地震・その他の災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的とした活動を行う泊江市防火協会に対して補助を行う。 ○泊江防火防災協会及び泊江市防火協会に対する補助の基準	和泉第3支部、泊江団地支部、北和泉支部、寛東支部、小足立支部、和泉第1支部、多摩川住宅イ号棟支部、上和泉支部、駄倉支部、セントラルハイイツ支部、銀行町支部、多摩川住宅二号棟支部、泊江ハイタウン支部、猪方支部、岩戸支部、駒井支部、和泉多摩川支部、中和泉5丁目支部	513,000	513,000		泊江市合同水防演習に参加、地域自主訓練実施、春・秋の火災予防運動で訓練等実施、防災市民リーダー研修会・防災講演会の実施、防災ラジオの配付、防災会視察研修、支部長・婦人部長会議の実施。

財政的支援（補助金等）

担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額	交付総額	交付総額の負担割合	実績及び成果
安心安全課	補助金	災害援護	避難所運営協議会補助金	避難所運営協議会が第4条各号に掲げる事業を行う際、その事業に要する経費の一部を補助することにより、市民の防災活動の推進を図り、市民の防災活動力の向上に寄与することを目的として交付する。	(新規) 二中学区避難所運営協議会 六小学区避難所運営協議会	76,648	60,000		運営協議会等の会議の開催、避難所開設訓練、勉強会や意見交換、各班マニュアルの検討、研修等を実施。
地域活性課	補助金	まちづくり	狛江市市民公益活動事業補助金（新しい風補助金）	先駆的な活動又は特色ある事業を実施する狛江市の市民公益活動団体の事業に対し、その経費の一部について補助金を交付することにより団体の成長及び発展を図る。	石井家住宅を記録にとどめる会 こまエチャイルドライン 狛江・まちづくり市民会議 チームピーススチャレレンジャー 狛江支部 福祉ネット「ナナの家」 おにぎり少年団	1,682,056	1,148,427		16年度よりスタートして24年度で9回目にあたる。1事業の交付上限は20万円。6団体が公開プレゼンテーションに臨み、6団体に交付された。補助金により、市内で行われている先駆的、あるいは特色ある活動に対して援助がで、これらの事業を行う団体の成長及び発展の一助となった。
地域活性課	補助金	まちづくり	コミュニティ活動活性化助成金	町会、自治会、集合住宅の管理組合及び町会等設立準備会に対し、狛江及びまちづくり及び地域社会づくりに資する活動を対象にコミュニティ活動活性化助成金を交付し、もって町会等の組織化、育成及びコミュニティ活動の活性化を図る。	小足立町会、狛江ハイタウン 団地管理組合法人、狛江団地 自治会、寛東町会、中和泉5 丁目町会、元和泉1丁目町 会、市民グラウンド東町会、和 泉本町一丁目町会、狛方町 会、狛江セントラルハイリ管 理組合、銀行町和会、以上 の里自治会、駒井町会、多摩 川住宅イ号模自治会、岩戸町 会、元和泉2・3丁目町会	6,853,174	1,996,042		当補助金は、町会等の組織化、育成及びコミュニティ活動の活性化を図ることを目的としている。24年度の交付団体は16団体で、前年度よりも交付総額が増額した。また、防災に関する事業を行う町会等が増えている。補助金の交付により、地域の活性化に寄与することができた。狛江町会については、設立準備会助成金を活用し、新規の町会を設立するに至った。
地域活性課	補助金	まちづくり	観光協会補助（組織基盤強化補助金）	狛江市の観光行政の推進を図るため、狛江市観光協会の組織基盤強化を目的とする。	狛江市観光協会	871,869	548,864		狛江市観光協会の強化策を検討し、新規会員の加入、観光に関する講演会の実施を行った。
福祉サービス支援室	補助金	保健・医療・福祉	心身障害者（児）通所訓練等事業	心身障害児通所訓練施設（地域デイグループ事業所）の運営費及び家賃の一部を補助することにより、安定した事業の継続を確保する。	えるぶ【こども教室えるぶ、スペースえるぶ】、ゆめぼつと、ハッピーライフフオーエバー（4・5月分）、福祉ネット「ナナの家」	52,864,862	35,611,368	都2/3・市1/3	心身障害児通所訓練施設（地域デイグループ事業所）に財政的援助を行うことで、地域社会における在宅心身障がい者（児）の社会適応訓練の場を継続して確保した。
福祉サービス支援室	補助金	保健・医療・福祉	(新規) 障がい児通所支援事業	地域デイグループ事業を実施していた法人が児童福祉法上の通所施設に移行した場合の激変緩和の対策として、家賃の一部を補助することにより、移行後の安定した事業継続を確保する。	ハッピーライフフオーエバー (24.6～25.3月分)	1,200,000	1,200,000		家賃補助による財政的支援を行うことで、市内で初の法に基づいた民間の児童通所事業所が開設（法内移行）された。安定した事業継続を確保するためにも、次年度以降も補助が必要である。

財政的支援（補助金等）

担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額	交付総額	交付総額の負担割合	実績及び成果
福祉サービス支援室	補助金	保健・医療・福祉	ふれあいサロン（夢）運営事業	ふれあいサロン（夢）の運営費を補助し、心身障がい者の就労支援を図る。 ○狛江市心身障害者団体等事業補助金交付要綱 平成22年度までに小規模作業所から移行した事業所に対して、事業所の運営等に要する経費の一部を補助することにより、障がい者の日中活動の確保を図るとともに、保護者の自立更生を促進するとともに、保護者の負担の軽減を図ることを目的とする。	狛江市障害者団体連絡協議会	6,088,900	3,226,000	都・市1/2ずつ	喫茶室の経営を通して、心身障がい者の就労、社会参加、市民交流の機会を持つことが出来た。市内の「こまえ工房」、「ひかり作業所」、「就労支援事業所メイ」などからも広く利用者を受け入れ、心身障がい者の雇用促進・社会復帰の援助を図った。
福祉サービス支援室	補助金	保健・医療・福祉	狛江市障がい者日中活動系サービス推進事業	○狛江市障がい者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱	NP0泊江さつき会 足立邦栄会 光友会 狛江市社会福祉協議会	28,526,000	28,526,000	都10/10	事業所の安定的な運営と障がい者の自立更生を促進するとともに、保護者の負担の軽減を図ることができた。
介護支援課	補助金	保健・医療・福祉	老人クラブ補助金	老人クラブ会員の教養の向上、健康の増進、レクリエーション等の活動、地域社会との交流を目的とし、老人クラブの活動を通じて地域福祉の増進を図る。 ○狛江市老人クラブ補助金交付要綱	狛江市老人クラブ連合会、第三一長寿会、第二長寿会、第三長寿会、多摩川六十路会、南部厚幸会、いづみ長寿会、あづま長寿会、第五長寿会、第六長寿会、第七長寿会、和泉本町健康クラブ、駒井町健康クラブ、若草会、泊江団地健康クラブ、はなみずき会、百合の会、かわせみ会	7,943,665	5,322,129	国・都・市1/3ずつ	地域清見等社会奉仕活動、一人暮らし高齢者訪問等の友愛活動、寝たきり予防の健康づくり事業の開催など、老人クラブ3大事業（社会奉仕・友愛活動・健康増進）が達成された。
介護支援課	補助金	保健・医療・福祉	地域福祉推進事業補助金	創意工夫により地域の社会資源を有効に活用した、市内の非営利の市民団体が実施する福祉サービス事業の普及・拡大を図るとともに、当該団体の発展・向上に寄与するため、その事業展開に要する経費の一部を補助する事により、高齢者・障がい者等の在宅福祉サービスなどの普及及び拡大を図る。 ○地域福祉推進事業補助要綱 取捨基準	NP0泊江共生の家、NP0泊江さつき会「家族会」 泊江市連合会	1,440,158	565,047	2団体 都・市1/2ずつ 1団体 市 全額	24年度は前年度と比較すると団体数は4団体の減少となった。各団体とも、研修会・講演会の開催等が展開された。障がい者や高齢者等に社会参加を支援するための活動費の一助になった。
児童青少年課	補助金	学術・文化・芸術・スポーツ	青少年健全育成事業補助金	各育成委員会に対し、青少年健全育成事業における経費の一部又は全部を補助することにより、市民主体の青少年健全育成事業の充実及び発展に資することを目的とする。 ○狛江市青少年健全育成事業補助金交付要綱	狛江市青少年第一～第四育成委員会	397,951	395,150		補助金により、各育成委員会主体とした活動の活性化、青少年健全育成事業の充実及び発展に資することが出来ている。

財政的支援（補助金等）

担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額	交付総額	交付総額の負担割合	実績及び成果
道路公園課	補助金	環境保全	緑化推進事業協議会補助	市内緑化を図るため、花井、植木類の展示及び即売を実施し、緑化運動を推進を図る。 ○狛江市緑化推進事業協議会に対する補助の基準 私有道路内に設置されている街路灯のなかで、市管理外の街路灯については、市長の認定に基づき電気料金の補助金を交付することができるとする。 ○狛江市街路灯設置要領 一定の要件を満たした、地区のまちづくりに関する活動を行っている団体に支援することにより、地区のまちづくりの実現を図る。 ○狛江市まちづくり条例 ○狛江市まちづくり条例施行規則 ○地区まちづくり協議会、地区まちづくり準備会及びテーマ型まちづくり協議会への支援に関する要綱 狛江市文化財保護条例に基づき、市指定文化財（市技芸）の保持・継承に当たっている保持者（保存会）に対し、伝統芸能の継承を図るため、その管理等に要する経費の一部を補助する。 ○狛江市文化財保護条例 子どもたちの生命と安全を確保するための活動の充実及び発展に資することを目指す。 ○狛江市立学校PTA連合会こどもかけこみ110番事業に関する補助金交付要綱	緑化推進事業協議会	1,162,489	270,000		昭和48年度より緑化推進事業がスタートし、年2回の植木即売会を開催しており、市内の緑化に努めている。市内保育園等に花井の植栽を行っている。
道路公園課	補助金	地域安全	街路灯電気料金補助金		狛江団地自治会 多摩川住宅二棟団地管理組合 法人 神代団地自治会	2,200,745	727,776		各団地敷地内の街路灯266基に対し、20W街路灯定額料金相当分を補助する。
都市整備課	補助金	まちづくり	地区まちづくり協議会助成金		多摩川住宅【街づくり（地区計画）協議会】	816,082	100,000		21年度より準備会として助成制度を利用しており、平成23年11月23日付けで準備会は解散し、地区計画策定に向け一層の具体化・実現化を目指す。当該団体では、多摩川住宅地区計画策定へ向けて、定期的な役員会等を行い、課題の把握と目標・方針について検討協議を行っている。
社会教育課	補助金	学術・文化・芸術・スポーツ	郷土芸能保存会補助		岩戸ばやし保存会 駒井ばやし保存会	362,650	300,000		両団体とも、補助金の交付により、山車の修理や太鼓、提灯、獅子頭の新調など、必要な備品の修理、整備ができた。これにより、各種行事へ参加・公開が進み、後継者への技術伝承が図られるとともに、他地域の保存団体との交流や、市民まつりなどで市民への公開を行うなど成果をあげている。
社会教育課	補助金	学術・文化・芸術・スポーツ	狛江市立学校PTA連合会こどもかけこみ110番事業補助金		狛江市立学校PTA連合会	277,027	276,000		PTA連合会かけこみ110番実行委員会の要請活動により、該当事業もなく抑止効果を発揮している。

財政的支援（補助金等）

担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額	交付総額	交付総額の負担割合	実績及び成果
社会教育課	補助金	学術・文化・芸術・スポーツ	狛江市総合型地域スポーツクラブ育成支援補助金	クラブの運営と活動の活性化を支援するため、また市民のスポーツの普及・振興と地域コミュニティの形成や青少年の健全育成に寄与することを目的とする。 ○狛江市総合型地域スポーツクラブ育成支援補助金交付要綱	狛江市総合型スポーツクラブ	1,444,212	500,000		通年事業 ・バドミントン教室（参加者1,005名） ・健康体操教室（参加者982名） ・バレーボール教室（参加者841名） ・シヨートテニス教室（参加者358名） ・硬式テニス教室（参加者67名） ・卓球教室 ・ノルディックウォーキング教室（参加者89名） ・バイシクルクラブツーリング（参加者7名） ・バスケット教室（参加者0名） ・スポーツけん玉教室（参加者23名） ・キンボール教室（参加者0名） 文化事業 ・書道教室（参加者70名） ・組木細工教室（参加者37名） ・初心者パソコン教室（参加者154名）

参入の機会提供（委託・協定・党書等）

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額	市支出額	実績及び成果
地域活性化課	委託	まちづくり	NPO情報誌作成委託	市内で様々な分野において活躍している市民活動団体の活動をより一層推進するため、活動に必要な行政情報及び団体活動を行うにあたって共有する情報等を掲載するNPO情報誌「わっこ」の発行を団体へ委託する。	特定非営利活動法人k-press	7,180,248	7,180,248	情報誌の発行によって、市民活動団体が活動を行うにあたっての情報発信媒体となることができ、団体のコミュニティ活動を活性化することができた。また、情報誌の作成を市内NPOへ委託することにより、地域に密着した新鮮な情報の提供ができた。
地域活性化課	委託	まちづくり	根川地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	根川地区センター運営協議会	200,000	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性化課	委託	まちづくり	駄倉地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	駄倉地区センター協議会	200,000	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性化課	委託	まちづくり	谷戸橋地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	谷戸橋地区センター運営協議会	200,000	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性化課	委託	まちづくり	和泉多摩川地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	和泉多摩川地区センター運営協議会	200,000	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性化課	協定	まちづくり	岩戸地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長するため、地域センターの管理・運営業務を委託する。	岩戸地域センター運営協議会	14,364,999	14,083,270	地域住民の自発的な活動拠点として、当センターが利用され、また各種運営協議会事業に積極的な参加を得て、団体活動の助長や友好が図られた。 事業としては、「そば打ち体験教室」、「夏休み子ども教室」、「フラワーアレンジメント教室」、「音楽鑑賞会」等を行った。年1回の利用者発表会を10月21日に開催し、380名の参加があった。 その他、広報紙の発行、利用者大掃除、防災講習会、利用者懇談会、委員研修等を行った。 9月から2月までの大規模改修及び体育館の耐震工事により休館対応を行った。そのため主要事業であるセンターまつりを含め、行事や事業が例年に比べて行えなかった。 事業としては、「廃食用油で作る石けん講座」を行った。その他、広報紙の発行、各種利用団体企画事業、利用者懇談会、委員研修等を行った。
地域活性化課	協定	まちづくり	上和泉地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長するため、地域センターの管理・運営業務を委託する。	上和泉地域センター運営協議会	13,476,424	13,122,708	地域住民の自発的な活動拠点として、当センターが利用され、また各種運営協議会事業に積極的な参加を得て、団体活動の助長や友好が図られた。 事業としては、「郷土料理教室」、「郷土料理教室」、「子どもクリスマス会」、「おはなし会」、「男の料理教室」、「折り紙教室」、「寄せ植え教室」等を行った。年1回の利用者発表会を10月27日・10月28日に開催し、述べ約900名の来場者があった。 その他、広報紙の発行、大掃除、利用者懇談会、委員研修等を行った。
地域活性化課	協定	まちづくり	南部地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長するため、地域センターの管理・運営業務を委託する。	南部地域センター運営協議会	14,594,235	14,296,389	地域住民の自発的な活動拠点として、当センターが利用され、また各種運営協議会事業に積極的な参加を得て、団体活動の助長や友好が図られた。 事業としては、「郷土料理教室」、「郷土料理教室」、「子どもクリスマス会」、「おはなし会」、「男の料理教室」、「折り紙教室」、「寄せ植え教室」等を行った。年1回の利用者発表会を10月27日・10月28日に開催し、述べ約900名の来場者があった。 その他、広報紙の発行、大掃除、利用者懇談会、委員研修等を行った。

参入の機会提供（委託・協定・覚書等）

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額	市支出額	実績及び成果
地域活性化課	協定	まちづくり	野川地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニケーション活動の助長するため、地域センターの管理・運営業務を委託する。	野川地域センター運営協議会	14,373,173	13,982,757	地域住民の自発的な活動拠点として、当センターが利用され、また各種運営協議会事業に積極的な参加を得て、団体活動の助長や友好が図られた。 ・ユース・イヤー・コンサート」、「子ども映画会」、「男の料理教室」等を行った。 ・年1回のセンターまつりを10月7日に開催し、30団体の参加があった。 ・その他、広報紙の発行、利用者懇談会等を行った。 ・来場者数68,000人。今年は、仮面ライダークウレンによるキャラクターショーを行った。終了前に天候が崩れたことが影響し、来場者が昨年度よりも1,000人少ない結果となったが、全体を通して盛況であった。ハレードにおいて、交通規制をかけていない道路に侵入してしまうトラブルがあった。まつりの開催により市の活性化・市民間の連帯及び郷土愛の醸成につながった。また、市民まつり各会場で、東日本大震災の復興支援の一環として以下を実施した。 ・募金箱を設置し、訪れた方々に広く義捐金を募った。 ・「銀開き」マス1個1,000円で販売、内500円は東日本大震災の義援金とした。 ・出店区画2区画を使用し、石巻市の物産販売を行い、完売した。 ・※別途平成24年度スポーツ祭東京2013気運醸成・開催記念事業費補助金として50万円が交付されている。 各団体が市内の公共施設、公園、道路等について、剪定、除草、清掃等の美化活動を行った。ほぼ毎日活動しているという積極的な団体もあった。 市は保険の加入や清掃用具等の消耗品を提供した。 平成24年度は16団体に清掃活動に従事してもらった。これにより、市内の美化を推進することができ、また地域住民の連帯意識を高める一助となった。
地域活性化課	委託	まちづくり	市民まつり事業委託	狛江市民まつりを通じて郷土愛を培い、連帯のあるまちづくりに寄与する。	市民まつり実行委員会	8,627,469	4,800,000	
地域活性化課	協定	まちづくり	アドプト制度	市と市民及び企業等が相互に連携し協力することにより実施する指定区域等の清掃及び美化活動の実施に関する必要な事項を定め、もって市民協働と地域住民の連帯意識を高めることを目的とする。 狛江市アドプト制度実施要綱による。	第三長寿会 (他15団体については道路公園課及び学体教育課で協定を結んでいる。)	30,992	30,992	
地域活性化課	委託	まちづくり	ふるさと自然体験事業委託	ふるさと友好都市新潟県長岡市川口地域（旧川口町）の豊富で雄大な自然を体験することにより、社会性や自立性、感性を向上させる。	社会福祉法人雲柱社（委託契約を締結）	750,000	750,000	ふるさと友好都市新潟県長岡市川口地域（旧川口町）において地元の子どもたちとキャンプやオリエンテーション等を行い、社会性や自立性、感性が向上した。狛江市在住小学4・5・6年生は30名参加。
地域活性化課	委託	まちづくり	よりあいっこ事業委託	狛江市民とふるさと友好都市である新潟県長岡市川口地域（旧川口町）の住民との相互の交流及び理解を深めることを目的とする。	よりあいっこ実行委員会	465,493	200,000	ふるさと友好都市新潟県長岡市川口地域（旧川口町）において、地元の方とともに郷土料理づくり・蕎麦打ち・陶芸・自然散策等の体験型交流を行い、住民との相互の交流及び理解を深めることができた。28名参加。 ・岩戸児童センター、和泉児童館及び慈恵大第三病院において、エリアコンサートを行った。 ・こまえ文化フェスティバル 夢コンサート2012をエコーホールにおいて行い、来場者数480人であった。 ・二中、三中、一小、五小、緑野小の計5校において、学校公演を行った。
地域活性化課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	「音楽の街一狛江」推進事業委託	「音楽の街一狛江」をキーワードに、市民と共に文化・芸術活動の推進を図る。	狛江市文化振興事業団	5,007,000	4,019,000	

参入の機会提供（委託・協定・覚書等）

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額	市支出額	実績及び成果
地域活性化課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	「絵手紙発祥の地」推進事業委託	泊江市が「絵手紙発祥の地」であることにより、絵手紙の魅力を伝え、より広める。	「絵手紙発祥の地」泊江」実行委員会	2,478,718	1,363,000	・絵手紙教室事業を20事業実施し、参加者は計983名であった。 ・「ひろがれ絵手紙の輪」事業を実施し、全国44都道府県及び海外8カ国から計6,459枚の絵手紙があつた。その全てを市役所ロビー及び市景の森会館に展示した。 ・実行委員会が新聞・TV等メディアに取り上げられた回数は年9回、その他絵手紙に関する記事は9回掲載された。
福祉サービス支援室	委託	保健・医療・福祉	福祉だより封入封緘委託	市内の障がい者通所施設の活性化、就労活動の向上を目的として、市内の障がい者手帳所持者へ送付している「福祉だより」の封入封緘を委託した。	社会福祉法人足立邦栄会	28,329	28,329	今年度は2回発行し、それぞれ封入封緘を委託した。
福祉サービス支援室	委託	保健・医療・福祉	泊江市地域活動支援センター・泊江市障害者相談支援事業	障がい者の地域社会における生活の場を確保し、日常生活における支援・相談等を行うとともに、その自立と社会参加の推進を図る。	NPO泊江さつき会	24,463,535	23,240,000	相談支援、生活支援（フリースペース利用など）1880名、当事者自主活動支援及び地域交流事業396名、ピアカウンセリング・グループワーク143名、その他連絡調整会などネットワーク形式のための事業を行った。
介護支援課	委託	保健・医療・福祉	会食会事業	高齢者に対して食生活及び食後のレクレーション等を実施する事によって、外出の機会と人との出会いの機会を提供し、もって孤独感の解消と生きがいづくりに寄与する。	エプロン会グループ・74とさきの会	1,626,530	1,588,000	各団体月1回実施、延べ1,587人が参加した。元氣高齢者の介護予防及び参加者間での交流ならびに引きこもり高齢者等の外出機会の促進に寄与するなど事業目的を達成できた。
健康推進課	委託	保健・医療・福祉	健康増進室利用料及びびあいとびあセンター施設等使用料徴収業務委託	健康増進事業及びびあいとびあセンター施設の利用料を、自動販売機を使い販売し利用料を徴収する。	泊江市障害者団体連絡協議会	420,768	420,768	市の事務負担を軽減している。 平成24年度販売実績7,652枚
健康推進課	協定	まちづくり	「猫の飼育ガイドライン」の活用と普及地域で取り組む地域ねこの活動	泊江市と泊江地域ねこの会との協働事業を実施するため協定書を締結し、市民と猫との共生の実現をめざす。	泊江地域ねこの会	500,425	500,425	飼いまのいない猫を適正に管理し、野良猫の殺傷及び猫に関する近隣トラブルを減らすことができた。地域住民とのコミュニケーションを図ることで、住環境を向上させることができた。
子育て支援課	協定	まちづくり	（新規）プレーパーク設置協働研究事業	プレーパーク（冒険遊び場）の常設に向け、実践を通して調査・研究すること。	泊江にプレーパークをつくる会	1,634,000	1,634,000	市内各所で、様々な季節に平日、休日など数パターンの実験的な冒険遊び場を開催するとともに、他市を視察。団体と役割分担のもと、常設の可能性、新たな課題を明らかにすることができた。
児童青少年課	委託	青少年健全育成	青少年育成事業委員会合同事業業務委託	青少年の健全育成のために市内全域の青少年を対象とした青少年健全育成事業（小菅村DAY CAMP）を団体へ委託する。	青少年育成事業委員会	233,800	160,000	泊江市青少年第四育成委員会へ委託、実施。60名が参加。小菅村で川遊び、ヤマメの堀み取り・を実施。住宅地での日常から離れ、自然の中での活動で、参加者同士で交流を深め、また大人との関わり、活動するなかで、社会性を促進する場を提供できた。
環境政策課	委託	環境保全	水辺の楽校事業運営委託	多摩川の水辺の自然と生きものを守り、子供たちの自然体験や世代を超えた交流、憩いの場として活用することを目指す。協議会には、水辺の楽校の活動を支援するものとする。	泊江水辺の楽校運営協議会	315,304	300,000	清掃活動や総合学習の支援活動など「水辺の楽校」へ4689名の参加があつた。主催事業を53回行い1809名の参加、総合学習支援事業を43回行い2880名の参加があつた。
環境政策課	委託	環境保全	環境を考える会泊江市実行委員会	環境問題について「環境月間」を主軸とした取組みをより充実させるとともに、年間を通して継続的な環境啓発活動を実施する。	環境を考える会泊江市実行委員会	382,508	361,000	毎年環境月間における環境啓発パネル展、廃油を使ったせっけんづくり、寄せ植え、花の配布、環境講演会等の事業を展開している。また年間を通して二酸化窒素、酸性雨の測定、河川水質調査を実施しており、平成23年度は二酸化窒素の測定に各回約30名、酸性雨の測定に各回約5名、河川調査に各回約6名が参加した。

参入の機会提供（委託・協定・党書等）

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額	市支出額	実績及び成果
道路公園課	協定	まちづくり	市内の公園等の清掃・美化活動（アドプト制度）	市と市民及び企業等が相互に連携し協力することにより実施する指定区域等の清掃及び美化活動の実施に関する必要な事項を定め、もって市民協働と地域住民の連帯意識を高めることを目的とする。 狛江市アドプト制度実施要綱による。	第三長寿会 井天通り清掃会 狛江団地自治会 ひまわり 狛江市シルバー人材センター 狛江ハイタウン団地 管理組合法人 こみざの会 元和泉水神前土手清掃アドプトの会 吸いがら清掃の会 さくらグループ 河津さくら会 パークハイム狛江 「緑の番人」ボランティア いずみ多摩川お掃除クラブ BLUE多摩川アウトドア アフィニティネスクラブ 木の葉会 のびのびの会 とんぼの会 狛江井財天特別緑地保全市民の会	349,000	65,235	市内の公園、道路等について、剪定、除草、清掃等の美化活動を定期的にしている15団体（平成24年度）に、除夜の加入や清掃用具等の消耗品を提供し、希望団体にはアドプト制度を実施している旨の看板を設置した。これにより、市内の美化を推進することができ、また地域住民の連帯意識を高める一助となった。
道路公園課	協定	環境保全	狛江市公園等の住民参加による管理に関する協定	公園等の日常管理について、地域の住民で組織する団体と協定し、住民意識の高揚と地域連帯の醸成を図ることを目的とする。		1,627,000	1,615,209	報償費は清掃等ボランティア活動、自然観察会、学習会などにかかると費用の一部として使用され、コミュニケーションの理解及び住民意識の高揚と地域連帯の醸成となっている。 花の苗などは市が購入し、維持管理（水遣り）は親委員会が行い水遣代等の経費相当分を報償費として支払っている。 狛江駅前歩道上に重点的にプランターを設置することにより、放置自転車等の減少やゴミのポイ捨てが減少している。 ※東京都市長会「多摩・島しょ地域力の向上事業助成金」を利用
道路公園課	協定	環境保全	花いっぱいエリア創設事業	狛江駅等周辺において、歩道上に重点的にプランター等を設置して、四季折々の花の苗を植え込み景観の向上を図ることを目的とする。	狛江駅前親業会	1,000,000	1,000,000	
学校教育課	協定	環境保全	狛江第五小学校校庭芝生の維持管理（アドプト制度）	平成20年度に狛江第五小学校校庭の一部芝生化に伴い、PTA・保護者・地域住民を中心に芝生維持管理団体を結成し、芝生の維持管理に努めている。	狛江第五小学校グリーンプロジェクト	1,113,278	1,113,278	夏は週1回、冬は月1回程度の芝刈りや肥料やり等の維持管理活動に加え、月1回「しばふ通信」の発行や、年1回の五小夏まつりにも出展している。芝生による環境学習等の児童への直接的な成果以外にも、地域コミュニティ形成等、様々な成果があった。
社会教育課	その他	学術・文化・芸術・スポーツ	狛江市立古民家園指定管理業務	古民家（市指定文化財2棟を含む）を狛江の大切な文化遺産として保存するとともに、子どもから高齢者まで世代を超えた市民の交流の場と、体験学習や歴史学習など、市民が積極的に参加できるふるさとづくりの拠点として、地域文化の継承と発展に寄与する。	狛江市立古民家園運営市民協議会	10,575,000	10,575,000	平成24年度から26年度までの3年間、市民団体である狛江市立古民家園運営市民協議会を指定管理者に指定している。24年度の入園者数は25,586人を数え、14年4月の開園後、累計27万6千人の入園者数を数えている。各事業は、会員やボランティアの努力により、多彩な事業が展開されており、異世代間や人と人との交流など、市民参加・協働に成果をあげている。
社会教育課	委託	社会教育	心身に障害のある児童・生徒の地域活動促進事業運営委託	休日等に実施されるスポーツ活動・リハビリ活動等を通じて、市内の心身に障害のある児童・生徒等の地域活動への参加・充実・促進を図る。	遊びの会 ふれんずシッパ	540,058	500,000	平成24年度は、ふれんずシッパが年間5回、遊びの会が年間9回の活動。市内に数少ない障がい者を対象にした団体であり、特に遊びの会は、一般の児童との交流もあり、その存在の意義は大きい。

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額	市支出額	実績及び成果
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	少年野球大会委託	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。	狛江市少年野球連盟	430,304	430,000	参加人数260名
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	少年少女サッカー大会委託	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。	狛江市少年少女サッカー連盟	351,469	351,469	参加チーム数54チーム
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	少年少女綱引き大会委託	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。	狛江市少年少女綱引き大会実行委員会	298,108	298,108	参加人数151名
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	平成24年度狛江市民体育大会委託	市民の健康づくり及び市民相互の交流の場を広げる為。	狛江市体育協会	2,641,000	2,641,000	軟式野球、スキー、卓球、バドミントン、ゴルフ、バレーボール、ボウリング、硬式テニス、空手道、バスケットボール、柔道、ダンススポーツ、クラウインドゴルフ、剣道、ソフトボール(全15種目) 参加人数2,767名 ビーチボール、ウォーキング、多摩川口ドレース、水泳、/ルディヤクウォーが、3中地区スポーツ大会、1・4中地区スポーツ大会、2中地区スポーツ大会、参加人数1,538名
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	少年少女剣道大会	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。	狛江市剣道連盟	163,763	163,763	参加人数29名
公民館	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	第24回いべんと西河原	西河原公民館利用団体を主体に1年間の活動の成果を展示や舞台で発表する機会とし、利用団体同士及び広く市民との交流を図り、公民館活動の発表の場とする。	第24回いべんと西河原実行委員会	200,008	200,000	参加者延べ：11,183人(ただし、参加団体の報告書にある人数を単純に加算したもの)。実行委員会：74団体・72人。いべんと西河原実行委員会の企画委員を中心に活動が根付いてきて、市民による企画・実施が具現化してきている。実行委員会を中心に活動団体の発表の場としての「いべんと」も盛況に開催できた。
公民館	委託	国際交流	国際交流「日本語教室」	外国から日本にきた方々が日本語及び生活文化を学ぶ場として開設。また、市民と外国人による市民レベルの交流を図る。	日本語教室運営委員会	482,475	400,000	生徒延べ：770人、スタッフ延べ：599人、計1,369人。全35回。今年度も毎週土曜日に行われる通常の教室をはじめ、行事等、市民スタッフの尽力で安定した運営ができた。
公民館	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	第28回中央公民館のつどい	中央公民館利用者団体を主体とした市民の皆様によって色々な活動の発表の場として、「手づくりの公民館のつどい」を行い、学習の輪、ふれあいの輪を広げて行く。	第28回中央公民館のつどい実行委員会	50,000	50,000	参加者延べ：6,345人、参加団体98団体。中央公民館のつどい実行委員会の企画委員を中心に、市民による企画・実施が具現化してきていて、実行委員会を中心に活動団体の発表の場として「つどい」も盛況に開催できた。

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
秘書広報室	共催	市民法律講座	講座	市民の法律知識の向上と問題解決の手助けをし、地域在住の弁護士と市民の交流を図ることを目的とする。	柏江泉親会	25. 4. 1～ 26. 3. 31	中央公民館	・受付業務 ・会場の準備・片付け ・広報・HP等でのPR活動
秘書広報室	共催	夜間無料法律相談会	その他	市民の法律知識の向上・市民の法的ニーズに応えるため。	弁護士法人多摩パブリック法律事務所	24. 5. 24	エコルマホール展示多目的室	・受付業務 ・会場の準備・片付け ・広報・HP等でのPR活動
秘書広報室	共催	無料街頭不動産相談	その他	東京都宅地建物取引業協会の不動産相談員が不動産問題の相談に応じることにより、問題解決の手助けとなる。	公益社団法人東京都宅地建物取引業協会調布柏江支部	24. 9. 23	柏江駅北口交通広場	・会場の準備・片付け ・広報でのPR活動
秘書広報室	共催	無料法律相談	その他	市民の法律知識の向上と問題解決の手助けをし、法的ニーズに応えることを目的とする。	東京弁護士会	25. 3. 2	中央公民館	・受付業務 ・会場の準備・片付け ・広報・HP等でのPR活動
秘書広報室	後援	多摩パブリック法律事務所創立5周年記念無料法律相談会	その他	市民の法的ニーズに応える。	弁護士法人多摩パブリック法律事務所	25. 10. 26	多摩パブリック法律事務所	・後援名義の使用
政策室	共催	こまえ平和フェスタ2012	まつり	過去の歴史と現在の実態を知り、平和を創り保持していくことの大切さを学び、考えを深める場とする。	こまえ平和フェスタ実行委員会	24. 8. 19	エコルマホール	・会場予約 ・ポスター、チラシ印刷 ・ポスター、チラシ配布 ・当日会場設営、スタッフ ・広報・HP等でPR
政策室	後援	知のミュージアム 多摩・武蔵野後援	その他	検定を通じて多摩地域の魅力を広げ、地域の人材育成、地域学の確立、地元への愛着の醸成、ひいては地域振興へとつなげる。	公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩	24. 9. 1～ 25. 3. 31		・後援名義使用
政策室	共催	男女雇用平等セミナー	講座	労働知識の普及啓発のため、講座を実施する。	東京都労働相談情報センター八王子事務所	25. 2. 1、2、8	調布市民プラザあぐろす	・広報掲載 ・ポスター、チラシ配布 ・当日スタッフ
政策室	後援	松井監督の映画「レオニー」を観る会	講演会	映画の上映と監督の講演を通して、女性の生き方について考え、男女共同意識の普及と市民文化の発展に寄与する。	映画「レオニー」を観る会	25. 6. 28	エコルマホール	・ポスター、チラシ配布
安心安全課	後援	柏江ハイタウン自主防災訓練	その他	住民への防災知識の向上とその意識改革	こまえハイタウン団地管理組合	24. 4. 25、9. 2	みつおさ児童公園及び予鹿幼稚園	・広報、掲示板などでPR
課税課	後援	社会貢献事業「第3回税金川柳コンクール」	その他	次代を担う小・中学生、および一般社会人が、納税や税金の役割などに関連する言葉について考えることを通じて社会の仕組みを考える。	社団法人 武蔵府中法人会	24. 6. 1～ 9. 30、11. 15	表彰式：調布市文化会館たづくりくすのきホール	・広報等（わっこ）への掲載 ・パンフレット・ポスター等の掲示
課税課	後援	社会貢献事業「コロケコンサート2012」	コンサート	有名アーティストを招聘し、会員及び住民に案内し、芸術文化に触れる機会を設ける。また、税金に関する意識、知識を喚起するパンフレット等を配布し正しい納税の啓蒙活動を行う。	社団法人 武蔵府中法人会	24. 9. 18～ 11. 9	府中の森芸術劇場どりーむホール	・広報等（わっこ）への掲載 ・パンフレット・ポスター等の掲示
課税課	後援	税を考える週間特別事業「税金川柳優秀作品発表会＆東ちづる講演会」	講演会	11月11日から17日の税金に関する啓蒙活動として全国で実施している「税を考える週間」に合わせて、税金の大切さを正しく理解して、豊かな社会づくりを目指す。	社団法人武蔵府中法人会	24. 11. 15	調布市文化会館たづくりくすのきホール	・広報等（わっこ）への掲載 ・パンフレット・ポスター等の掲示
地域活性課	後援	わかばはり絵展Ⅱ	展示会	4年間の活動発表をし、はり絵の普及を図る。	創作はり絵の会	24. 10. 26～ 28	泉の森会館 ギャラリー	・市内掲示板へのポスター掲示
地域活性課	共催	柏江能楽教室発表会	発表会	小中学生を対象に能楽の稽古をしており、その成果の発表の場を作る。来場者向けの簡単な能楽講座を行い、能楽の普及を図る。	柏江能楽普及会	25. 2. 2	西河原公民館 多目的ホール	・市HPへの掲載 ・当日スタッフとしての参加 ・受付業務

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
地域活性化課	共催	未来コンサートⅢ	コンサート	受講生による発表及び専門家を招いての演奏披露により地域の活性化に資する。	NP0法人 邦楽指導者ネットワーク21泊江支部等曲正音会	25. 3. 23	エコルマホール	・市内小中学校へのチラシ配布 ・市HPへの掲載 ・当日スタッフとしての参加 ・受付業務
地域活性化課	後援	災害のない街づくり駅前音楽会	コンサート	演奏を通じて災害の予防や、災害時にできることを意識してもらう。	東京泊江ロータリークラブ	24. 5. 19	泊江駅北口交通広場	・後援名義使用
地域活性化課	共催	いずみ会納涼盆踊り大会	まつり	地域の方達の親睦・交流の場やコミュニティの助長を図る。	いずみ会	24. 8. 4～8. 6	市民ひろば	・公共施設利用
地域活性化課	後援	NPO研修会	講座	各NPOが自己評価し、語り合い、体験から課題解決と共に、将来像を検討し、自立に向けての人材育成と運営強化を推進し、相互理解・連携を深める。	泊江市NPO連絡協議会	24. 10. 6	あいとびあセンター	・後援名義使用
地域活性化課	後援	第26回多摩源流まつり	まつり	多摩川の源流である小菅村を多くの人々にPRし、多数の参加者を得て多摩川の上下流交流を図る。	山梨県小菅村多摩源流まつり実行委員会	25. 5. 3～5	山梨県小菅村	・後援名義使用
地域活性化課	共催	小池邦夫講演会「経手紙のすすめ」、小池邦夫経手紙展	講演会	長岡市川口地域とのふるさと友好都市締結25周年を記念して、川口で小池邦夫先生の講演会及び展覧会を開催する。	長岡市川口支所	24. 9. 19～10. 8	川口公民館	・名義使用 ・当日スタッフとして参加 ・小池先生のスケジュール調整
地域活性化課	共催	農業ウォッチングラリー	その他	生産者と消費者との交流を通じ、都市農業への理解を図る。	JAMAINズ泊江地区青年部	24. 7. 7	市内	・広報等でPR ・職員がスタッフとして参加
地域活性化課	後援	多様な働き方セミナー「知っておこう！派遣、契約、パート、高齢者の雇用～法改正のポイントと今後の動向～」	講座	労働知識の普及啓発のため。	東京都労働相談情報センター八王子事務所	24. 6. 19、6. 26	町田市民ホール	・後援名義使用 ・チラシ等でPR
地域活性化課	後援	第11回多摩ブルー・グリーン賞	発表会	多摩地域の中小企業の活性化と地域経済の振興に寄与するため。	多摩信用金庫	25. 5. 1～25. 12. 12	パレスホテル立川	・後援名義使用
地域活性化課	共催	調布泊江就職面接会2013	その他	厳しい雇用情勢が続く中、企業と直接面接できる機会をつくることで就職を促進する。	ハローワーク府中	25. 3. 12	調布市文化会館たづくり	・名義使用 ・広報・チラシ等でPR
地域活性化課	共催	第13回多摩川流域郷土芸能フェスティバル	芸能	多摩川を活用して、地域に根差している郷土芸能の競演という切り口から流域の方々との交流などをとおして、多摩川に多くのの方々に関心と親しみを持ってもらうため。	多摩川流域郷土芸能フェスティバル実行委員会	24. 12. 2	エコルマホール	・名義使用 ・広報・チラシ等でPR
地域活性化課	後援	第23回府中市工業技術展	展示会	中小企業等の優れた技術や製品を広くPRし、技術の向上や販路開拓による取引機会の拡大、企業間連携の実現、情報交換等を図ると共に、市民や子どもたちのものづくりに関心と意欲を高めるため。	むさし府中商工会議所、第23回府中市工業技術展実行委員会	23. 10. 19～10. 20	府中市市民会館	・後援名義使用
地域活性化課	共催	合同就職面接会（地域就職面接会事業）	その他	地域企業と地域求職者のマッチングを図り、雇用情勢の改善に寄与する。	公益財団法人 東京仕事センター多摩	24. 10. 24、11. 8	エコルマホール	・名義使用 ・広報・チラシ等でPR
地域活性化課	共催	使用者向けセミナー「最新の労働問題事例から学ぼう！使用者として押さえておきたい解決のポイント」	講座	労働知識の普及啓発のため。	東京都労働相談情報センター八王子事務所	24. 11. 28、12. 4	調布市文化会館たづくり	・名義使用 ・チラシ等でPR
地域活性化課	共催	泊江古代カッパ第22回多摩川いかだレース	その他	多摩川を活用して、流域の方々との交流を通して、多摩川に多くのの方々に関心と親しみをもちもらうため。	泊江古代カッパ第22回多摩川いかだレース実行委員会	24. 7. 15	多摩川五本松～宿河原堰手前	・広報等でPR ・職員がスタッフとして参加
地域活性化課	後援	平成25年能楽体験講座	講座	能楽を体験し身近に感じてもらえる機会を設ける。	泊江能楽普及会	25. 4. 10～9. 25	エコルマホール	・広報等でPR ・職員がスタッフとして参加

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
福祉サービス支援室	後援	多摩川乗馬会	その他	乗馬を通して障がい者と交流する。	福祉ネット「ナナの家」	25. 4. 28～10. 13	和泉多摩川河川敷	・後援名義使用
福祉サービス支援室	後援	木村順先生の感覚統合研修会	講習会	感覚統合について学び発達障の気になる子への支援に役立てる。	福祉ネット「ナナの家」	25. 3. 26	こどもデイサービスほつぷ	・後援名義使用
福祉サービス支援室	後援	研修会「発達障がい児(者)の行動問題の理解と支援」	学習会	発達障害の障がい児(者)への理解を深める。	福祉ネット「ナナの家」	25. 2. 23	あいとびあセンター	・後援名義使用
福祉サービス支援室	後援	講演会「東京都におけるアウトリーチとは何か」	講演会	精神疾患の方が退院し、自分らしい生活を送るために、これから必要とされる地域支援について理解を深める。	NPO 柏江さつき会「家族会」	25. 2. 26	あいとびあセンター	・後援名義使用
福祉サービス支援室	後援	第2回市民後見全国大会	講座	成年後見者制度の関係者に対し、市民後見に対する理解と推進支援を求める。	国立大学法人東京大学政策ビジョン研究センター	24. 12. 2	東京大学 本郷キャンパス 大講堂	・後援名義使用
福祉サービス支援室	後援	勉強会「障害者施策の動向」	学習会	一般市民と共に、「障害者施策の動向」障害者総合支援法の経緯等の理解を深める。	柏江市NPO連絡協議会	25. 3. 5	中央公民館	・後援名義使用
福祉サービス支援室	共催	猪方・駒井地域おたのしみ会	その他	猪方、駒井町の地域住民の方々が交流をし、触れ合うことにより、顔の見える街づくり、お互いが気にかけてくれる関係づくりをめざす。	猪方駒井地域福祉推進委員会	24. 9. 29	柏江第二中学校	・名義使用 ・当日職員の参加
福祉サービス支援室	共催	成年後見相談会	その他	成年後見制度の相談を受け、市民の方の権利や財産を守るために助言等を行うことで、より安心した生活への一助を目的とする。	公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート	24. 9. 8	エコルマホール展示・多目的室	・名義使用
福祉サービス支援室	後援	研修会「発達障がい児(者)の行動問題の理解と支援」	学習会	発達支援の専門家の研修を受講することで、障がいの理解と支援方法を学ぶ。	福祉ネット「ナナの家」	24. 9. 7	あいとびあセンター	・後援名義使用
福祉サービス支援室	後援	第32回ボランティアのつどい	まつり	ボランティア、市民活動に対する認知及び理解を深める。	柏江市社会福祉協議会	24. 10. 28	あいとびあセンター	・後援名義使用
福祉サービス支援室	後援	「地域福祉活動を始めませんか！」	講座	多くの市民に地域福祉活動の理解してもらい、参加者を増やしていただくを目的とする。	柏江市社会福祉協議会	24. 9. 21、9. 28、10. 5	あいとびあセンター	・後援名義使用
福祉サービス支援室	後援	平成24年度子ども向け福祉講座	講座	社会福祉協議会をあまり知らない世代に認知度を高め、理解を深めてもらう。	柏江市社会福祉協議会	24. 8. 29	あいとびあセンター	・後援名義使用
福祉サービス支援室	共催	柏江市とイイトコサガシを結ぶ発達障害交流ワークショップ	講演会	発達障害の理解を深める。	東京都成人発達障害当事者会「Communication Community・イトコサガシ」	24. 6. 1～25. 3. 31	中央公民館 あいとびあセンター等	・名義使用
福祉サービス支援室	共催	平成24年度高次脳機能障害支援普及事業	講演会	高次脳機能障害支援の普及のため。	東京慈恵医科大学付属第三病院リハビリテーション科	25. 2. 17、3. 17	東京慈恵医科大学 附属第三病院	・名義使用
介護支援課	共催	会食会	その他	高齢者等に対して外出支援および社会交流を通じ介護予防効果を図り、社会福祉の増進に寄与する。	あけびの会	24. 4. 1～25. 3. 31	あいとびあセンター 調布市立江古田公民館 調布市立江古田公民館	・会場予約
介護支援課	共催	平成24年度敬老入浴事業	その他	敬老の日を祝するとともに、高齢者の保健衛生の向上とコミュニケーションの場を提供する。	調布市江古田公民館	24. 9. 14～9. 15	調布市立江古田公民館 (富の湯・お湯どころ野川・柏江湯・和泉湯・寿湯・神代湯・梅の湯の湯)	・広報等での周知 ・配布物の印刷 ・敬老入浴券の配布
介護支援課	後援	芸能大会	発表会	柏老連加盟の老人クラブ会員の親睦を図り、健康で明るく楽しい生きがいのある生活を送るとともに、世代間交流を行う。	老人クラブ連合会	24. 10. 11	エコルマホール	・後援名義使用
介護支援課	後援	歌謡交流大会	発表会	柏老連加盟の老人クラブ会員の生きがいを高め、親睦を図るとともに異世代間市民の交流と「音楽のまち柏江」に寄与する。	老人クラブ連合会	25. 2. 13	エコルマホール	・後援名義使用

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
介護支援課	共催	健康づくり事業「心と身体 の健康に関する講演会」他	講習会	会員相互の親睦を図り健康で明るく楽しい生きがいのある生活とするとともに、本事業を広く一般に公開することにより、長寿社会推進に寄与することを目的としている。	老人クラブ連合会	24. 6～25. 3	中央公民館他	・会場予約 ・広報等での周知
介護支援課	共催	野川元気スクールで行う運動教室	教室	介護予防教室を行うことで健康長寿を目指す。また、会員相互の親睦を図り健康で明るく楽しい生きがいのある生活を送り、社会福祉の増進に寄与する。	野川元気スクール	24. 7. 9～ 25. 3. 31	野川地域センター	・会場予約 ・広報等での周知
健康推進課	共催	狛江市歯科医師会市民健康フォーラム21	講座	市民が心身ともに健やかに生活を送ることを支援するために公開セミナーを開催する。	狛江市歯科医師会	25. 4. 6	エコルマホール	・広報への掲載 ・あいとびあセンターにてポスターの掲示
健康推進課	後援	マタニティキッキング	教室	妊婦の食生活の向上と、地域の妊婦同士が一緒に料理実習をすることにより親交を深めることを目的とする。	狛江栄養士会	24. 4. 25、 5. 30、 6. 27、 7. 25、 12. 26、 25. 1. 30、 2. 27、3. 27	あいとびあセンター	・チラシの作成・印刷 ・「母と子の保健バック」に封入 ・母親学級にてチラシの配布 ・問い合わせに關しての回答 ・施設料の免除
健康推進課	共催	市民健康講座	講座	市民に対し、疾病の予防及び健康の維持、増進に関する知識の普及啓発を行うことを目的とする。	狛江市薬剤師会	25. 2. 9	エコルマホール	・広報への掲載 ・あいとびあセンターにてポスターの掲示
健康推進課	後援	市町村支援研修「自殺対策研修」	講演会	小中学校の教職員に対して自殺対策の意義やその重要性、より効果的な対策等に係る知識を付与し、学校での心の健康づくりや自殺予防の取組みの推進を図る。	東京都多摩府中保健所	25. 2. 28	府中グリーンプラザ	・後援名義使用
健康推進課	後援	第32回東京都理学療法学会大会	大会	会員（理学療法士）の知識の向上と住民への理学療法に関する知識の還元を行う。	東京都理学療法士会	25. 6. 23	武蔵野公会堂及び吉祥寺東急イン	・後援名義使用
子育て支援課	共催	子育てにホットタイム	講座	未就学児の親子が集い、悩みを相談する場の提供をすることで、地域での「家族支援」の一貫とする。	NPO法人ファミリー・コンサルタント協会	24. 7. 10～ 25. 3. 31	あいとびあセンター	・ポスター掲示 ・パンフレットの窓口配置
子育て支援課	後援	ドメスティック・バイオレンス終結にむけてのキャンペーン	キャンペーン	去・パターナラーからの暴力を犯罪と認識して、市の相談窓口や民生児童委員に相談することを周知する。	国際ソロプチミスト 東京-狛江	24. 11. 6～ 11. 19	公共施設、市内掲示板等	・ポスター掲示 ・パンフレットの窓口配置 ・準備・片付け及び当日の運営支援 ・広報等によるPR
子育て支援課	共催	むいからで遊ぼう	まつり	むいから民家園の建物と庭を開放し、遊びの場を提供し、地域文化の継承を進め、また、自然の中で子育ての楽しさを味わってもらう。	一般社団法人サポート狛江	24. 5. 19、 10. 20	むいから民家園	・盆踊り指導 ・施設及び物品貸出し
児童青少年課	共催	三島保育園・父母会 行事「みしまっこまつり」121	まつり	三島保育園児とその家族・職員・保育士との交流事業	三島保育園父母会	24. 8. 25	三島保育園	・盆踊り指導 ・施設及び物品貸出し
児童青少年課	共催	宮前保育園父母の会 祭り	まつり	お祭りを通して父母の交流、園児に楽しい夏の経験と思い出をつくり	宮前保育園父母の会	24. 7. 14	宮前保育園	・盆踊り指導 ・施設及び物品貸出し
児童青少年課	共催	駒井保育園父母会主催お楽しみ会	まつり	共に楽しむ場を作る。	駒井保育園父母会	24. 10. 13	駒井保育園	・盆踊り指導 ・施設及び物品貸出し
児童青少年課	共催	和泉保育園父母会 いずみ納涼祭	まつり	日頃慣れ親しんでいる保育園を会場とし、夏祭りを通して園児家族・職員との交流親睦を深める。	和泉保育園父母の会	24. 9. 9	和泉保育園	・盆踊り指導 ・施設及び物品貸出し
児童青少年課	共催	駄倉保育園父母の会 祭り	まつり	日頃慣れ親しんでいる保育園を会場とし、お祭り（親睦交流）の機会を通して、家族、職員、地域との交流を深める。	駄倉保育園父母の会	24. 10. 28	駄倉保育園	・施設及び物品貸出し
児童青少年課	共催	青少年三味線伝承教室	教室	青少年に対し、日本の伝統文化である三味線教室を伝承することにより、地域の活性化に資する。	NP0法人邦楽指導者ネットワーク21狛江支部 每曲正音会	24. 10. 1～ 25. 3. 23	和泉児童館	・施設の貸出し

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
児童青少年課	共催	こまエチャイルドドライン (第4回 電話受け手養成講座)	講座	電話を通して子どもたちがの心に寄り添い、子どもたちの声を傾聴し子どもが自分と向き合い問題を解決できるように支援するため、受け手の養成講座を実施する。	こまエチャイルドドライン	24.10.13~ 25.12.8	エコルマホール他	・施設の予約
環境政策課	共催	野川美化清掃活動	その他	野川の河川環境向上のため、市民・学校・事業者・地域団体・行政等の連帯により、美化清掃活動を行い、自然の回復に努め、人的交流を通じて、地域社会の発展に寄与する。	野川環境向上実行委員会	24.10.23 (順延日 24.11.6) ※実施日、 順延日ともに雨天のため未実施	野川	・広報・HP等でPR
環境政策課	共催	狛江市民対象アウトドア フィットネス無料講座	講座	「狛江市多摩川河川敷の環境を保全する条例」に定める、事業者の責務を認識した上で、「BLUE多摩川アウトドアフィットネスクラブ」が提供するスポーツプログラムとの普及を通じ、多摩川河川敷の活性化に寄与する。	小田急電鉄(株)	H24.11.26、 H25.1.7、 H25.3.4	BLUE多摩川アウトドア フィットネスクラブ および多摩川河川 敷周辺	・広報・HP等でPR
道路公園課	後援	狛江緑地保全地区10周年 展	その他	特別緑地保全地区である狛江緑地地区を市民により親しんでもらうことを目的とする。	狛江弁財天池特別緑地保全地区市民の会	24.7.11~7.17	泉の森ギャラリー	・後援名義使用
都市整備課	後援	第35回住宅デモ	キャン ペーン	地元建設事業者が住宅相談や耐震相談、家具転倒防止器具の設置ボランティア、子ども工作教室等、様々な奉仕活動を行い、市民の住環境に対する意識啓発を図る。	東京土建一般労働組合 狛江支部	24.6.10	市内各会場	・後援名義使用
都市整備課	後援	東京土建「第18回秋の住 宅まつり」	まつり	住まいの手入れや修理などの住宅相談、包丁研ぎ、まな板削り、子ども工作教室、タイル細工、竹細工教室、各職コーナーなどを実施し、市民のより良い住環境に資する。	東京土建一般労働組合 狛江支部	24.10.21	狛江駅北口緑の三角 広場	・後援名義使用
都市整備課	後援	住まいの相談会	キャン ペーン	住まいの手入れや修理などの住宅相談、包丁研ぎ、まな板削り、子ども工作教室、タイル細工、竹細工教室、各職コーナーなどを実施し、市民のより良い住環境に資する。	東京土建一般労働組合 狛江支部	24.5.20	市内各会場	・後援名義使用
都市整備課	後援	第2回「秋の住まいの相 談会」	キャン ペーン	住まいの手入れや修理などの住宅相談、包丁研ぎ、まな板削り、子ども工作教室、タイル細工、竹細工教室、各職コーナーなどを実施し、市民のより良い住環境に資する。	東京土建一般労働組合 狛江支部	24.10.7	市内各会場	・後援名義使用
学校教育課	後援(教育)	2012多摩川塾	教室	多摩川で自然に自然環境教育が指導できる小学校教師の育成に資する。	NPO法人 多摩川塾	24.5.20~ 25.3.31	多摩川	・ポスターの掲示 ・ポスター、チラシの小中 学校へ配布
学校教育課	後援(教育)	ボランティアのたねプロ グラム	その他	様々な人たちの出会いと交流の体験や、環境など社会における様々な課題を知り多様な価値観や共生について考える機会とすること、子ども自身の豊かな心の育ちを支援することを目指す。	狛江市社会福祉協議会	24.6.1~ 25.3.31	野川地域センター、 あいとびあセン ター、西河原公民館	・小学校へのチラシの配布
学校教育課	後援(教育)	夏！体験ボランティア 2012	その他	ボランティア体験活動を通して、さまざまな社会問題の関心を深め、地域社会を構成する一市民として積極的に社会作りに参加することの意義を学ぶことを目的とする。	狛江市社会福祉協議会	24.7.21~ 24.9.14	あいとびあセン ター 他	・小学校へのチラシの配布
学校教育課	後援(教育)	東京都立調布特別支援学 校平成24年度夏まつり	まつり	障がい児(者)と地域の人々との交流・親睦を深める機会を提供する。	東京都立調布特別支援学 校平成24年度夏まつり実 行委員会	24.12.15	調布特別支援学校	・小学校へのチラシの配布
学校教育課	後援(教育)	夏休み科学教室	教室	子どもたちに工作や実験を通して、それらの基本原理解について理解を深めてもらうことや工夫して物を作ったり、観察する喜びを体験してもらうことを目的とする。	明治大学理工学部 夏休み科学教室実行委員 会	24.8.9	明治大学 生田校舎	・小学校へのチラシの配布

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
学校教育課	後援(教育)	研修会「発達障害児(者)の行動問題の理解と支援」	講習会	発達障害児(者)・行動上の問題の理解と支援の方法を学ぶ。	福祉ネット「ナナの家」	24.9.7 25.2.23	あいとびあセンター	・小学校へのチラシの配布
学校教育課	後援(教育)	障がいのある子どもや大人のためのスポーツ教室	教室	障がいのある子どもたちが、スポーツに親しみ体を動かす楽しさを知り、豊かなレクリエーションスポーツを経験できるようにする。また、地域の障がい児・者スポーツ振興に役立てる。	泊江市手をつなぐ親の会	24.6.10 24.11.4 25.3.3	西和泉体育館	・小中学校へのポスター、チラシ等の配布
学校教育課	後援(教育)	ノツツ 森のようちえんのあそびくらぶ	その他	幼児期における自然体験活動の普及のため。	NPO法人 国際自然大 学校	24.7.4～ 25.3.6	きたみふれあい広場	・小中学校へのチラシ等の 配布
学校教育課	後援(教育)	第21回泊江すくすくコンサート	コンサート	小学生中学生及び高校生による発表及び交流の機会として発表を図る。	泊江市青少年問題協議会	24.12.15	エコルマホール	・小中学校へのチラシ等の 配布
学校教育課	後援(教育)	多摩川乗馬会	その他	乗馬をとおして障がい者と交流する。	福祉ネット「ナナの家」	25.4.28～ 10.13	和泉多摩川河川敷	・ポスターの掲示 ・ポスター、チラシの 学校へ配布
学校教育課	後援(教育)	泊江市とイイトコガガシを結ぶ発達障害講演会	講演会	成人発達障がい当事者とその周囲の人々が、お互いを理解し、尊重し合い、発達障がいの理解を深める。	東京都成人発達障害当事 者会	24.6.1～ 25.3.31	中央公民館 他	・後援名義使用
学校教育課	後援(教育)	木村順先生の感覚統合研 修会	講習会	感覚統合について、学びの発達への支援の をすすめる。	福祉ネット「ナナの家」	25.3.26	こどもデイサービス ほつぷ	・小中学校へのチラシ等の 配布
学校教育課	後援(教育)	被災地支援 絆プロジェクト泊江	講習会	長期的及び持続的に被災地を支援する。	国際ソロプチミスト 東 京・泊江	24.9.1	泉の森会館	・後援名義使用
学校教育課	後援(教育)	特別活動部夏季研修会	講習会	通級学級及び通常学級を対象として、特別支援教育で の具体的な支援のあり方を研修する。	東京都公立学校情緒障害 教育研究会	24.8.1～ 24.8.2	エコマホール	・後援名義使用
社会教育課	共催	第65回都民体育大会開会 式	その他	市民のスポーツ振興に資する。	泊江市体育協会	24.5.13	駒沢野球場	・庁用バスの手配 ・参加費の負担
社会教育課	後援(教育)	「むいからで遊ぼう」第 4回・第5回	まつり	子育て支援の一環として楽しい遊びの場を提供しあわ せて様々な相談に対応する。	サポート泊江	24.5.19、 10.20	むいから民家園	・チラシ学校配布
社会教育課	後援(教育)	第8回泊江市少年少女 サッカー連盟杯春季大会	大会	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。	泊江市サッカー少年少女 連盟	24.6.10～ 7.29	市民グランド	・後援名義使用
社会教育課	後援	第40回初夏の音楽会	発表会	市民音楽文化の高揚と普及発展に努め、加盟団体相互 の交流を図ることを目的とする。	泊江市音楽連盟	24.6.3	エコルマホール	・ポスター掲示 ・チラシ学校配布
社会教育課	後援(教育)	第40回初夏の音楽会	発表会	市民音楽文化の高揚と普及発展に努め、加盟団体相互 の交流を図ることを目的とする。	泊江市音楽連盟	24.6.3	エコルマホール	・ポスター掲示 ・チラシ学校配布
社会教育課	後援(教育)	第16回カラオケ合同発表 会	発表会	カラオケの普及発展を図り併せて広く市民に明るく楽 しいひと時を提供し良き環境とパワーを共有し市民生 活の活性化に寄与する。	グリーンリープス	24.9.9	西河原公民館	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	春季バレーボール大会	大会	バレーボールの普及向上及び親睦を図り、また25年度 の国体に向け、試合運営及び審判員の技術研修を行 う。	泊江市バレーボール協会	24.5.13	泊江第二中学校	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	第22回泊江市舞踊大会	発表会	舞踊連盟加盟団体の会員が日本舞踊・民謡舞踊・新舞 踊の踊りを披露し、市の文化芸術の普及に寄与する。	泊江市舞踊連盟	24.6.17	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	第3回「泊江ハーモニカ 音楽祭」	発表会	ハーモニカ音楽の普及と地域の文化の発展に努め、音楽の祭 典を実施する。	多摩ハーモニカ倶楽部	24.10.14	エコルマホール	・後援名義使用
社会教育課	後援	体育館改修リニューアル イベント	その他	国体の啓蒙を兼ねた市民の印象に残るリニューアルイ ベントを実施すること、国体開催機運の醸成と市民 スポーツの振興を図る。	第68回国民体育大会泊江 市実行委員会	24.8.5	市民ひろば 市内	・ポスター掲示 ・わっこ掲載 ・広報「こまえ」
社会教育課	後援(教育)	体育館改修リニューアル イベント	その他	国体の啓蒙を兼ねた市民の印象に残るリニューアルイ ベントを実施すること、国体開催機運の醸成と市民 スポーツの振興を図る。	第68回国民体育大会泊江 市実行委員会	24.8.5	市民総合体育館	・ポスター掲示 ・チラシ学校配布 ・広報「こまえ」
社会教育課	後援	40周年記念コンサート	コンサート	音楽連盟結成40周年を記念し、音楽連盟の親睦と発展を 目的とする。	泊江市音楽連盟	24.9.23	エコルマホール	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	40周年記念コンサート	コンサート	音楽連盟結成40周年を記念し、音楽連盟の親睦と発展を 目的とする。	泊江市音楽連盟	24.9.23	エコルマホール	・後援名義使用

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援(教育)	泊江バンドフェスティバルVOL.14	コンサート	通達加盟団体によるバンド演奏により、市の音楽活動普及に資する。	泊江市音楽連盟	24. 7. 22	西河原公民館	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	夏休みわくわく！クラフト体験教室VOL. 5	教室	夏休み中の子どもたちに日常では経験できないプロのもののづくりの世界を体験してもらう。	泉の森友の会	24. 8. 17～ 8. 26	泉の森会館	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	第9回いろいろな倶楽部歌謡まつり	発表会	歌を通して、地域の方々の親睦を深める。	いろいろな倶楽部	24. 10. 7	エコルマホール	・ポスター掲示 ・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	そよかぜコンサート	発表会	日頃の練習の成果を広く市民の人達にみてもらう。	混成合唱泊江コーラス ガーデン	24. 7. 15	西河原公民館	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	2012年夏休みジュニアテニス教室	教室	市内にジュニアテニスを普及させる。	泊江市体育協会	24. 8. 20～ 8. 24	元和泉テニスコート	・ポスター掲示 ・わっこ掲載 ・チラシ学校配布
社会教育課	後援	第5回多摩川ウォーキングフェスタ	その他	多摩川の羽村市から大田区まで全長約50キロメートルにわたる「たまりバー50キロ」のコースを活用し、スポーツを身近な場所できれいに楽しむきっかけとすることを目的とする。	日本ウォーキング協会	24. 10. 6	多摩川河川敷	・広報へ掲載
社会教育課	後援(教育)	カラオケこもれび第2回発表会	発表会	市民のカラオケ同好者が集い、日常の練習の発表会を行い、文化の向上を図る。	カラオケこもれび	24. 8. 26	西河原公民館	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	平成24年度 ジュニアバレーボール教室	教室	泊江市にバレーボールの普及底辺の拡大を図る。	泊江市体育協会	24. 11. 3、 11. 10	西和泉体育館	・ポスター掲示 ・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	吃音フォーラム	学習会	吃音についての理解への啓発を図る。	吃音サポート「ジークフリート」	24. 9. 9	泊江第一小学校	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	第2回泊江市ダンス&スポーツフェスティバルミライエ新体操カップ	大会	ダンス、スポーツの発表の場をつくり、子ども・泊江市民の心身育成とスポーツ振興を図るため。	泊江体操クラブ	24. 12. 23	市民総合体育館	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	泊江市立学校PTA連合会ハレール大会	大会	各校の親睦を図る。	泊江市立学校PTA連合会	24. 10. 28	市民総合体育館	・後援名義使用
社会教育課	後援	「ひろしま」の上映とトーク	講演会	映画とトークを通して、核とはなにか、幸福とはなにか、平和とはなにかを共に考える。	良い映画を観る会	24. 10. 12	エコルマホール	・チラシ学校配布 ・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	「ひろしま」の上映とトーク	講演会	映画とトークを通して、核とはなにか、幸福とはなにか、平和とはなにかを共に考える。	良い映画を観る会	24. 10. 12	エコルマホール	・チラシ学校配布 ・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	第22回オーブン家庭婦人ダブルス大会	大会	泊江市近郊の卓球愛好者の交流を図る。	T & Mクラブ	24. 11. 7	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	第4回受け手養成講座	講座	こまえチャイルドラインで受け手をしてみようための養成講座を開催する。	こまえチャイルドライン	24. 10. 13～ 12. 8	中央公民館他	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	第14回カラオケ21発表会	発表会	日常活動日の練習の成果を発表すると共に地域住民の親睦交流を目的とする。	カラオケ21	24. 9. 30	西河原公民館	・ポスター掲示 ・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	講演会「読み書きの苦手な子どもたちーディズレーシアの理解と望ましい対応のために」	講演会	読み書きに困難をかかえる子どもたちの状況を理解することを通して、周りの大人がどう対応し、どのような援助をしたらよいかを考える。	サポート泊江	24. 9. 29	泉の森会館	・チラシ学校配布
社会教育課	後援(教育)	泊江市民年令別ミックスダブルスとシングルス硬式テニス大会	大会	硬式テニスの普及と技術の向上、及び参加者相互の親睦と市民の心身の鍛錬を計る事を目的とする。	泊江市硬式テニス協会	24. 11. 18	元和泉テニスコート 東野川テニスコート	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	第26回泊江市ダンススポーツ大会	大会	広い地域の選手と共に公認戦として技術の向上をはかる。	泊江市ダンススポーツ連盟	24. 11. 23	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	泊江の音楽家による東日本被災者支援チャリティーコンサート	コンサート	泊江在住の音楽家によるコンサートを開催し、市民に音楽を楽しんでもらうと共に、収益の一部を東日本大震災被災者支援のために寄付することを目的とする。	泉の森友の会	24. 10. 8	泉の森会館	・ポスター掲示
社会教育課	後援	第30回定期演奏会	コンサート	市民による市民のためのコンサートを行い、音楽の普及と啓蒙を図る。	泊江フィルハーモニー管弦楽団	24. 11. 17	エコルマホール	・ポスター掲示 ・わっこ掲載

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援(教育)	第30回定期演奏会	コンサート	市民による市民のためのコンサートを行い、音楽の普及啓蒙を図る。	柏江フィルハーモニー管弦楽団	24. 11. 17	エコルマホール	・ポスター掲示 ・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	第19回柏江市オーブン卓球大会	大会	オーブン卓球大会を開催し、市外の選手と技術交流を図ることにより、市民の卓球技術の向上を図る。	柏江市卓球連盟	24. 12. 9	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	第37回邦楽の集い	発表会	日本の伝統芸能を通じ健全な文化教養を高め、ゆたかな情操の涵養を育み、柏江市の文化向上に寄与することにより、市民の文化向上に寄与する。	柏江市邦楽連盟	24. 9. 16	エコルマホール	・ポスター掲示 ・わっこ掲載
社会教育課	後援	第13回定期演奏会	コンサート	市内の音楽活動の場としてコンサートを開催し、併せて市内の音楽活動の普及啓蒙を図る。	柏江市民吹奏楽団	25. 1. 6	エコルマホール	・ポスター掲示 ・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	第13回定期演奏会	コンサート	市内の音楽活動の場としてコンサートを開催し、併せて市内の音楽活動の普及啓蒙を図る。	柏江市民吹奏楽団	25. 1. 6	エコルマホール	・ポスター掲示 ・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	小田急バレーボールクリニック	大会	バレーボールの実力向上と市のスポーツ振興に寄与する。	柏江市バレーボール協会	25. 2. 17	柏江市民総合体育館	・後援名義使用
社会教育課	後援	第2回スポーツGOMI拾い大会	大会	国民体育大会を契機とした市民スポーツの推進と市内環境の美化を図ると共に、国民体育大会の啓蒙・周知をすすめるため。	第68回国民体育大会柏江市実行委員会	24. 11. 3	市民ひろば 市内	・広報「こまえ」 ・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	第2回スポーツGOMI拾い大会	大会	国民体育大会を契機とした市民スポーツの推進と市内環境の美化を図ると共に、国民体育大会の啓蒙・周知をすすめるため。	第68回国民体育大会柏江市実行委員会	24. 11. 3	市民ひろば 市内	・広報「こまえ」 ・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	第18回 KOMAE CUP 2012 (秋) シニアサッカー大会	大会	40才以上のシニアサッカーマンによる大会を通じて、市民の親睦を図り、市外のサッカーマンとの交流を行い、豊かで平和な地域コミュニティの創設を目指す。	KSCマツウーロB	24. 12. 24	市民グラウンド	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	第8回柏江市少年少女サッカー連盟杯秋季大会	大会	少年少女たちの日頃の練習成果の発表とともに、市内在住・在学の少年少女たちの親睦を図り、併せて少年少女たちの心身共に健全な育成の一助とする。	柏江市サッカー少年少女連盟	24. 11. 23～ 24. 12. 23	柏江市民グラウンド	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	平成25年どんと焼祭り	民俗行事	伝承民俗行事を守り、地域青少年の友情を交換する。	柏江市ボーイスカウト連盟協議会	25. 1. 13	多摩川緑地公園グラウンド脇地	・わっこ掲載 ・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	柏江市ジュニアスポーツ空手道教室	教室	柏江市に空手道の普及底辺の拡大を図る。	柏江市体育協会	24. 10. 7～ 11. 25	柏江市民総合体育館	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	JCOM杯争奪チャンピオン大会 柏江市予選会	大会	少年野球の上部大会であるJCOM杯争奪チャンピオン大会へ出場する柏江市の代表チームを選出する予選会を開催する。	柏江市少年野球連盟	24. 10. 8	緑地公園グラウンド	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	柏江市ジュニアスポーツ空手道強化練習顧問杯	その他	柏江市に空手道の普及底辺の拡大を図る。	柏江市体育協会	25. 1. 6～ 2. 24	市民総合体育館	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	柏江市ビーチボール大会	大会	いつでもどこでもだれでもが手軽にできるスポーツとして全国的に親しまれているビーチボール競技の普及・振興を図り、参加者相互の交流を図るため。	柏江市ビーチボール協会	25. 2. 10	市民総合体育館	・わっこ掲載 ・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	ジュニアビーチボール親睦交流大会	大会	全国的に親しまれているビーチボールのさらなる普及・振興を図り、来年度の国体の啓蒙をすると共に競技を通じて、参加者相互の親睦と交流を深め、健全なジュニア育成を目的とする。	柏江市ビーチボール協会	24. 11. 11、 25. 2. 3	市民総合体育館	・ポスター掲示
社会教育課	後援	JIN DANCE FACTORY LIFE 9	その他	ダンスを通して参加者同士の親睦を深め、柏江市の活性化と文化の発展に貢献する。	有限会社 JIN DANCE FACTORY	24. 12. 9	エコルマホール	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	JIN DANCE FACTORY LIFE 9	その他	ダンスを通して参加者同士の親睦を深め、柏江市の活性化と文化の発展に貢献する。	有限会社 JIN DANCE FACTORY	24. 12. 9	エコルマホール	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	第21回柏江市バドミントン新春初打大会	大会	柏江市民のバドミントン競技の向上、競技人口を広めること又は市外近隣との交流を深め、市民のレベルアップを図る。	柏江市バドミントン協会	25. 1. 20	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	もつと自分をほめよう～サイコロラマに学ぶ～	学習会	自己啓蒙と吃音啓蒙のため。	吃音サポート「ジークワリー」	25. 1. 13、 2. 10	柏江第一小学校	・後援名義使用

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援(教育)	泊江学「陸軍登戸研究所に勤めていた時代」	学習会	市民の歴史を記録にとどめておくため。	泊江市古民家園運営市民協議会	24.12.1	むいから民家園	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	第34回泊江市卓球団体戦	大会	泊江市民の卓球愛好者及び団体による市民卓球団体戦を開催する。	泊江市卓球連盟	25.3.3	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	第16回泊江市レディースバドミントン大会	大会	他のクラブと泊江レディースクラブとの親睦を深め、バドミントンによる活性化を図る。	KOMAE' 86	25.3.7	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	第19回バタフライカップダブルスチーム大会	大会	泊江市近郊の卓球愛好者の交流を図る。	T & Mクラブ	25.4.19	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援	武田範芳画伯生誕100年展	展示会	泊江にゆかりのある画家を広く市民に知ってもらうため。	泉の森友の会	25.6.16	泉の森会館	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	武田範芳画伯生誕100年展	展示会	泊江にゆかりのある画家を広く市民に知ってもらうため。	泉の森友の会	25.6.16	泉の森会館	・ポスター掲示
社会教育課	後援	第35回市民創作展	展示会	市民が製作した異なるジャンルの作品を一堂に展示発表することにより、相互の交流と親睦を計り泊江市民の文化向上に寄与すること。	泊江市芸術協会	25.4.21	中央公民館	・わっこ掲載 ・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	第35回市民創作展	展示会	市民が製作した異なるジャンルの作品を一堂に展示発表することにより、相互の交流と親睦を計り泊江市民の文化向上に寄与すること。	泊江市芸術協会	25.4.21	中央公民館	・わっこ掲載 ・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	映画「ムーランジュの青春」上映会	その他	「ムーランジュ新宿座」生誕80年を記念して製作された映画を上映する。	泉の森友の会	25.4.21	泉の森会館	・ポスター掲示
社会教育課	後援	第14回泊江チャリティー歌謡まつり	発表会	公民館利用団体としての活動を発表するにあたり、趣味的な活動を通じ、社会貢献の目的で集まった仲間でのチャリティーの舞台。	アマチュア歌謡サークル泊江	25.5.26	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	第14回泊江チャリティー歌謡まつり	発表会	公民館利用団体としての活動を発表するにあたり、趣味的な活動を通じ、社会貢献の目的で集まった仲間でのチャリティーの舞台。	アマチュア歌謡サークル泊江	25.5.26	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	第44回泊江市少年野球春季大会	大会	少年少女たちの日頃の練習成果の発表とともに、市内在住・在学の少年少女たちの親睦を図り、併せて少年少女たちの心身に健全な育成の一助とする。	泊江市少年野球連盟	25.4.7~6.2	市民グラウンド	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	泊江市軟式野球連盟春季大会	大会	アマチュアスポーツの一環として野球チーム相互の健康と理解、親睦と融和を図り、スポーツの普及と技量の向上を図るため。	泊江市軟式野球連盟	25.4.7~7.28	多摩川緑地公園グラウンド	・わっこ掲載
社会教育課	後援	第25回邦楽百選会発表会	発表会	日本の伝統文化を伝え広げるため。	泊江市邦楽百選会	25.5.19	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	第25回邦楽百選会発表会	発表会	日本の伝統文化を伝え広げるため。	泊江市邦楽百選会	25.5.19	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	平成25年春季ソフトボール大会	大会	市民の健康づくりとソフトボール競技を通じての親睦と技術向上を目的とする。	泊江市ソフトボール協会	25.4.14~5.12	西和泉グラウンド	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	第19回 KOMAE CUP 2013(春)シニアサッカー大会	大会	40才以上のシニアサッカーマンによる大会を通じて、市民の親睦を図り、市外のチームとの交流を行う。併せて、心身豊かで平和な地域社会の実現に貢献する。	KSCマートウーロB	25.5.4	市民グラウンド	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	平成25年度泊江市市民グラウンド・ゴルフ春季大会	大会	市民大会を通じて、グラウンド・ゴルフの普及と高齢者の心身の健康維持と会員の親睦、技術向上に寄与する。	泊江市グラウンド・ゴルフ協会	25.4.21	市民グラウンド	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	泉の森会館・泉の森友の会10周年記念「泊江に小学校が1つだった頃」展示・講演会	講演会	泊江に小学校が1つしかなかった頃の小学校の様子や生活の様子を8人の卒業生のお話や写真展示などで後世に伝える。	泉の森友の会	25.3.9	泉の森会館	・わっこ掲載 ・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	第27回泊江市ダンススポート大会	大会	硬式テニスの普及と技術の向上、及び参加者相互の親睦と市民の心身の健康を計る事を目的とする。	泊江市硬式テニス協会	25.5.12	元和泉テニスコート 東野川テニスコート	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	第27回泊江市ダンススポート大会	大会	硬式テニスの普及と技術の向上、及び参加者相互の親睦と市民の心身の健康を計る事を目的とする。	泊江市ダンススポーツ連盟	25.5.26	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	市民の芸術祭	発表会	市民の芸術を主体に発表会を主催する。	泊江市文化協議会	25.3.17	西河原公民館	・ポスター掲示

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	共催(教育)	スポーツ祭東京2013開催記念「親子スポーツ体験イベント」	その他	親子でスポーツにふれあい、拍江市で開催される国民体育大会(バレーボール競技)に興味、関心を持っていただく。	拍江市体育協会・TAO共同事業体	25. 4. 14	市民総合体育館	・ユリート出演 ・国体関連グッズ販売・宣伝
社会教育課	後援(教育)	和太鼓×マリンバ GONNA10周年ライブ「スピリチュアル」	コンサート	「GONNA」の音楽を、市民に届け、以て拍江市の音楽文化の醸成・発展に寄与し、地域社会の結びつきを強め、市民文化の担い手の育成を図る。	きんたの会・GONNA10in拍江市実行委員会	25. 10. 14	エコルマホール	・後援名義使用
社会教育課	後援	第59回日本母親大会	大会	全国各地、各団体、ひとりぼっちの母親・女性たちに呼びかけ、学び、交流しあい、連携の輪をひろげる。	第59回日本母親大会実行委員会	25. 8. 24~24	精華メッセ・イベントホール・日比谷公会堂・都内大学	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	第59回日本母親大会	大会	全国各地、各団体、ひとりぼっちの母親・女性たちに呼びかけ、学び、交流しあい、連携の輪をひろげる。	第59回日本母親大会実行委員会	25. 8. 24~25	精華メッセ・イベントホール・日比谷公会堂・都内大学	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	第31回定期演奏会	コンサート	市民による市民のためのコンサートを行い、音楽の普及を図る。	拍江フィルハーモニー管弦楽団	25. 5. 18	エコルマホール	・ポスター・掲示
社会教育課	後援	第31回定期演奏会	コンサート	市民による市民のためのコンサートを行い、音楽の普及を図る。	拍江フィルハーモニー管弦楽団	25. 5. 18	エコルマホール	・ポスター・掲示
社会教育課	後援(教育)	第14回多摩川ウォーク	その他	ウォーキングへの関心を高めるとともに、健康増進体力向上を図る機会を提供する。	世田谷区スポーツ振興財団	25. 5. 12	多摩川河川敷	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	2013年 第41回夏休み児童・青少年演劇フェスティバル	その他	児童・青少年演劇が広く認識され、児童・青少年の成長と発達、その人格形成に対して明確に役割を果たしていけるよう、フェスティバルを継続・推進する。	日本児童・青少年演劇劇団協同組合	25. 7. 20 ~25. 8. 7	全労協ホール	・後援名義使用
社会教育課	後援	ミュージカル「さくや姫とあおい」の上演	発表会	上演実績を積み、団体の力の蓄積となり、プロを目指す若く人達の才能を発揮する機会を提供する。	ミュージカルCoooo〜	25. 7. 14	エコルマホール	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	ミュージカル「さくや姫とあおい」の上演	発表会	上演実績を積み、団体の力の蓄積となり、プロを目指す若く人達の才能を発揮する機会を提供する。	ミュージカルCoooo〜	25. 7. 14	エコルマホール	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	拍江市三曲協会第14回演奏会	発表会	市民の人々と三曲(事・三絃・尺八)を通じて交流を深め、拍江市の邦楽文化の維持・発展に寄与する。	拍江市三曲協会	25. 6. 15	エコルマホール	・ポスター・掲示
社会教育課	後援(教育)	第17回カラオケ合同発表会	発表会	広くカラオケ愛好者に発表会への参加を呼びかけ、楽しさを共有し、友好を深め、地域の文化活性化に寄与する。	グリーンリープス	25. 9. 8	西河原公民館	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	「むいかからで遊ぼう」第6回・第7回	まつり	子育て支援の一環として楽しい遊びの場を提供しあわせて様々な相談に対応する。	サポート拍江	25. 5. 18 ~25. 10. 19	むいかから民家園	・後援名義使用
社会教育課	後援	和太鼓×マリンバ GONNA10周年ライブ「スピリチュアル」	コンサート	「GONNA」の音楽を、市民に届け、以て拍江市の音楽文化の醸成・発展に寄与し、地域社会の結びつきを強め、市民文化の担い手の育成を図る。	きんたの会・GONNA10in拍江市実行委員会	25. 10. 14	エコルマホール	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	第36回拍江市バドミントン大会(会長杯)	大会	拍江市民のバドミントン競技の向上並びに競技人口を広める。また、市外近隣との交流を深め、市民のレベルアップを図る。	拍江市バドミントン協会	25. 6. 30	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援	第3回ススポーツGOM!拾い大会	大会	国民体育大会を契機とした市民スポーツの推進と市内環境の美化を図るとともに、国民体育大会の啓発・周知をする。	第68回国民体育大会拍江市実行委員会	25. 6. 8	市民ひろば 市内	・広報掲載
社会教育課	後援(教育)	第3回ススポーツGOM!拾い大会	大会	国民体育大会を契機とした市民スポーツの推進と市内環境の美化を図るとともに、国民体育大会の啓発・周知をする。	第68回国民体育大会拍江市実行委員会	25. 6. 8	市民ひろば 市内	・広報掲載
社会教育課	後援(教育)	カラオケ21 第15回発表会	発表会	日常活動の練習の成果を発表すると共に地域住民の親睦交流を目的とする。	カラオケ21	25. 6. 30	西河原公民館	・後援名義使用
社会教育課	後援(教育)	春季バレーボール大会	大会	バレーボールの実力向上及び親睦、本年度の国体に向け、試合運営及び審判員の技術研修。	拍江市バレーボール協会	25. 6. 16 ~25. 7. 7	市民総合体育館	・後援名義使用

意見交換・情報交換

担当課	種別	開催名称	開催目的	参加団体	実施日	実施場所	交換した意見・情報の内容
福祉サービス 支援室	ワークショップ	(新規) 災害時要援護 者支援検討委員会ワー クショップ	災害時要援護者支援制度の地域 における支援組織づくりのため、 駒井町会をモデル地区とし たワークショップを開催した。	駒井町会 (避難所運営協議 会、理事、班長、一般参加 者)	24. 10. 27～ 25. 2. 26	泊江第六小学校	泊江市災害時要援護者支援検討委員会の実 践として、全6回のWSを実施した。第1 回 災害時を想定した課題把握、第2回 支 援体制と必要な情報、第3回 支援者のなり 手と個別計画の内容、情報の保管場所、第 4回 要援護者参加型の避難訓練、第5回 戸別訪問の試行、第6回 避難訓練・戸別訪 問の検証・議論のまとめ
公民館	懇談会	西河原公民館利用者懇 談会	西河原公民館の運営について、 情報を提供し、直接意見交換を 行い、交流する機会を持つこと で、団体との情報交換を行う。	利用団体：68団体・64人	24. 5. 29	西河原公民館	西河原公民館運営について 公民館利用の説明 西河原公民館利用団体の交流 (団体紹介、 利用上感していること) 西河原公民館利用上の意見交換
公民館	懇談会	中央公民館利用者懇談 会	中央公民館の運営について、情 報を提供し、直接意見を交換 し、交流する機会を持つこと で、団体との情報交換を行う。	利用団体：82団体・82人	24. 5. 23	中央公民館	中央公民館運営について 公民館利用の説明 中央公民館利用団体の交流 (団体紹介、利 用上感していること) 中央公民館利用上の意見交換

市民協働事業評価アンケート（平成 24 年度実績）集計結果

【内容】 平成 24 年度に実施した市民協働事業の中から、12 事業（12 課）についてアンケートを実施

補助金事業 3 件 協定事業 3 件

委託事業 4 件 共催事業 2 件

団体と市担当課の両方でそれぞれ同じアンケートに回答し、それをもとに意見交換を行う。

【期間】 アンケート回答期間：平成 25 年 7 月 2 日～7 月 17 日

意見交換期間：平成 25 年 7 月 18 日～7 月 30 日

【評価基準】

1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた

※アンケート用紙の各質問で、色の濃い部分が行政の評価、○の部分が団体の評価。評価のところで色が濃く、○が重なっているところは、行政団体の評価が同一。

【評価結果】

○事業実施前についての質問

1 協働事業についての明確・具体的な目標を、両方で共有されていたと思いますか。

評価 4 ⇒ 行政 7 件 団体 5 件

評価 3 ⇒ 行政 5 件 団体 7 件

2 単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。

評価 4 ⇒ 行政 5 件 団体 6 件

評価 3 ⇒ 行政 7 件 団体 5 件

評価 2 ⇒ 団体 1 件

3 事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。

評価 4 ⇒ 行政 7 件 団体 5 件

評価 3 ⇒ 行政 4 件 団体 6 件

評価 2 ⇒ 行政 1 件 団体 1 件

○事業実施中についての質問

4 それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。

評価 4 ⇒ 行政 5 件 団体 4 件

評価 3 ⇒ 行政 7 件 団体 8 件

5 事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。

評価 4 ⇒ 行政 3 件 団体 3 件

評価 3 ⇒ 行政 9 件 団体 5 件

評価 2 ⇒ 団体 4 件

- 6 事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。

評価4 ⇒ 行政6件 団体3件

評価3 ⇒ 行政4件 団体5件

評価2 ⇒ 行政1件 団体1件

回答なし ⇒ 行政1件 団体3件

○事業実施後についての質問

- 7 目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。

評価4 ⇒ 行政4件 団体4件

評価3 ⇒ 行政6件 団体8件

評価2 ⇒ 行政2件

- 8 協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。

評価4 ⇒ 行政7件 団体8件

評価3 ⇒ 行政5件 団体4件

- 9 事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。

評価4 ⇒ 行政4件 団体2件

評価3 ⇒ 行政7件 団体6件

評価2 ⇒ 行政1件 団体3件

評価1 ⇒ 団体1件

○事業全体を振り返っての質問

- 10 今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。

評価4 ⇒ 行政9件 団体9件

評価3 ⇒ 行政3件 団体2件

回答なし ⇒ 団体1件

質問	行政の評価平均	評価課数	団体の評価平均	評価団体数
1	3.58	12	3.42	12
2	3.42	12	3.42	12
3	3.50	12	3.33	12
4	3.42	12	3.33	12
5	3.25	12	<u>2.92</u>	12
6	3.45	11	3.22	9
7	3.17	12	3.33	12
8	3.58	12	3.67	12
9	3.25	12	<u>2.75</u>	12
10	3.75	12	3.82	11

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	企画財政部秘書広報室	団体名	狛江泉親会
事業名	市民法律講座		
実施期間	平成 24 年 4 月 1 日	～	平成 25 年 3 月 31 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	法律問題の解決の手助けをし、地域在住の弁護士と市民の交流を図る。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	狛江市民の法律知識の向上、地域在住弁護士と市民の交流、地域住民の法的ニーズに応える。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	市民に広く参加を呼びかけ、市民の法律知識の向上と問題解決の手助けをし、市民の法的ニーズに応える。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	市民の法的ニーズに応えられる。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔行政〕	夜間に相談を行っていないため、来年度は市民のニーズに応えるため夜間に法律相談会を行うこととした。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔団体〕	特になし		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くてきた 4:大変良くてきた
------	--

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や、協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されていたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	相談の予約はほぼ毎週定員に達しており、互いの役割を十分に生かすことができたと思われる。				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。（C.を確認して記入してください。）	1	2	3	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	市民と弁護士の交流を図ることはできたが、今後は夜間にも相談会を行い、市民のニーズに柔軟に対応していきたい。				
団体	なし				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	普段接することが少ない弁護士と接する機会を設けることができ、問題解決の手助けができた。相談の予約はほぼ毎週定員に達しており、市民の法的ニーズに応えることができた。				
団体	なし				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	なし
団体	なし

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
昨年度に引き続き意見交換を行い、両者で情報を共有しており特段問題はありませんでした。 今後も、連携して取り組んでいくことを確認しました。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	総務部安心安全課	団体名	狛江第二中学校避難所運営協議会
事業名	避難所運営協議会		
実施期間	平成 24 年 4 月 1 日	～	平成 25 年 3 月 31 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	狛江第二中学校における避難所運営体制の整備・充実		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	大規模災害発生時に避難所となる狛江第二中学校において、地域住民等による避難所の自主運営・管理体制を整備する。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	地域住民の安心安全の確保		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	災害発生初期段階では特に、学校・地域住民の連携が必要で市民と行政の協働により効果を上げることができる。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔行政〕	団体と市との情報共有		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔団体〕	一般の市民をどれだけ巻き込んでいけるか。(課題)		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	--

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や、協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されていたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	既に組織が設置されているため、平成24年度は、会議の開催、知識の習得や訓練等を実施している。				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。（C.を確認して記入してください。）	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	地域が主体となって運営してもらうことが本旨であるため、独自に活動していただいている分、団体の活動体制や活動内容を市が全て把握しきれない。				
団体	なし				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	訓練後の反省点等、詳細な内容については、情報の共有が困難である。				
団体	従来は市が単独で行ってきた事業だが、3.11以降地域が協力して取り組む問題という認識が強くなってきた。地域の4町会と協力で行われた「二中地区避難所運営協議会」の延長線上に今回の事業があると理解している。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	4
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	基本的には地域住民が主体となって活動する自主防災組織であるという性格を考慮すると、側面支援を行う市と自主的に活動する団体との役割を分担して円滑に事業が実施できたものとする。				
団体	町会、PTA、第二育成委員会、防犯・防災・交通安全の団体等が協議会を結成し、「二中ふれあい広場」の行事と併せ訓練を行ったが、一般の市民の参加があまり多くなく、市民への効果という点では不満が残る。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	なし
団体	なし

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
・本事業は、以前より活動を行ってきた二中学区避難所運営協議会が、市の基本マニュアルを作成したことを受けて、三小・六小・二中の避難所ごとに分かれ、それぞれの避難所ごとの特性を活かしながら形成してきたものである。 ・それぞれの評価を確認したところ、概ね3若しくは4の評価をしているので、取組としては、成果があったものと実感している。 ・事前の説明で役割分担について、市では4と評価していたが、協議会は3との評価となってしまったのは、実際に行う協議会の方々と市との調整が足りなかった部分であるので、今後出来上がっていく他の協議会においては、事前調整を十分に行いお互いの理解を深めていきたい。 ・事業実施中は、市・協議会ともに3の評価でお互いに協力しながら事業が行えた。特に第二育成委員会と合同で訓練を行い、協議会としての活動を広め、実施すべき業務の確認をできたことは、大きな成果であった。 ・事業終了後の反省会や意見交換に関して、十分に話し合うことができなかったことに市と協議会での評価が分かれてしまったので今後の課題としていきたい。 ・総評としては、協議会の立ち上げから訓練に至るまで、地域住民が主体となって活動で行い、市は補助的に介入することで事業を行うことができ、自主防災組織として活動ができたことは今後、他の協議会を立ち上げていく上でのノウハウを学べたことは、有意義なものであったと評価できる。また、課題としては、訓練を行い、組織としての活動を行うことができたが、参加していない地域住民の方々への周知について、不十分な点が見られたので、今後検討していきたい。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	市民生活部地域活性課	団体名	上和泉地域センター運営協議会		
事業名	上和泉地域センター自主運営に関する協定				
実施期間	平成 24 年 4 月 1 日	～	平成 25 年 3 月 31 日		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長する。				
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	地域住民の自発的なコミュニティ活動の促進を目的とする				
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	地域住民により組織された運営協議会による地域センターの自主運営を支援することにより、地域に即した活動を主体的に行うことが出来る。				
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	利用団体や地域住民、数十名による委員から成る運営協議会が定期的に協議会を開き、運営に関する事項を協議することで、利便性や安全面が日常に即して対応できる。				
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔行政〕	今年度は東京都による耐震改修工事および市による施設の大規模な修繕を行ったため、利用者発表会をはじめとして、例年行っている多くの事業が中止になるなどの影響があった。				
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔団体〕	前年度に発生した「職員の任免に関する問題」について、法律的な専門知識の欠如などにより、対応がスムーズにできなかった。(後手に回った)				
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた				
事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や、協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されていたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業の実施にあたっては、お互いの立場や役割を認識し共有していたと考えている。				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	当施設は他の地域センターに先駆けて改修工事を行ったため、調整が不足した部分があった。				
団体	運営協議会の諸課題や、諸々の進捗状況を管轄課に細やかに報告することを怠っていた。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	業務上の関わりが多いため、事業終了後次の年度に入ってもコミュニケーションは密になっていると思う。しかし、施設の管理運営のため、事業終了後の達成感については、年度終了後すぐに次の年度が始まってしまったため、両者の実感を共有する機会がもう少しあったらと思った。				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
	質問の主旨				
	今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。				
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業実施については、団体として非常に良く取り組んでいただいた。周辺地域の状況や要望等に対しても、よく検討し対応していただき、地域の拠点としてコミュニティ活動を推進していただいたと考えている。				
団体	平成24年度の大規模改修も含めるならば、直接的受益者である市民にとっては、非常に有益だったと思われる。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	なし
団体	なし

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
○運営委員会委員の高齢化により、昨年に半数が新しい委員に替わり、人数も減った。最近委員になった方は2年間自主的に活動していこうという趣旨が上手く伝わっているか疑問。委員の選出方法に問題があると思い、利用者懇談会で新しい委員を募集する形にしたら、利用者懇談会の参加者が減った。そのため、利用実績がある団体をピックアップし、手紙を送る方法に去年から変えた。 ○図書の管理運営は専門的な業務であるにも関わらず、司書などの専門家がいらない。図書の選書も各センターによって方法に差がある。レファレンスサービスも専門的な知識が必要(中央館では司書が行っている)。「館」と「室」の違いはあれど、同じことをしているので、専門的な知識を持っている人が必要なのではないか。スタッフも確固たる自信をもって業務を行えていない。 ○情報共有のため、正副会長会議がもう少しあったらよい。 ○行事の際など、事務局長・事務職員は給与が発生していて、運営委員は無報酬ということで運営委員から疑問の声が挙がったことがある。運営委員にも労いとして1年に1回くらい報酬があってもよいのではないか。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	福祉保健部福祉サービス支援室	団体名	特定非営利活動法人 ハッピーライフフォーエバー
事業名	障がい児通所支援事業		
実施期間	平成 24 年 6 月 1 日	～	平成 25 年 3 月 31 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	地域デイグループ事業を実施していた法人が児童福祉法上の通所施設に移行した場合の激変緩和の対策として、家賃の一部を補助することにより、移行後の安定した事業継続を保障する。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	主に肢体不自由重度重複の学齢期の子ども達の地域での活動保障の場として、都・市の事業補助から法内移行をせざるを得ない状況下、大きな変動を乗り越える為の市独自の家賃補助により、事業の安定支援、障害児の豊かな地域活動支援を目指す。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	移行後の安定した事業継続を保障する。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	法内移行は利用する子どもが来る来ないで大変な変動を強いるものです。小規模施設の経済的限界は頻拍する事が予測されます。施設の場所が保障されるだけでも大変に効果があります。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔行政〕	実施中に関しては特に大きな問題はなかった。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔団体〕	特にありません。 報告書の内容について疑問がありましたが、意見を申し出たり話し合いで解決しました。		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	---

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や、協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されていたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	補助金交付要綱が決定が年度末近く、このため事前に正式に話し合う機会が無かった。				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。（C.を確認して記入してください。）	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	特に話し合う機会が無かった。				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	交付要綱のため、概算交付決定通知書と交付決定通知書自体が評価だと思いますが、何かコメントがあれば励みになるかと思いました。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	地道な活動ですが、細く長くやっていることで市民に安心していただけていると思っています。市からの経済的独立の必要性と共に、このような補助は公共性、障がい児施策、市民活動の支援のためにも市との関わりが不可欠です。 市民にとってどうあってほしい事業かを話し合い、目標を共有する、これが協働だと思います。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	なし
団体	以前の補助事業も協働事業とするのだと思います。しかし、最近の公募する協同事業のイメージとはかなり違う感があります。何年か前に市報の1面に協同事業として写真掲載があったときから、これが協同事業なんだとはじめて知りました。このアンケートに答えさせてもらいながら、悩んでいました。大事な公金を頂いているので無評価ではないと思いますが、ここでの質問項目が担当課とできていたらと残念に思います。もっと市民に向けて開かれた活動、利用がしていただけたかと思いました。 しかし、今後も一部の補助が続きます。今度は是非、担当課ともっともっと話し合って行きたいと思います。ありがとうございました。

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
(問題点・課題点) ・事前にもっと意見交換の場があればよかったのではないかと。(団体) ・市としては、事業実施前に何度も話し合いの場を設け、移行にあたっての問題点や課題点を確認し、交付要綱を施行したが、十分ではなかったようである。事業実施後については、今後も、互いに情報提供及び意見交換を行い実施していく。(市) (まとめ) ・今後も家賃補助を継続実施することで、移行後の障がい児通所支援事業所が安定した事業を実施できるようにしていく。その際は、市及び団体間で情報提供し、意見を交換ながら、状況を確認し合い、問題点や課題を解決できるように実施にしていく。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	福祉保健部介護支援課	団体名	ときの会
事業名	会食会		
実施期間	平成 24 年 4 月 1 日	～	平成 25 年 3 月 31 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	高齢者の外出の機会と人との出会いの機会を提供し、孤独感の解消と生きがいに寄与する。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	高齢者の心身の健康を手助けをする昼食会ボランティア。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	会食会に参加することにより、外出の機会の提供と、バランスのとれた食事を意識づけることができる。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	会食会に参加することで、閉じこもり防止、交流の場で友人作り、生きがい作りで楽しく生活、介護予防。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔行政〕	・会食会事業を委託していた4団体のうち1団体が解散することとなり、新規の団体立ち上げを呼びかけたが、実現しなかった。 ・1団体が解散することとなり、ときの会でも定員に達するまで受け入れをしたが、希望者が受入数を上回ったため、会食会に参加できなくなった方が出てしまった。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔団体〕	食事作りをしているボランティアの高齢化が進んでいるので、新メンバーを募集したい。 昼食会の出席者が忘れて当日キャンセルが後をたたない。食材の無駄になるので、前もって電話して確認等を行った。		
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた		
事業実施前についての質問		評価	
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2 ③ 4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。			
2	単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	② 3 4
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や、協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されていたか。			
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2 ③ 4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。			
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。			
行政	なし		
団体	話し合いの時間がとれなかったように思うので、今後の課題。		

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。（C.を確認して記入してください。）	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	私達ボランティア自身が協働事業だと認識している人があまりいない様子。そこが問題です。				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	もう少し話し合いの場がもたれる事を希望します。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
	質問の主旨				
	今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。				
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	会食に出席した人達は毎回楽しんで帰宅されている様に受け取れた。 市からの補助費を受けてより充実した食事提供を受けられたと思います。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	・会食会事業は、平成24年度までは4団体に委託して実施していたが、平成24年度末に1団体が解散し、現在は3団体となっている。随時ボランティアの募集をしているが、なかなか新規の協力者がおらず、同じ人が複数の団体を掛け持ちをしている状況である。ボランティアの方々も高齢化しており、継続した運営に不安がある。行政と団体(市民)が情報を共有し、お互いの役割を果たせるようにする必要がある。
団体	市と積極的にコミュニケーションをとりながら、お互いに助け合いながら、活動していけばよい結果は生まれると思われます。

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
・行政とボランティア(市民)が意見交換をする機会が少なかったため、共通認識ができていない部分があった。 ・委託事業であるため、予算の使途について縛りがあるが、団体の運営上活動に広がりを持たせるためには、ある程度裁量を持たせる必要がある。→委託仕様書の見直し。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	福祉保健部健康推進課	団体名	狛江市薬剤師会
事業名	市民健康講座		
実施期間	平成 25 年 2 月 9 日	～	平成 年 月 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	市民を中心に、疾病の予防及び健康の維持、増進に関する知識の普及啓発を行うこと。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	疾病及び薬の知識の普及・啓発をし、市民の健康増進し寄与することを目的とする。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	感染症やその予防方法及び薬の知識の普及啓発により健康増進を図ることができる。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	感染症に対する知識を身につけ、病気を予防する。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔行政〕	会場がエコルマ6階展示多目的室であったため、会場設営に限度があった。また、市の関わりとして、もっと周知に協力できたのではないかと考える。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔団体〕	特になし。		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	--

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や、協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されていたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	契約や協定といったかたちはとっていない。				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。（C.を確認して記入してください。）	1	2	3	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	共催事業としては初めての実施であり、場所の確保や周知方法など、まだまだ改善できる点があると思われる。				
団体	なし				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4
	質問の主旨				
	今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。				

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。

行政	なし
団体	なし

自由意見記入欄

(市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)

行政	なし
団体	なし

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

- 場所について(エコルマ6階展示多目的室)
 - ・形状が悪く使いにくい。(柱が邪魔である。)
 - ・駅前でわかりやすい。(広く市外まで告知したときに有効である。)
 - ・今まで薬剤師会が使用申請していたが、市からの申請も検討する。
- 周知について
 - ・市広報への掲載は周知効果が大きい。(対象が広い)
 - ・老人会へのチラシ配布を、市を通して行っており、有効である。
 - ・チラシの印刷を社会福祉協議会の印刷室で行っているが、市(健康推進課)での印刷も検討する。
- 講演テーマについて
 - ・市民に求められるテーマをタイムリーに取り上げたい。
 - ・10月頃に決めるので、市からも候補を挙げる。

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	児童青少年部子育て支援課	団体名	狛江にプレーパークをつくる会
事業名	プレーパーク設置協働研究事業		
実施期間	平成 24 年 4 月 17 日 ~ 平成 25 年 3 月 31 日		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	定常的な冒険遊び場設置の実現可能性について検証するとともに、課題を整理すること。また、その中で、子どもたちの遊びの場、子どもを持つ親の憩いの場、異世代交流の場を提供すること。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	常設の冒険遊び場に必要の要素や、開催曜日や日数・連続した時のそれぞれの違いなど調査研究をする。専門職のプレーリーダーと世話人との違いについて明確にすること。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	明確な役割分担のもと、効率的な事業運営が可能となる。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	行政が資金・法的知識等の支援をし団体は市民の目線で運営を担い、互いの強みを生かし質の高い事業ができた。市民が運営を行うことで、人と人を繋げ子供だけでなく、大人の居場所をつくれた。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔行政〕	なし		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔団体〕	・倉庫購入の予算を組んでいたが、設置には建築確認の費用などがかかることが判明し購入できなかった。 ・アンケートに質問の趣旨が回答者に伝わりにくい内容のものがああり、途中修正を加えた ・物品購入がユニディに限定され、最適、最安なものを選べないケースがあった。領収書精算を認めて欲しい。		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	--

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や、協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されていたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。	
行政	協定書により事前に役割分担を定め、共有されていた。
団体	他地域の冒険遊び場の視察に担当課と一緒にいき、行政と団体の双方が見て聞いて学ぶことができたこと、会議を重ね共に考えて決めてきたこと、開催を重ね新たな発見を共有したことなど、多くのことを二人三脚で行ってこれたと感じています。

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	それぞれが役割を認識し、事業を実施することができた。また、冒険遊び場開催の前後に定期的に打ち合わせを行うことにより、適宜情報共有・方向修正等行うことができた。				
団体	なし				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	冒険遊び場開催ごとに打ち合わせをするとともに、事業終了後も話し合いを重ねて、振り返り評価することができた。				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。

行政	協働研究という意味では、今回の事業だけで市民に対して直接的な効果があったとは言いきれない。ただ、場の提供という意味においては、冒険遊び場の開催を通し、乳幼児親子や子どもたちに様々な場を提供することができ、一定の効果があった。
団体	乳幼児の保護者に「泊江に住んでいて良かった。こういうことをやろうとする人たちがいて、それを市がちゃんとバックアップしているなんて！」と言われた。 「泊江いいでしょ？」と一緒に来ていた喜多見の友達に自慢していた方もいた。協働事業の最高の褒め言葉だと感じ、市民からも高い評価を感じた。

自由意見記入欄

(市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)

行政	なし
団体	単年度事業だけでなく長期的にステップアップできるような事業提案を受け入れる仕組みを作ってほしい。そしてより市民参加を推進し、市民自らが住みやすい泊江市を作っていられるようになるとういと思う。

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

◆問題点・課題

○物品購入が子育て支援課を通して決まった業者でしか買えなかったもので、緊急に必要になっても購入が間に合わなかったり、希望商品が購入できない場合もあった。
○プレーリーダーの派遣費用を援助していただいたのは大変助かったが、同じ現場で準備・片付け、参加者への対応をしてくれたスタッフの労働に対する謝礼は認めてもらえなかった。
市民が自発的に行う事業だからと言って市民の労働が無償なのは理不尽に思う、継続的に安定した市民参加を目指すなら、業者へ従業員の給与を支払えるだけの事業費を支払うように団体の事業にも会員の労働に対する最低限の対価が支払われるべきだと考える。そうする事で、市民の市政への参加が進み市民も豊かになり、豊かな街が作られることを望む。
○市民協働提案事業は「単年度で完了する事業。ただし、年度ごとの申請と選考により連続して提案することができます」となっているが、事業開始が提案提出の翌年度なので、審査受付が春では連続して実施したい場合、初年度の実績結果を待たず翌年度の申請を行う必要がある。市民協働をより推進し継続的な市民参加を推進するなら中長期的な計画も受け入れられるようになるとういと思う。
○仮設トイレの手配を行政がしてくれ大変助かったが、搬入・搬出の立会いは団体がするので問題が発生した際の対応などは行政にとっては余計な手間であり、団体にとっては直説連絡が取れず対応に遅れが出る。
○行政の人事により事業途中(開始数ヶ月)にもかかわらず、担当者が急に代わったり、減ってしまい、不便が多少生じた。
○今回の事業は、単年度で効果が出るものではなかったため、直接的な効果があったとは言いきれない。

◆良かった点

○行政の資金援助を得られ、経験豊富なプレーリーダー2名で開催でき、新たな遊びが出現したり、初めてで戸惑っている参加者へもきめ細かな対応ができた。
○物品の購入費や広報費も行政が負担してくれ、資金稼ぎに労力を取られることなく、事業の運営に力を集中できた。
○市民が現場運営を担うことで、行政運営では出来ない危険を伴う遊び(ノコギリなどを使用する遊び等)も子ども達に体験させられた。
○行政の経験に基づいた視点と市民の視点、両者のよいところを生かした広報が出来た。
○協働で実施する事で、市民の方の団体への信頼度が増し、理解・応援をより多く受けるようになった。
○行政が窓口となり、新聞やTV取材を受けてくれ、より広く泊江の冒険遊び場の活動を知ってもらえた。
○冒険遊び場の開催前後で、打ち合わせを実施できたため、団体との情報共有や考え方のすり合わせが容易にできた。
○お互い明確な役割分担のもと、効果的に事業を実施できた。

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	児童青少年部児童青少年課	団体名	青少年第四育成委員会
事業名	小菅村DAYキャンプ		
実施期間	平成 24 年 8 月 23 日	～	平成 24 年 8 月 23 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	普段経験できない自然とのふれあいを通し、親子が参加しながら学年、学校に関係ない縦割り班におけるグループ活動を通し互いを思いやること、協力することの大切さを考える。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	親子、学年、学校に関係のない縦割班を中心に自然の中で川遊び、ヤマメつかみ等の活動を行う。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	通常の補助金だけでは出来ない規模の事業の企画・運営を任せることにより、幅広い市域へのアプローチが可能となり、育成委員会の地域への事業効果の促進を図ることが出来る。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	グループ活動を通し互いに思いやる事、協力する事の大切またヤマメを食する事が命を頂く事である事を知る。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔行政〕	事業内容が多く、タイムスケジュールに難が生じた。内容はすべて消化できたが、時間に追われるかたちとなったため、内容と時間の精査が必要となる。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔団体〕	問題点は発生しなかった。しかし現地滞在時間のに対して活動内容が多いため川遊びに十分な時間を充てることができず、参加者から川遊びの時間を増やすようにとの要望があった。次回はヤマメつかみ、さばきをやめ、川遊びを中心に自然とのふれあいを更に感じる企画にしたい。		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	--

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や、協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されていたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなくてはならなかった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	参加申込時に電話が殺到し事務局担当の方だけでなく多くの職員の方々のご協力を頂きました。受付開始5分後には定員数を超えるほどの電話が殺到した。今後の課題として参加申込方法を考える必要がある。関係者の方々ありがとうございました。				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	この企画は内容が少し違っていても2回目なので事務局、実行委員会スタッフに戸惑いような事はなく実行できた。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
	質問の主旨				
	今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。				
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業実施後、参加者から好評の声をいただき、事業の効果を感じることが出来た。				
団体	想像以上に子供が川遊びに夢中になっていた。川遊びを通して事務局の方々、スタッフとの関わり合いを求める子供が多くこの事業の目的は十分に果たせたと思える。また後日子供が大変喜んでいたので再度のお願いを保護者から伝えられた。次回は川遊び中心の事業内容を充実させた企画を立てたい。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	なし
団体	なし

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
当事業は電話にて参加申し込みを行っているが、応募者が多く、予約時間に電話が殺到し、「電話がつながらない」「つながっても締め切られている」といったクレームが多数寄せられた。これに対し、予約方法を、電話による先着ではなく、メールなどによる抽選へ変更するなど、検討が必要である。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	建設環境部環境政策課	団体名	狛江水辺の楽校
事業名	水辺の楽校事業		
実施期間	平成 24 年 4 月 1 日 ~ 平成 25 年 3 月 31 日		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	多摩川の水辺の自然と生き物の保護、子ども達の自然体験や世代を超えた交流、憩いの場として活用することを目的とする。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	水辺の楽校エリアの環境保全と事業の企画、立案、管理運営。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	多摩川の自然を守ると同時に、河川敷を子ども達の環境学習の場として活用できる。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	狛江市のイメージアップ。及び市内保育園・小学校の自然体験と環境学習の指導。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔行政〕	台風や増水時に被害が出ても、市民の力で復旧作業等を行ってもらったため、早急に対応できた。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔団体〕	特になし。		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	--

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や、協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されていたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。	
行政	水辺の楽校使用申請や広報への周知は行政側が行い、環境学習指導は団体側が行うというように、役割分担がうまく行われていた。
団体	狛江水辺の楽校は、流域16市区村19校からなる多摩川流域水辺の楽校連絡協議会の事務局も務めており、行政間の連絡調整は狛江市が、市民間の事業交流は運営協議会が担うなど、役割分担が明確化されている。また年間約4700名に及ぶ水辺の楽校での自然体験教室や環境学習の支援事業に関しても、狛江市が受付窓口を担当し、実務は協議会(市民)が遂行するなど協働のシステムも確立している。

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	台風や増水時には団体が適正に対応を行ってくれた。				
団体	水辺の楽校エリア内での不審火やスズメバチの営巣など、想定外の問題が発生した場合は狛江市から協議会へ、または協議会から役所に連絡を入れるなど状況の共用化を図っている。と同時に協議会内で問題解決が困難な場合は狛江市に対処を依頼し、協力を仰いでいる。(例:スズメバチの駆除など)				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業の行われている現場に行く機会が少なく、団体側と行政側の目標の達成感は少し異なると考えられる。				
団体	毎年、流域16市区村19校からなる多摩川流域水辺の楽校連絡協議会の総会を開催しているが、総会案内や議事進行などはすべて狛江市と運営協議会が協力して進行している。また流域間の交流事業を開催するための活動費に関しても狛江市と助成情報を共用し、次年度の資金確保に努めている。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	多摩川源流体験教室には多くの市民から参加申込みがあった。また、市内の幼稚園・小学校の授業としての利用も多く、環境学習の場として有効に利用されている。				
団体	昨年度の狛江水辺の楽校は、市内5保育園・1幼稚園と4小学校9学年から依頼を受け、年間43回延べ2880名の園児や児童の自然体験教室や環境学習を指導した。また環境保全清掃を中心とした主催事業は年間53回延べ1809名が参加するなど地元市民を巻き込んだ大きなムーブメントとなっている。現在、狛江水辺の楽校では市内面積の約1割に当たる多摩川を東京都民の教育河川として位置づけ、広く23区からの総合学習などを受け入れるシステムづくり構築の準備をしている。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	水辺の楽校は、多摩川流域の水辺の楽校と連携をはかりながら新たな事業への取り組みが行われている。今後もさらなる事業の発展を目指したい。
団体	なし

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
・問題点は特にない。(市担当者) ・行政と団体とで明確な役割分担が行われており、特に大きな問題はない。先日発生したスズメバチの巣による事故も行政側とうまく連携をとり、スムーズに解決できたのでよかったと思う。(団体代表者) ・狛江水辺の楽校で実施する大きな行事(8月に行われるじゃぶじゃぶ夏まつりなど)に市職員が参加することも検討してほしい。(団体代表者) ・他の多摩川流域の水辺の楽校に手伝いに行くことは多いので、反対に他の水辺の楽校が狛江水辺の楽校のイベントに来ていただければうれしい。(団体代表者) ・きちんと予算が割り当てられており、満足している。(団体代表者)	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	建設環境部道路公園課	団体名	いずみ多摩川お掃除クラブ
事業名	市内の公園等の清掃・美化活動		
実施期間	平成 24 年 4 月 1 日	～	平成 25 年 3 月 31 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	・自然を大切にする、ゴミを出さない、ゴミを残さない、という意識を広く社会に浸透していく。 ・河川敷という公共の資源(観光/余暇資源)の恩恵を広く市民が享受できる街をつくる。 ・多摩川の清掃活動を通じて人と自然の共存共栄が可能なモデル地域を構築する。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	①いわゆる「バーベキュー問題」で荒らされた和泉多摩川鉄橋下の河川敷からゴミをなくし、多摩川を訪れる人が気持ちよく過ごせる環境を維持・創出する。(自然環境保護) ②そのために「ゴミを捨てる」人を減らし、「ゴミを拾う」人を増やす。(ボランティア人口の増加)		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	・ボランティア活動や地域活動に参加するきっかけづくりとしての機能。 ・表示板を設置することによって、ごみが散乱しない美しい街を目指すメッセージが伝えられること。 ・ポイ捨て、ごみ散乱防止など地域住民の美化活動の向上が図れること。 ・地域住民の連帯意識が高められること。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	ボランティア保険加入のサポートや細かな備品の購入や資材置き場の設置などをアドプト制度でサポートいただき、ボランティアメンバーが活動に参加しやすくなった。清掃ボランティアが活発になるにたがって、結果的に市民や住民が気持ちよく安心して過ごせる憩いの場が提供できている。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔行政〕	掃除用具入れの購入時、団体の要望では物置を希望していたが、建築確認等の問題や、予算の都合もあり、連携を密に取る事が出来たが、前任者との引継ぎの関係で、購入に及び決定に半年も時間を費やしてしまいました。 以上のことから、内部においても適正な引継ぎができるようにしていきたい。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔団体〕	大きな問題は特になし。 24年4月から「バーベキュー禁止条例」の施行により、大きな規模のゴミは激減したため、清掃ボランティア活動の実施頻度を調整した。当初の隔週(月2回)から、月1回、今年からは隔月(2か月)に1回の実施をしている。 今後は、清掃活動の範囲を河川周辺の道路や公園にも広げていく計画をしている。		
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた		
事業実施前についての質問		評価	
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。) 質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。	1	2 ③ 4
2	単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。(B.を確認して記入してください。) 質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や、協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されていたか。	1	2 ③ 4
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。 質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。	1	2 3 ④
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。			
行政	役割については合意書で明確にされていることもあり、遂行し易くなっています。		
団体	特に「共同で」事業を行っているという意識が低かったため、具体的な目標の共有や現地での活動内容について振り返る機会をもちませんでした。時間が許すのであれば、そうした意見・情報交換の場もあると良いかもしれません。		

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	『いずみ多摩川お掃除クラブ』は、活動内容をホームページなどで広く告知されている団体です。そのためか電話連絡だけでなく、メールでのやり取りも多く、非常に円滑な連携を取る事が出来ています、今後も両者が意見を出し合い、調整しながら進めていきたいと思っています。				
団体	メールでのやり取りを中心に市役所担当者の方と連絡は取り合いました。ただし、事業の内容や実際の活動の内容についてまで詳しい情報交換はおこなってきませんでした。				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	①	2	3	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	実際に、電話等で市民の方から「多摩川の河川敷はいつも綺麗です」「河川敷で掃除をされている方をよく見かけます」等の意見や感想をいただくことがあり、達成感を得ることができました。『いずみ多摩川お掃除クラブ』は日程の関係でアドプトの意見交換会に出席できなかったのも、事前に調整し、次回は是非出席していただき、他のアドプト団体を啓発してもらいたいと考えています。				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
	質問の主旨				
	今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。				
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	上記のとおり、効果があったと考えています。				
団体	禁止条例の効果は大きいと思いますが、それでも毎回の活動でかなりの量のゴミが回収されています。小規模ではあっても、こうした定期的な清掃活動を続けることで河原の美化が進み、市民が親しみやすい場が出来てきていると思います。 京浜河川事務所さんからも、河原が綺麗に維持されているとの声をききました。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	市民からの要望が多種多様な傾向にあり、現行の要綱では事業推進が難しい面もあり、特に植栽帯を管理していただいているアドプト部門については、もう少し用件などを性差していこうと考えているところです。 (備品、消耗品購入等の予算を明確にしていくなど)
団体	なし

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
(市担当) ・アドプト制度とは、市民協働で活動するのではなく団体の活動を行政がサポートする事を理解して頂きながら、事業として進めていくものです。 ・その上で、積極的に意見交換を行いながら団体における事業目標等を達成するためのサポートをしていく事が市民協働につながる事になるよう進めていきたい。	
(お掃除クラブ) ・双方の評価に差があったものの、事業目的遂行と成果達成という点では認識も評価も一致してしており、アドプト事業の初年度として満足のいく内容だった。 ・行政のサポートがあったことで、団体で出来ることの「幅」が大きく広がった。その結果、河原のゴミが減り地域住民の満足にもつながった。 ・一方で双方の評価に差のあった点は、目的達成過程での情報共有の仕方に原因があると思われる。 ・事業を「アドプト=里親」ということで業務委託のような性格の事業として団体単独での意思決定および計画実行をしてきた。 ・今後、特に問題を抱えた際には、タイムリーに行政側への相談や情報共有を行って「協働」していければと思っている。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	教育部社会教育課	団体名	狛江市総合型スポーツ・文化クラブ
事業名	狛江市総合型スポーツ・文化クラブ「狛〇くらぶ」の活動支援		
実施期間	平成 24 年 4 月 1 日 ~ 平成 25 年 3 月 31 日		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、興味、関心、技術レベルなどに応じて、いつでもどこでも、いつまでもスポーツや文化に親しむことができる社会の実現を目指す。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	市民の誰もがそれぞれの体力、関心、技術レベルなどに応じて、いつでもどこでも、いつまでもスポーツや文化に親しむことができる社会の実現を目指す。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	・地域住民の交流の場として、地域コミュニティの基点となり、地域活動の活性化につながる。 ・スポーツ活動及び文化活動の場の確保につながる。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	地域のつながり、コミュニケーションづくりの拠点としてのクラブとなり、「ひと」や「まち」が元気になることを後押しをする。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔行政〕	なし		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔団体〕	特記事項なし		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	--

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や、協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されていたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業の目標を共有し、市民のスポーツ振興のために事業を遂行できた。				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	なし
団体	なし

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
【団体の意見】 ① 狛〇(わ)くらぶも3年目に入り、少しずつ方向性が見えてきています。これから更に市民に対して認知して貰い、より活発な活動が出来るようにご協力をお願いしたい。 ② 地域コミュニティの場としての狛〇くらぶとなるにはみなが集まれるくらぶハウスのようなものがどうしても必要となります。行政の方でも考えていただければありがたいと思います。 ③ 狛〇くらぶのメンバーとしては在住、在勤の方々が主となりますが、市の職員の方々の参加が少なく思います。是非、積極的に参加していただきメンバーになっていただきたいと思います。 ④ 今後は更により綿密な打ち合わせを行って行きたいと思います。 【行政の意見】 ① 補助金交付要綱は平成27年度までとなっているため、その後も安定的に活動ができるよう、クラブの認知度の向上、会員数を増加するため、積極的な広報活動を展開してほしい。 ② 高齢者や障がい者のスポーツ振興も展開してほしい。 ③ 市内の施設は限られているため、市民総合体育館の会議室や和室等、比較的空いている施設を活用してほしい。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	教育部公民館	団体名	いべんと西河原実行委員会
事業名	第24回いべんと西河原		
実施期間	平成 24 年 10 月 23 日	～	平成 25 年 3 月 21 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	参加を希望する西河原公民館利用団体を主とした団体・個人で実行委員会を組織し、1年間の活動の成果を展示や舞台で発表する場を持つことで、利用団体同士、また広く市民との交流の機会及び市民文化の発信の場とする。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	西河原公民館を活動拠点としている各サークルの発表会です。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	いべんと西河原をとおして、西河原公民館を拠点とし、地域の文化活動・社会教育活動等で連帯のある町づくりに寄与する。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	公民館利用の各サークルは互いに協力し合いながら無事に楽しく成果を発表する。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔行政〕	例年よりも改善はされたが、ホールの発表で遅延が生じてしまう。また、ホール出演団体の控室の確保が難しく、短い時間での準備・片付けとなり不便をかけた。		
C.事業実施中 に発生した問題・ 修正点等 〔団体〕	今回は舞台のスケジュールも概ね上手に進行できた。受付当番はチェック表を作ったおかげでスムーズに進行した。(一部欠席のクラブは相手がカバーしてくれた)		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	--

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や、協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されていたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業実施前から実行委員会や役員会をとおしてお互いが共通の認識を持ち、事業に取り組むことができた。				
団体	1～3回の実行委員会もスムーズに出来ました。できれば役員は積極的に参加してくれると良いのですが、何とか役員もまりました。				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。（C.を確認して記入してください。）	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事前に役割分担が決まっていたため、それぞれの役割を適切に遂行することができた。問題点や修正点に関しても情報交換を密にし、柔軟に対応することができた。				
団体	西河原公民館の職員が大変協力的で良かった。				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業終了後にも実行委員会を開催したことにより、事業成功の喜びの共有や、来年度に向けての意見交換を行うことができた。				
団体	細かい反省はありましたが、今年も楽しく終了できました。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	4日間で計74団体が参加し、そのご家族やご友人、近隣の方等、多くの方に西河原公民館まで足を運んでいただき、大変有意義な事業となった。				
団体	多くの方々の来場で盛り上がりました。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	西河原公民館で最も大きな事業であるこの「いべんと西河原」は今年で24回目を迎えることができた。ここまで継続して開催できているのも市民の方々を中心に組織される実行委員会あってのことであり、今後もより良い事業となるよう連携していきたいと思う。
団体	サークルによっては新しいメンバー増への悩みがありそうです。その中で今年も多くサークルが参加して下さり、役員一同やりがいがありました。

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
○例年、問題点として挙げられるホール発表団体の時間の遅延であるが、実行委員会での周知の徹底や発表順の工夫等で比較的改善された。しかし、まだ遅延の影響で参観者がお目当ての団体の発表を見れずに帰宅することになってしまったというような例もあることから、引き続き改善が必要な課題である。 ○ホール出演団体の控室について、例年と同じように展示団体との兼ね合いもあり余裕のある時間設定が難しく、出演団体には不便をかけてしまった。今後でもできる限りの配慮は当然していくが、毎年70を超える団体が参加するいべんとであるのでその点のご理解、ご協力いただけるよう実行委員会と呼びかけていきたい。 ○若い世代の参観者が少ないように感じる。広報活動は市内掲示板やホームページ、広報こまえ等で行っているが、今後に向けてより魅力を感じてもらえるような新たな手法を考える必要がある。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署							団体名								
事業名															
実施期間	平成		年		月		日	～	平成		年		月		日
A.事業の明確・ 具体的な目標															
B.事業の意義・ メリット															
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等															

評価基準	1:まったくできなかった	2:良くできなかった	3:良くできた	4:大変良くできた
------	--------------	------------	---------	-----------

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	3	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	3	4
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や、協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されていたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	3	4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	3	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					

市民協働事業評価アンケート

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。

事業実施後についての質問

		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	4
質問の主旨					
協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	4
質問の主旨					
いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	3	4
質問の主旨					
事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。

事業全体を振り返っての質問

		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	4
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。

自由意見記入欄

(市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)

意見交換シート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

意見交換日(月 日 曜日)